B5WY-0581-01

Color Printia LASER

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-C2000 ページプリンタ

取扱説明書

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

このマニュアルには、本製品を安全に正しく使用するための重要な情報が記載されています。本製品を使用する前にこのマニュアルをよくお読みください。
特に、このマニュアルに記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで本製品を使用してください。
このマニュアルは、お読みになった後も本製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。本製品を使用する際は、このマニュアルの説明にしたがってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
NetWareは、米国ノベル社の登録商標です。
TrueTypeフォントは米国Apple Computer社の登録商標もしくは商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律
　刑法　第148条、第149条、第162条
　通貨及証券模造取締法　第1条、第2条等

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2003
画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの承諾を得ています。

●ＶＣＣＩ適合基準について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。ただし、ページプリンタは突入電流が大きいため、その仕様を満足する交流無停電電源装置等をご使用ください。

（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●電源高調波について

本製品は、高調波ガイドライン適合品です。

●国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

●本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

はじめに

このたびは、弊社のカラーページプリンタXL-C2000をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本プリンタは、カラー印刷時最高12枚/分、モノクロ印刷時最高20枚/分の印刷が可能なページプリンタです。
本書では、本製品の設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

2003年8月

本文中の略語について

各製品を以下のように略記しています。

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 Server	
Microsoft® Windows® NT Workstation Version 4.0	Windows NT4.0
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me
Microsoft® Windows® 98	Windows 98
Microsoft® Windows® 95	Windows 95
Microsoft® Internet Explorer	Internet Explorer
Netscape® Communicator	Netscape
Adobe® Acrobat® Reader	Acrobat Reader

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ずしたがっていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

プリンタの設置および移動時のご注意

⚠ 警告

プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。本プリンタの定格電源は100V、8.5Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。

電源コードが傷つき、感電、火災、故障の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。

警告

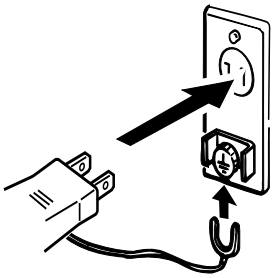
風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

本プリンタに添付されている平行２ピン(アース線付き)の電源コードを使用してください。アースは、次のいずれかに必ず取り付けてください。

- **電源コンセントのアース線**
- **銅片などを６５０mm 以上地中に埋めたもの**
- **接地工事（第３種）を行っている接地端子**

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

火災や感電または故障の原因となります。

近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

⚠ 警告

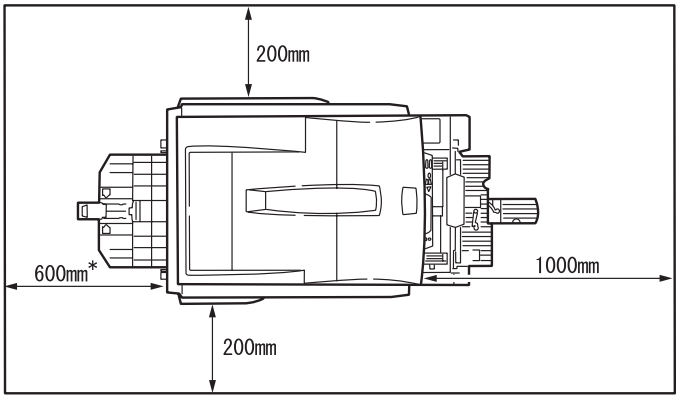
直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

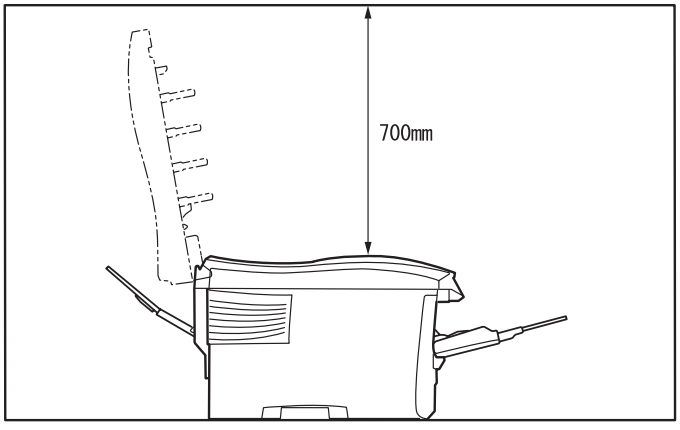
高温によりカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの側面、背面には通風口があります。プリンタの背面は壁から600mm以上、側面は200mm 以上離して設置し、通風口の上にはものを置かないでください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な700mm以上のスペースを確保してください。





*：両面ユニット装着時は1000mm以上のスペースが必要です。

⚠ 注意

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。

プリンタは、重さ約26kg（すべてのオプション品および消耗品、用紙を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、トナーカートリッジを取り外さないでください。

トナーカートリッジの内部にあるトナーがこぼれるなど故障の原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、プリンタ正面に向かって、左右両側の底面にあるくぼみをしっかり持ち、2人以上で運んでください。

それ以外の箇所を持って移動すると落下などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

モニタやテレビから離して設置してください（前ページのスペース参照）。

十分なスペースをとらないと、磁界の影響でモニタ画面等が周期的にゆれることがあります。

プリンタ使用時のご注意

警告

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
火災・感電の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。
重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、過熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用しますと、火災・感電の原因となります。修理にはご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（252ページ）にご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。
故障の修理は、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（252ページ）にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。
火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

⚠ 警告

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示された箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（252ページ）にご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子様が誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（252ページ）に修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（252ページ）にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（252ページ）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、発火の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（252ページ）にご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

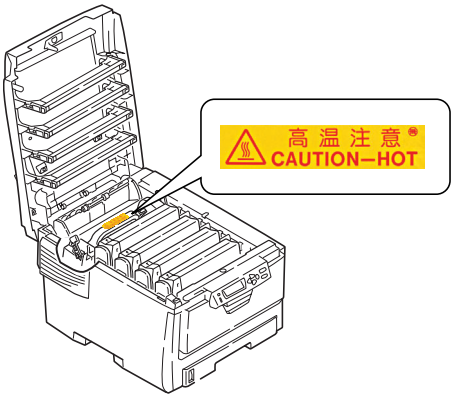
つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。

やけどの原因になることがあります。



電源を切った状態で、1カ月に1度は次のような点検をしてください。

- **電源プラグが電源コンセントにしっかり差しこまれていますか。**
- **電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありませんか。**
- **電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。**
- **電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。**
- **アース線は取り付けられていますか。**

なお、異常がある場合はご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（252ページ）までご連絡ください。

長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。

カートリッジ類の取り扱い上のご注意

警告

トナーカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みのトナーカートリッジは、回収サービス（115 ページ参照）をご利用ください。

ドラムカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、やけどの原因となります。
使用済みのドラムカートリッジは、回収サービス（115 ページ参照）をご利用ください。

トナーは目や口に入らないように注意してください。

トナーカートリッジの交換時などに、トナーが手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

トナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

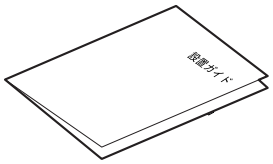
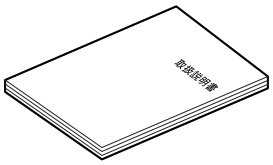
本製品のマニュアル

本製品では、次のマニュアルを用意しています。目的に合わせてご利用ください。なお、PDFファイルで提供しているマニュアル（オンラインマニュアル）は、画面に表示したり、印刷したりする場合に、Adobe Acrobat Readerが必要です。プリンタに同梱されているプリンタソフトウェアCD-ROMから、必要に応じてお使いのパソコンにAdobe Acrobat Readerをインストールしてください。

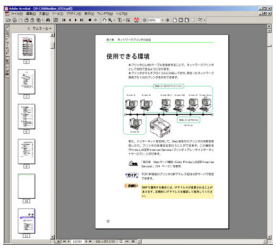
参照 「Acrobat Reader をインストールする」（xviページ）を参照

●マニュアルの種類

【印刷マニュアル】

設置ガイド 	同梱品のご案内と箱を開けてから印刷できるまでの設置手順を簡単に紹介しています。まず、このマニュアルを見て同梱品を確認し、本製品を設置してください。
取扱説明書（本書） 	**セットアップ編** プリンタ本体の設置とオプション品の取り付けかた、必要なソフトウェアのインストール方法などを説明しています。 **運用編** 印刷を行うための基本的な操作やサプライ品の交換、困ったときの対処方法など、日常プリンタを使用するうえで必要な事柄について説明しています。
クイックガイド 	メッセージコードの内容や、紙づまりのときの対処方法などが書かれています。クイックガイドを専用袋に入れ、専用袋をプリンタに取り付けて困ったときなどに参照してください。

【電子マニュアル】

オンラインマニュアル 	このマニュアルは、同梱のプリンタソフトウェアCD-ROMにPDFファイル(OnlineManual.pdf)として収録されています。 ネットワークプリンタとして使用する場合の設置と操作、および印刷できる環境を整えるまでの手順をネットワーク環境別に詳しく説明しています。 また、ディスプレイに表示される色とプリンタから出力される色を近づけるユーティリティ（カラー調整ユーティリティ、色見本印刷ユーティリティ）についても詳しく説明しています。
オンラインヘルプ 	プリンタドライバのプロパティ、および添付ソフトウェアの各機能について説明しています。ヘルプを表示させるには、ダイアログボックスに表示されるを？クリックし、説明を表示させたいボタンや項目上でクリックするか、ヘルプボタンをクリックします。

こんなときには

はがきやOHPフィルムに印刷したい	取扱説明書 「使用できる用紙種類」（94ページ）を参照
用紙のセット方法や印刷方法を知りたい	取扱説明書 「用紙をセットする」（101ページ）を参照
Webブラウザでプリンタの状態を確認したい	オンラインマニュアル 「第5章　Webサーバ機能（Color Printia LASER Internet Service」を参照
オペレータパネルにエラーメッセージが表示されている	取扱説明書 「メッセージが表示されるとき」（194ページ）を参照
サプライ品を交換したい	取扱説明書 「サプライ品について」（113ページ）を参照
紙づまりが発生した	取扱説明書 「紙づまりになったとき」（204ページ）を参照

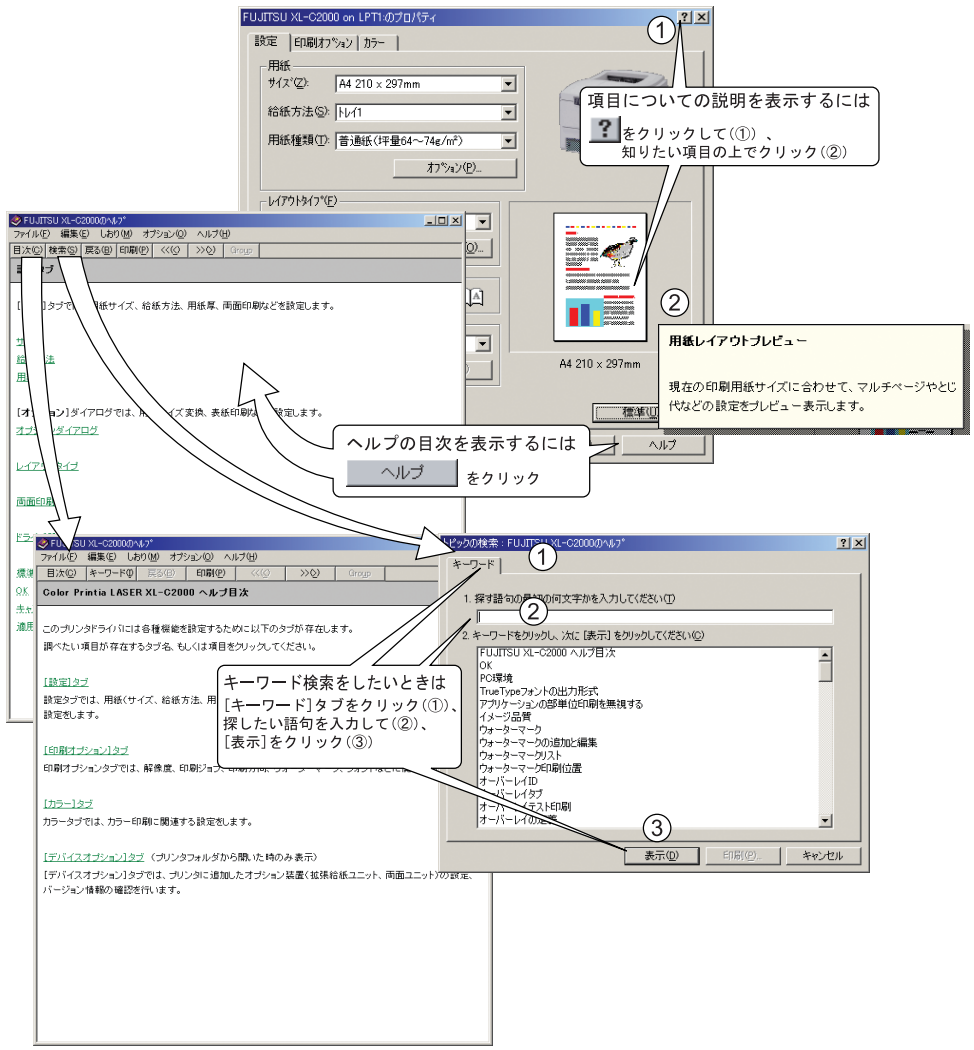
その他、故障が発生したと思われる場合や印刷品質が低下した場合は、「第11章 こんなときには」（193 ページ）を参照してください。

オンラインヘルプの見かた

本製品が提供するオンラインヘルプでは、プロパティ画面で設定できる項目のより詳しい説明などが記載されています。また、わからない項目の説明だけを表示する機能もついており、ご使用状況または調べたい内容に合わせて、取扱説明書と使い分けてください。

オンラインヘルプは、プロパティ画面右上の？をクリックし、続けて詳細を知りたい機能の項目をクリックするか、右下の［ヘルプ］をクリックして表示します。

参照 「プロパティ画面について」（163ページ）を参照



オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、PDF形式で添付のプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されています。
PDFファイルの内容を参照するには、「Acrobat Reader」というソフトウェアが必要です。お使いのパソコンに「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、本プリンタ添付のプリンタソフトウェアCD-ROMからインストールしてください。

Acrobat Reader をインストールする

オンラインマニュアルの表示や印刷をするためには、お使いのパソコンにAcrobat Reader (5.1Jまたはそれ以降）があらかじめインストールされていることが必要です。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM から次の手順で Acrobat Reader 5.1Jをインストールすることができます。

1 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

2 CD-ROM の「Acrobat」フォルダにある「Ar51jpn.exe」をエクスプローラから実行し、インストールする

画面の指示にしたがってインストールを行ってください。

ガイド

- Acrobat ReaderはPDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Acrobat Reader 5.1Jは、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
- 最新版のAcrobat Readerの入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。
  アドビシステムズ社 URL：http://www.adobe.co.jp

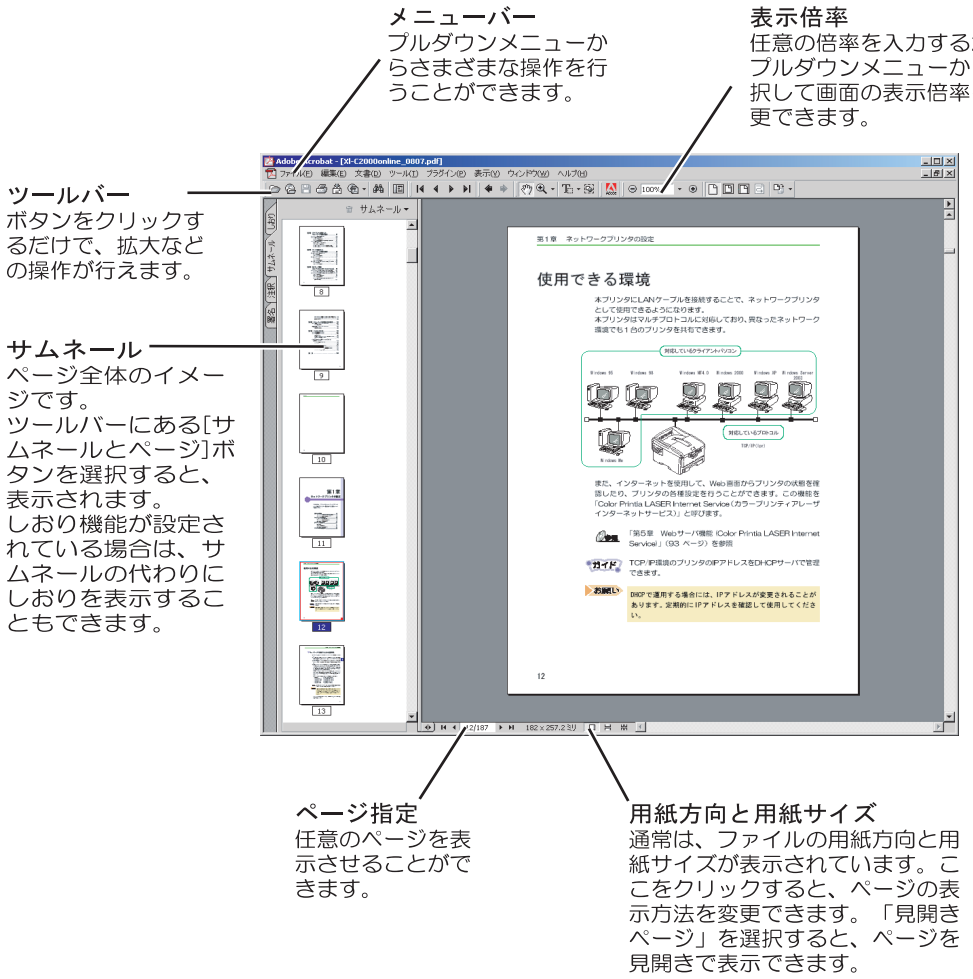
オンラインマニュアルを見る

オンラインマニュアルは、Acrobat Readerがインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

1 **添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする**

2 **CD-ROMの「Manual」フォルダにある「OnlineManual.pdf」をエクスプローラから実行する**

Acrobat Readerが起動し、オンラインマニュアルを表示します。



本書の構成

本書は、プリンタを設置し、印刷できるようにするまでを説明する「セットアップ編」と、プリンタをご使用中に必要となる内容を詳しく説明する「運用編」から成ります。
「セットアップ編」と「運用編」には、次の内容が記載されています。

【セットアップ編】

目　次	内　容
第1章　お使いになる前に	本製品を使用する前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。
第2章　プリンタの設置	本製品を設置する際の留意事項や、設置手順について説明します。
第3章　オプションの装着	本製品に取り付けられるオプション品とその取り付けかたを説明します。
第4章　外部との接続	プリンタをパソコンまたはLANに接続する方法や、ケーブル類の接続について説明します。
第5章　プリンタドライバのインストール	パソコンとのローカル接続でプリンタドライバをインストールする手順について説明します。
第6章　ネットワーク環境での使用	ネットワーク環境で使用できるサービスの案内とオンラインマニュアルの目次を紹介します。

【運用編】

目　次	内　容
第7章　用紙について	本製品で使用できる用紙に関する説明と、用紙のセットのしかたについて説明します。
第8章　日常のメンテナンス	本製品を使用していると必要になることがらについて説明します。
第9章　オペレータパネルの操作	液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。
第10章プリンタドライバの設定/印刷	プリンタドライバの設定項目および設定方法について説明します。
第11章こんなときには	故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。
	本製品の仕様やコマンドの一覧など、補助的に必要となることがらについて説明します。

本書の表記

本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

本製品を正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。
操作する前に必ずお読みください。

本製品を使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。
必要に応じてお読みください。

参照するマニュアルの種類と参照先を記載しています。

本プリンタ添付のプリンタソフトウェアCD-ROMに収められている『XL-C2000オンラインマニュアル』内の参照先を示します。

目　次

はじめに i
本文中の略語について i
●警告表示マークについて ii
安全上のご注意 iii
プリンタの設置および移動時のご注意 iii
プリンタ使用時のご注意 vii
カートリッジ類の取り扱い上のご注意 xi
本製品のマニュアル xii
●マニュアルの種類 xii
こんなときには xiv
オンラインヘルプの見かた xv
オンラインマニュアルの見かた xvi
Acrobat Reader をインストールする xvi
オンラインマニュアルを見る xvii
本書の構成 xviii
本書の表記 xix

セットアップ編

第1章　お使いになる前に 3
製品を確認する 4
本プリンタの特長 5
CD-ROMの内容 6
各部の名称と機能 7

第2章　プリンタの設置 9
設置上のお願い 10
プリンタの寸法および設置スペース 12
プリンタを設置する 15

梱包品を確認する 15
プリンタを設置する 15
乾燥剤、保護具を取り外す 15
カートリッジを取り付ける 18
用紙をセットする 22
ケーブルを接続する 24
ローカルプリンタとして使用する 24
ネットワークプリンタとして使用する 28
電源を入れる 30
プリンタの設定内容を確認する 32

第3章　オプションの装着 33
オプション品について 34
オプション取り付け上のご注意 37
プリンタRAM モジュールの取り付けかた 37
プリンタRAM モジュールを取り付ける 38
プリンタRAM モジュールを取り外す 41
両面ユニットの取り付けかた 42
両面ユニットを取り付ける 43
両面ユニットを取り外す 45
拡張給紙ユニットの取り付けかた 46
拡張給紙ユニットを取り付ける 47
拡張給紙ユニットを取り外す 49

第4章　外部との接続 51
インストールの手順と設定の概要 52
パソコンとローカルに接続する 55
ネットワーク経由で接続する 56
LANに接続するときの注意事項 57
パソコンとLANの両方に接続するときの注意事項 58

第5章　プリンタドライバのインストール.....59

プリンタドライバインストールの概要.....60
ホスト環境について.....60
ネットワーク環境について.....61
プリンタドライバの更新およびアンインストールについて61
プリンタドライバをインストールする.....62
インストール方法を決める.....62
パラレル接続でインストールする場合 (Windows 95/98/NT4.0/2000).....65
パラレル接続でインストールする場合 (Windows XP/Windows Server 2003).....67
USB接続でインストールする場合 (Windows 98/Me/2000).....72
USB接続でインストールする場合 (Windows XP/Windows Server 2003).....78
最新プリンタドライバを入手する.....81
プリンタドライバを削除する.....81
新しいプリンタドライバに置き換える.....82

第6章　ネットワーク環境での使用.....85

ネットワーク環境で使用する.....86
XL-C2000 オンラインマニュアルの目次.....87

運　用　編

第7章　用紙について.....91

使用できる用紙.....92
使用できる用紙サイズ.....93
使用できる用紙種類.....94
使用できない用紙.....99
両面印刷で使用できない用紙.....100
用紙保管上のご注意.....100

用紙をセットする 101
給紙カセットに用紙をセットする 101
マルチパーパス（手差し）トレイに用紙をセットする 104
用紙の排出面を切り替える 108
印刷面を上にして用紙を排出する 108
印刷面を下にして用紙を排出する 109

第8章　日常のメンテナンス 111

用紙を補給する 112
用紙を補給する 112
印刷を再開する 112
サプライ品について 113
トナーカートリッジを交換する 116
ドラムカートリッジを交換する 122
設定内容の一覧を印刷する 126
設定内容を印刷する 126
パソコン上でプリンタの状態を確認する 128
画質を調整する 129
色ズレを調整する 129
濃度を補正する 130
電源を入れる / 切る 131
電源を入れる 131
電源を切る 133
プリンタを清掃する 134
プリンタ外部を清掃する 134
プリンタ内部を清掃する 136
給紙ローラとパッドを清掃する 137
長期間プリンタを使用しない 139
プリンタを移送する 140

第9章　オペレータパネルの操作.....143

オペレータパネルの各部の名称と機能.....144
ランプ表示.....144
液晶ディスプレイの表示.....145
スイッチ操作.....146
残ったデータを強制印刷する.....148
プリンタ側で印刷を中止する.....149
共通メニュー画面の設定一覧.....151
設定値を初期化する.....159

第10章　プリンタドライバの設定/印刷 161

印刷のながれ.....162
印刷機能の設定について.....163
プロパティ画面について.....163
主な印刷機能一覧.....165
〔設定〕タブ.....166
〔印刷オプション〕タブ.....174
〔カラー〕タブ（ユーザ設定）.....180
〔カラー〕タブ（グレースケール）.....181
〔デバイスオプション〕タブ.....182
印刷を中止する.....183
印刷指示したジョブの状態を確認する.....184
特殊な用紙に印刷する.....185
はがきに印刷する.....187
OHPフィルムに印刷する.....187
不定形（ユーザ定義）用紙に印刷する.....188
標準のユーザ定義サイズを設定する.....188
不定形用紙を追加登録する.....190
項目を設定し、印刷を行う.....192

第11章　こんなときには.....193

メッセージが表示されるとき.....194
動作状態に関するメッセージ.....194
ワーニングに関するメッセージ.....196

エラーに関するメッセージ 198
サービスコールエラーに関するメッセージ 203
紙づまりになったとき 204
紙づまり（ジャム）発生場所とエラーコード 204
フロントカバー部（コード：372、380、390、391、400）
でつまった用紙を取り除く 205
用紙排出部（コード：382）でつまった用紙を取り除く 206
定着器ユニット部（コード：381、382、383）
でつまった用紙を取り除く 207
両面ユニット部（オプション）（コード：370、371、373）
でつまった用紙を取り除く 212
拡張給紙ユニット部（オプション）（コード：391、392）
でつまった用紙を取り除く 213
印刷品質が低下したとき 214
用紙に異常がでたとき 218
故障かなと思ったとき 221
印刷ができないとき 223
カラーレス印刷を行う 227
HEX（ヘキサ）ダンプ印刷を設定する 229
TCP/IP(lpr)の注意と制限 231
設定について 231
印刷するとき 231
給紙トレイの自動選択および自動切り替えを行う 232
給紙トレイの自動選択を行う 233
給紙トレイの自動切り替えを行う 233

付　録 235

プリンタの仕様 236
基本仕様 236
インタフェース仕様 237
オプション品の仕様 240
JIS-90第一水準漢字一覧表 242
JIS-90第二水準漢字一覧表 245
添付のアプリケーションソフトについて 248
HyperPrintの概要 249

RepoAgentの概要 250
MetaFrame対応について 251
アフターサービスについて 252

索　引 255

セットアップ編

第1章
お使いになる前に

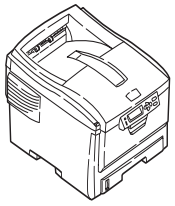
この章では、本製品を使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

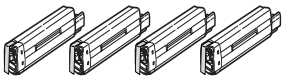
製品を確認する 4
本プリンタの特長 5
CD-ROMの内容 6
各部の名称と機能 7

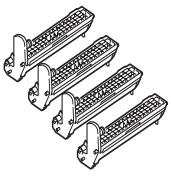
製品を確認する

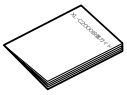
本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。

梱包箱


プリンタ本体


トナーカートリッジ(4色分)


ドラムカートリッジ*
（4色分）


XL-C2000設置ガイド

電源コード

保証書（梱包箱に貼付）

標準給紙カセット*

LEDレンズクリーナ

ドキュメントパック

プリンタソフトウェア
CD-ROM

XL-C2000
取扱説明書
（本書）

用紙について

クイックガイド

クイックガイド
専用袋

*：開梱時は、プリンタ内に取り付けられています。

お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル(プリンタケーブル、プリンタUSBケーブル、プリンタLANケーブル)は添付されていません。
パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。

ガイド

- 移転などプリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。
- 本プリンタは他の XL シリーズ・プリンタと比べた場合、装置や機能の名称が一部異なりますのでご了承ください。

本プリンタの特長

本プリンタの特長を以下に示します。

1 高速で高品位な印刷

カラー１２枚/分、モノクロ２０枚/分(A４片面連続印刷)の高速印刷を行います。また、標準６００×６００dpiの解像度に加え、メモリを増設することで６００×１２００dpiの高解像度印刷も実現可能です。

2 多彩な印刷機能

画面に表示される色とプリンタから出力される色を近づけることができるユーティリティを添付のCD-ROMに収納しています。
また、カラーレス印刷機能により、カラーのトナーカートリッジのいずれかがなくなった場合でも、黒トナーカートリッジが残っていれば、モノクロ印刷のみを行うことができます。

3 3つのポートに対応

USB（ハイスピードモード)、パラレル、LAN(100BASE-TX/10BASE-T) の３つのポートを標準装備しています。添付のFUJITSU LPRユーティリティを利用することで、サーバを経由しないダイレクト印刷も可能です。

4 多様な用紙サイズ、媒体に対応

A４～A６、レター、リーガルサイズに加え、往復はがきや封筒、1.２００mmまでの長尺紙など様々なサイズの用紙や、薬袋、ラベル紙、OHPフィルムなどの媒体への印刷をサポートしています。

5 優れた拡張性

次のようなオプションを用意しております。

- 両面ユニット --- 用紙の両面に印刷できるようになります。
- 拡張給紙ユニット --- 本ユニットを取り付けることで、最大1,０００ページの用紙をセットしたり、異なったサイズの用紙を３種類まで同時にセットしたりすることが可能になります。
- プリンタRAMモジュール（６４MB/２５６MB）--- メモリを増設することで、印刷速度を向上させたり、複雑なデータの印刷に対応させたりすることができます。

6 ネットワークサービスへの対応、セキュリティ機能の充実

Webブラウザを利用してプリンタの状態監視を行ったり、設定を変更したりすることが可能です。この際、プリンタで設定された情報を管理者以外が変更、参照することを禁止することもできます。また、ネットワーク経由でプリンタへ印刷する場合、指定した範囲のIPアドレスのみ印刷を許可するIPフィルタリング機能も搭載し、セキュリティ面でも優れた機能を持っています。

CD-ROMの内容

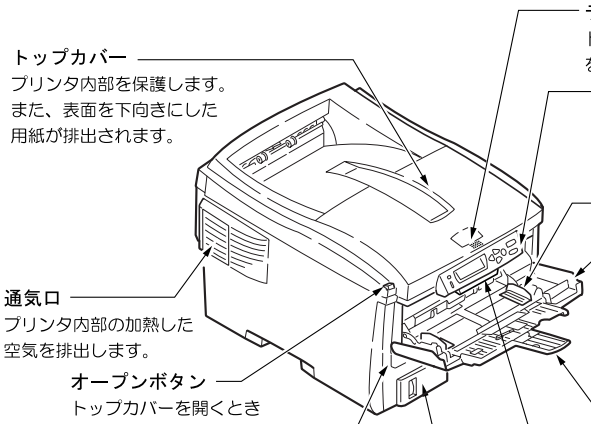
本プリンタには、「Color Printia LASER プリンタソフトウェア」CD-ROMが同梱されています。この中に収められているおもなファイルは、次のとおりです。

Acrobat	Acrobat Reader V5.1
Hprint	「HyperPrint」お試し版
Manual	「XL-C2000オンラインマニュアル」（PDF）
Repoagnt	「RepoAgent」お試し版
XLC2000	XL-C2000ドライバ用フォルダ
Win2000	・Windows 2000用プリンタドライバ（V1.0.0）
WinNT	・Windows NT4.0用プリンタドライバ（V1.0.0）
Win9XME	・Windows 95/98/Me用プリンタドライバ（V1.0.0）
WinXP	・Windows Server 2003/XP用プリンタドライバ（V1.0.0）
Utility	
FJLPR	LPRユーティリティ
ColorAdj	カラー調整ユーティリティ
Swatch	色見本印刷ユーティリティ
Drvinst	ドライバインストール用フォルダ
README.txt	CD-ROM全体のREADMEファイル
Licence.txt	使用許諾条件に関する説明書ファイル
Setup.exe	ソフトウェア用のメインインストーラ

各部の名称と機能

本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

前面



トップカバー
プリンタ内部を保護します。
また、表面を下向きにした
用紙が排出されます。

ディンプルマーク
トップカバーを閉じるときに、この部分
を押してロックします。

オペレータパネル
操作に必要なボタンとメッセージ
が表示される液晶ディスプレイ、
動作状態を示すランプで構成されます。

手差しガイド
用紙の左右位置を固定します。

マルチパーパストレイ
（手差しトレイ）
用紙をセットします。
はがきや厚紙、長尺紙などに
印刷する時は、このトレイを
使用します。

用紙サポータ
マルチパーパストレイにセット
した用紙を支えます。

フロントカバーの取っ手
フロントカバー部で紙づまりが発生した
場合に、本取っ手を引き出し、用紙を
取り除きます。

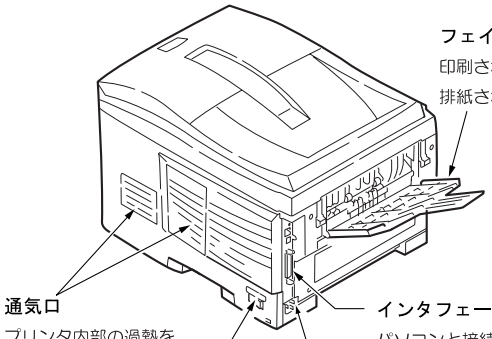
通気口
プリンタ内部の加熱した
空気を排出します。

オープンボタン
トップカバーを開くとき
に押します。

フロントカバー
プリンタ正面のカバーです。

給紙カセット
用紙をセットします。

背面



フェイスアップスタッカ
印刷された用紙が印刷面を上にして
排紙されます。

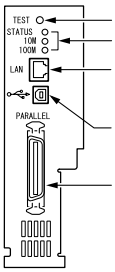
通気口
プリンタ内部の過熱を
防ぐために外気を吸入
します。

インタフェース部
パソコンと接続するための
コネクタです。

電源スイッチ
電源の投入、切断を行い
ます。

電源コネクタ
電源コードを接続するための
コネクタです。

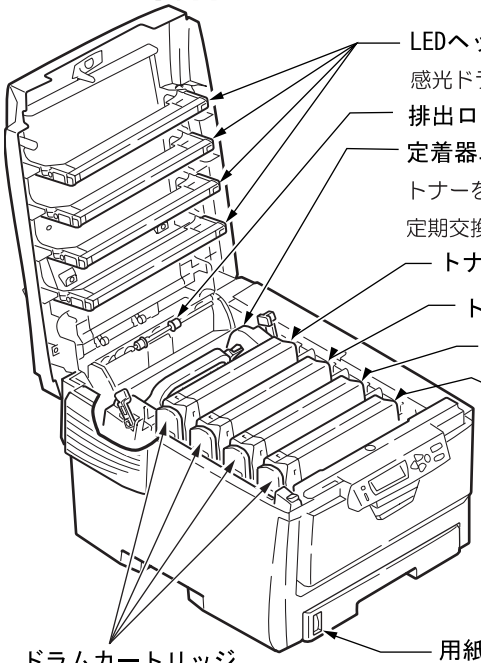
〈インタフェース部〉



TESTスイッチ
STATUSランプ
LANケーブル
コネクタ（100/10BASE）
USBインタフェースコネクタ
パラレルインタフェース
コネクタ

ガイド　TESTスイッチの使用方法については、『XL-C2000オンラインマニュアル』「第１章　ネットワークプリンタの設定」「ネットワーク機能を初期化する」を参照してください。

内部



LEDヘッド（4ヶ所）
感光ドラムに印刷する文字などを書き込みます。

排出ローラ

定着器ユニット
トナーを熱で用紙に定着させます。定着器ユニットは定期交換部品です。

トナーカートリッジ(C シアン)

トナーカートリッジ(M マゼンタ)

トナーカートリッジ(Y イエロー)

トナーカートリッジ(K ブラック)
印刷に必要なトナーをドラムカートリッジに供給します。トナーがなくなった場合、トナーカートリッジを交換します。トナーカートリッジはサプライ品です。

ドラムカートリッジ
感光ドラムに書き込まれた文字などにトナーを付着させます。
ドラムカートリッジはサプライ品です。

用紙残量インジケータ
給紙カセット内の用紙量の目安を表示します。

第2章
プリンタの設置

この章では、本製品を設置し、プリンタ単体で正しく動作することを確認するまでの手順を、順を追って説明します。

設置上のお願い 10
プリンタの寸法および設置スペース 12
プリンタを設置する 15
梱包品を確認する 15
プリンタを設置する 15
乾燥剤、保護具を取り外す 15
カートリッジを取り付ける 18
用紙をセットする 22
ケーブルを接続する 24
ローカルプリンタとして使用する 24
ネットワークプリンタとして使用する 28
電源を入れる 30
プリンタの設定内容を確認する 32

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

● いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。

モノクロ印刷時

温度　１０～３２℃　　湿度２０～８０%RH（結露しないこと）

カラー印刷時

温度　１７～２７℃　　湿度５０～７０%RH（結露しないこと）

湿度８０%RHのときは温度１０～２７℃、温度１０℃のときは湿度３０～７３%RH、温度３２℃のときは湿度３０～５４%RHでご使用ください。

冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、製品の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

⚠ 警告

感電・火災・転倒

- 電源コンセントは本プリンタ専用にお使いください。
  １ つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。複写機やエアコンなど消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取ると、電圧降下によるパソコンの誤動作、データ消失のおそれがあります。
- 電源プラグは、定格電圧１００Ｖで、定格電流１５Ａ以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。
  発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本プリンタの定格電源は、１００Ｖ、8.5Ａです。
- プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。
  電源コードが傷つき、感電、火災、故障の原因となります。
- プリンタを１０°以上傾けないでください。
  転倒などによりけがの原因となることがあります。

お願い

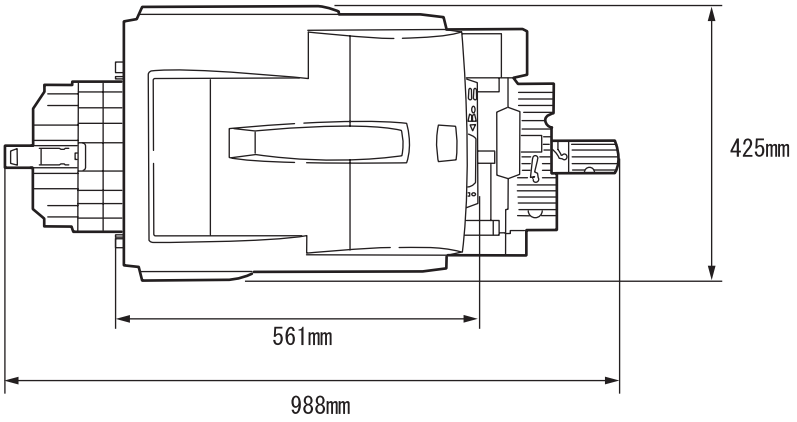
－超音波加湿器をご使用のお客様へ－
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際は、必ず純水をご使用ください。

● ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害や磁界障害が発生する場合は、本プリンタの電源を切ってこれらの障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
・本製品とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
（特に磁界障害が発生した場合は、プリンタから２０cm以上離すようにしてください。）
・本製品とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
・本製品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

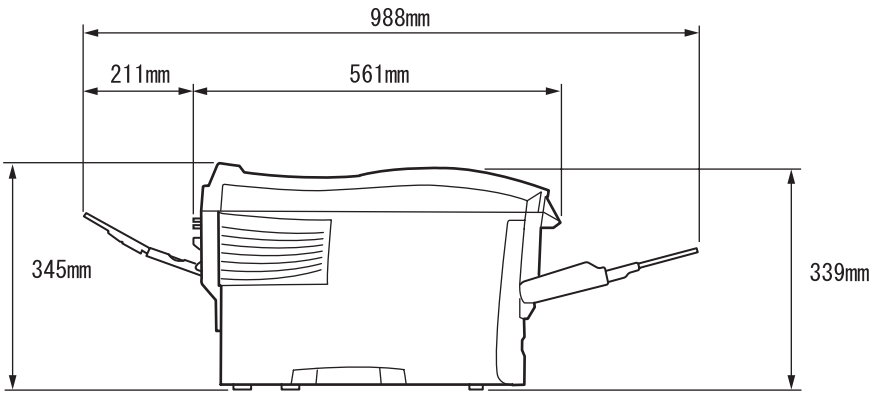
プリンタの寸法および設置スペース

装置の外形寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

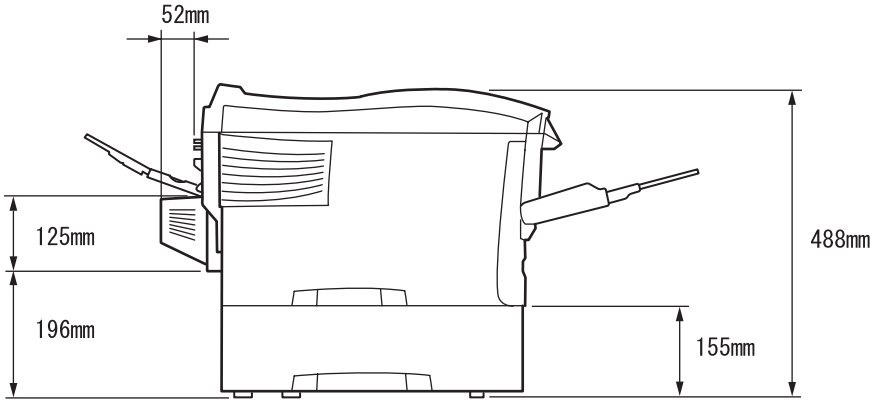
上面図



側面図（標準）



側面図（両面ユニットと拡張給紙ユニット装着時）



⚠ 注意	
	火　災　製品の側面および背面には通風口があります。通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、製品の操作、消耗品の交換、および日常の点検など、製品を正しく使用し、製品の性能を維持するために、次ページに示す設置スペースを確保してください。

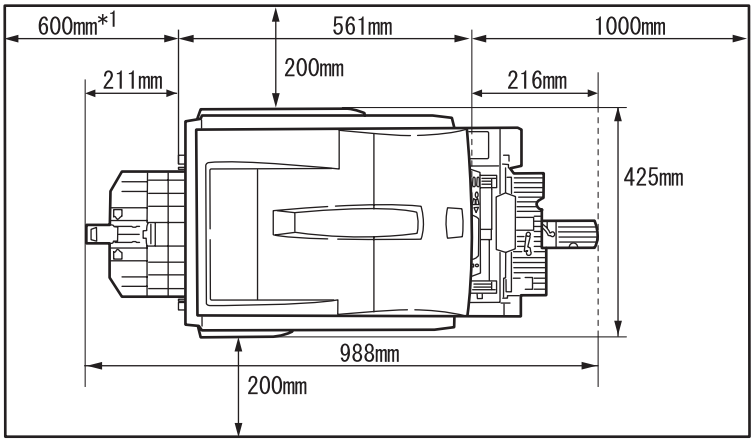
設置スペースについて

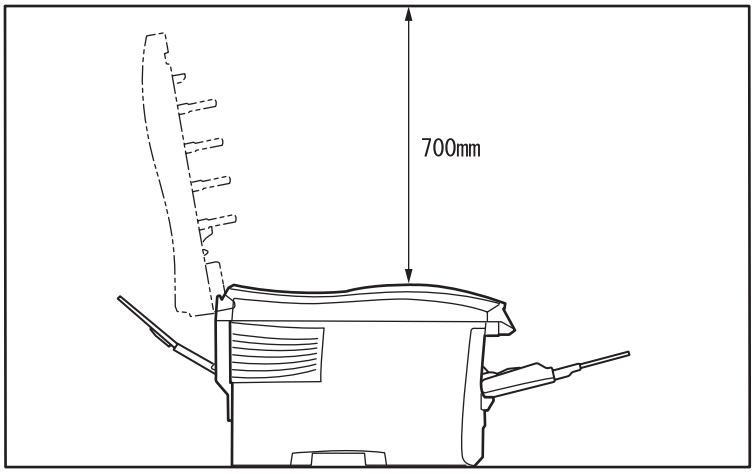
⚠ 警告

火　災　プリンタの側面および背面には通気口があります。プリンタは壁から６００mm以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

また、プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、本製品を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には日常の操作に必要な７００mm以上のスペースを確保してください。





プリンタ本体の設置スペース（幅×奥行×高さ）
825×2161×1045mm*2

*1：両面ユニット装着時は１０００mm以上のスペースが必要です。
*2：オプションは含みません。

プリンタを設置する

プリンタは、次の手順で設置してください。

梱包品を確認する

製品がすべて揃っていることを確認してください。
梱包されている製品は、「製品を確認する」（4 ページ）に記載してあります。

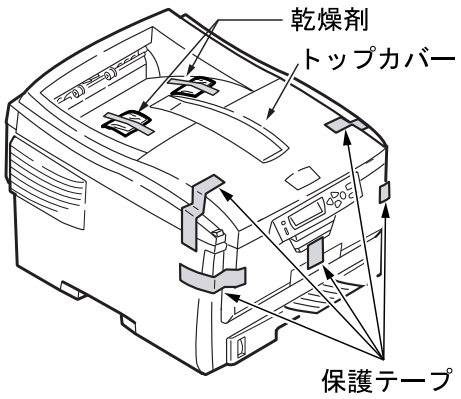
プリンタを設置する

プリンタを設置場所に移動します。設置場所については、「プリンタの寸法および設置スペース」（12 ページ）を参照してください。

お願い

プリンタを移送する場合は、設置時に取り外した保護具が必要になります。梱包箱や緩衝剤、ストッパリリース（17 ページ）は、捨てずに保管しておいてください。

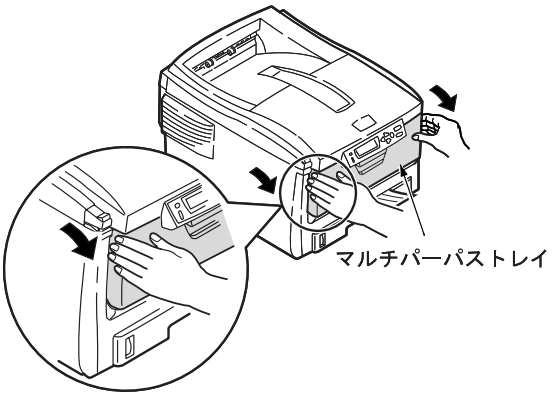
乾燥剤、保護具を取り外す



1　トップカバー部の乾燥剤（2 か所）とプリンタ前部の保護テープ（5 ヵ所）をはがす

⚠ 注意

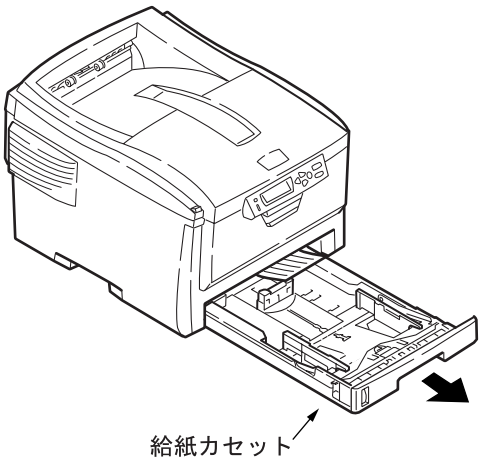
故　障　保護テープを付けたままプリンタを使用すると、故障の原因になります。



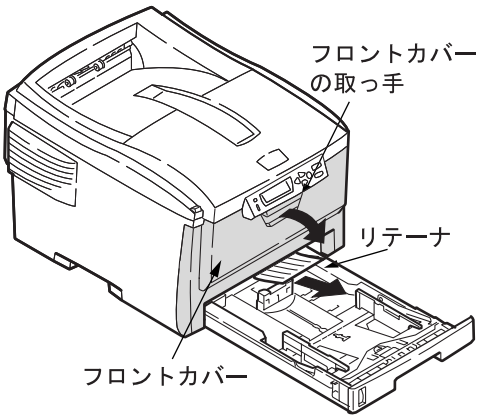
2 マルチパーパス（手差し）トレイ部にある紙を取り除く

お願い

マルチパーパストレイを手前に開き、マルチパーパストレイ部にある紙を取り除いてください。

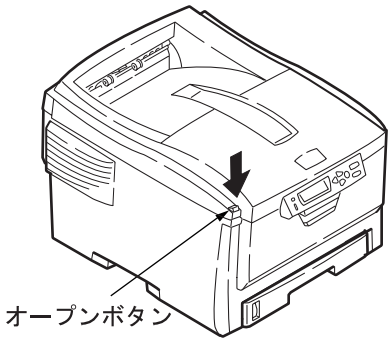


3 給紙カセットを引き抜く



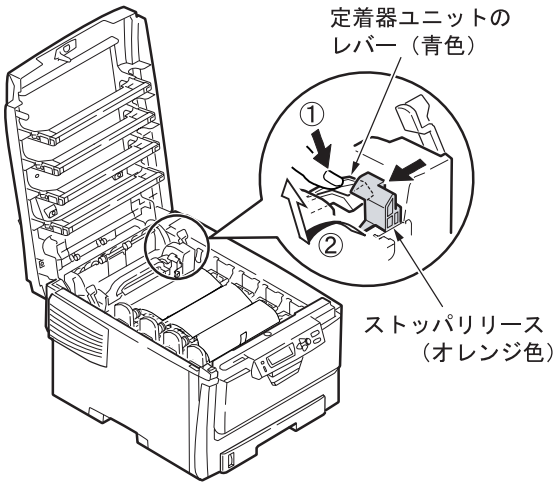
4 フロントカバーの取っ手を持ち上げてフロントカバーを手前に開き、リテーナを手前下側に引き抜く

5 フロントカバーを閉じて、給紙カセットを差し込む



6 オープンボタンを押し、トップカバーを開く

トップカバーは、手を離しても戻らない位置まで完全に開いてください。



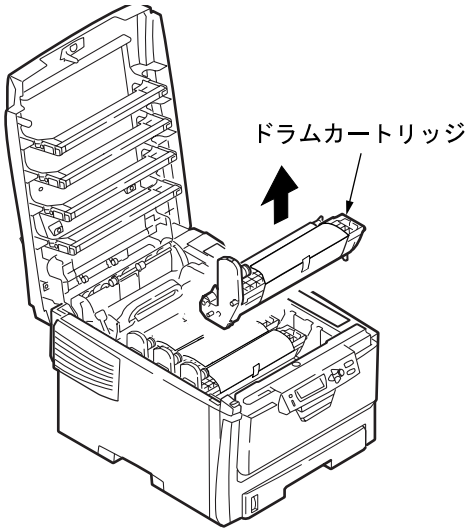
7 定着器ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパリリース（オレンジ色）の上部を左側に押しながら取り外す（②）

お願い

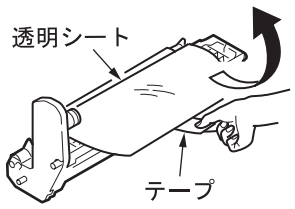
- **ストッパリリースを左側に押す場合は、指を挟んだり、指に強くあたったりするおそれがあるため、十分に注意してください。**
- **ストッパリリースはプリンタを輸送するときに使います。必ず保管してください。**

カートリッジを取り付ける

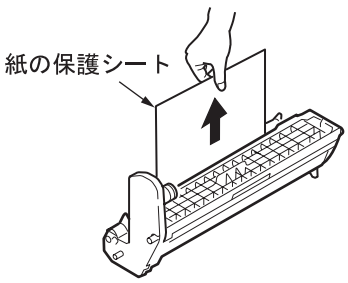
本製品は、未使用のドラムカートリッジが取り付けられています。
本製品を使用する前に、必ずドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを正しく取り付け直してください。



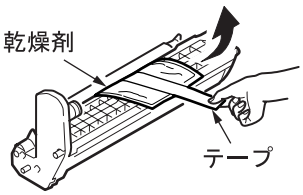
1 **ドラムカートリッジ（4 個）を静かに上に取り出す**



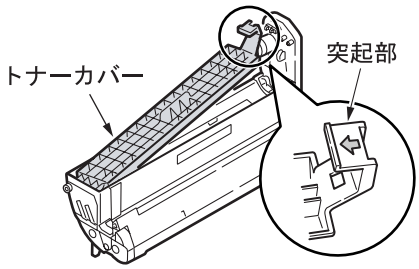
2 **透明シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜く**



3 **ドラムカートリッジから紙の保護シートを矢印の方向に引き抜く**



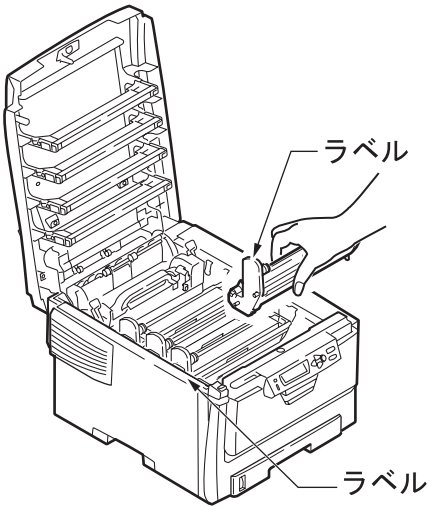
4 テープをはがし、乾燥剤を取り除く



5 突起部を内側に押しながらトナーカバー（オレンジ色）を取り外す

お願い

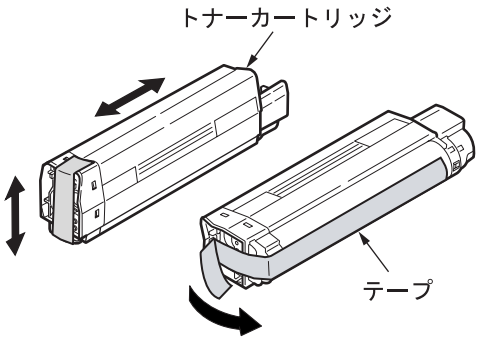
トナーカバーは不燃物として処理してください。



6 ドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色を合わせ、ドラムカートリッジ（4個）を静かに戻す

お願い

- 感光ドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、絶対に手を触れないでください。
- ドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。また、室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

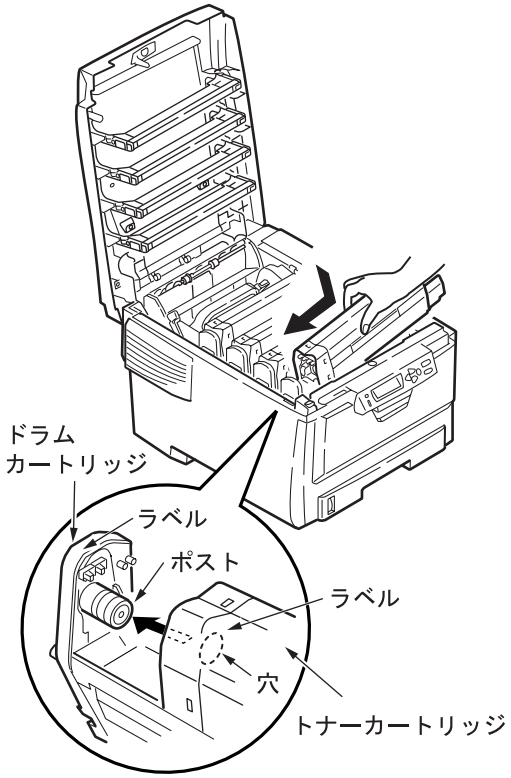


7 トナーカートリッジ（4個）を包装袋から取り出し、縦と横に数回振る

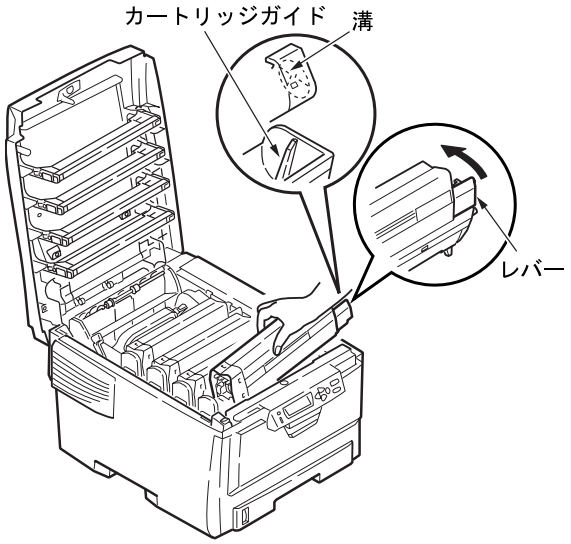
8 トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがす

お願い

外気温の低い所で急いではがすと、テープが途中で切れることがあります。ゆっくりとはがしてください。

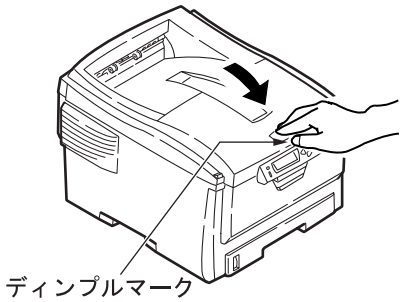


9 トナーカートリッジのラベルの色とドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認し、テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの左側の穴をドラムカートリッジのポストに差し込む



10 トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込み、トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回す

以上の手順を繰り返し、トナーカートリッジ（4個）を取り付けます。



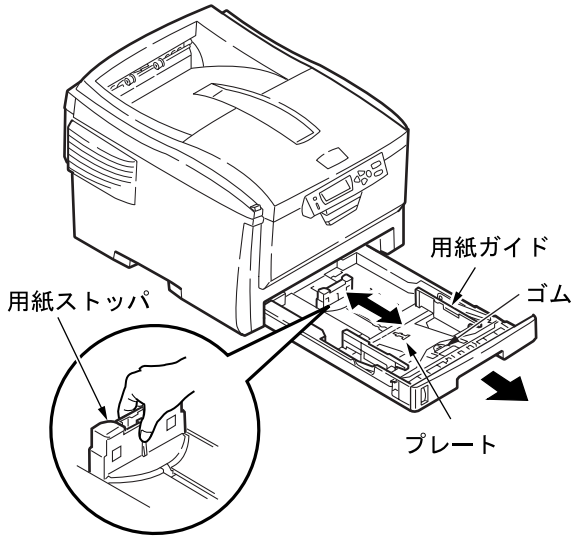
11 ディンプルマークを押して、トップカバーを閉じる

ガイド

- 製品購入時に添付されているトナーカートリッジの印刷可能枚数は、サプライ品と比較すると少なくなっています。A4サイズに 5%の密度で印刷した場合、約1500枚印刷できます。
- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らずレバーが回らないときは、トナーカートリッジとドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。ラベルの色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていない場合、印刷品質が低下することがあります。
- トナーカートリッジを取り付けた後に、オペレータパネルの〔トナーコウカン ジュンビ〕または〔トナー ナシ〕の表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
- オペレータパネルに〔カートリッジ/ レバーカクニン〕が表示された場合、トナーカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。トナーカートリッジが正しくセットされ、トナーカートリッジのレバーが止まるまで回されているか確認してください。

用紙をセットする

給紙カセットやマルチパーパストレイに用紙をセットする方法や使用できる用紙についての詳細は、「第７章 用紙について」（９１ページ）を参照してください。
ここでは、給紙カセット（標準装備）へＡ４サイズの用紙をセットする方法を説明します。

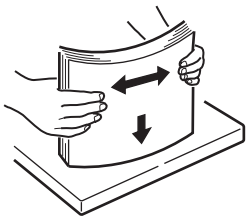


1 給紙カセットを引き出す

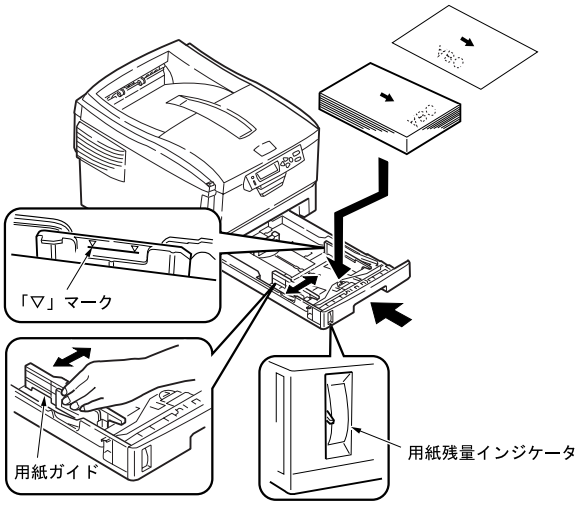
お願い

プレートについているゴムは、はがさないでください。

2 用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定する



3 用紙の上下左右をそろえる



4 印刷面を下に向けて、用紙をセットする

ガイド

給紙カセットに用紙が残った状態で新しい用紙を追加すると、用紙が重なって給紙される場合があります。給紙カセット内の用紙が完全になくなってから用紙を補給することをお勧めします。

5 用紙ガイドを用紙サイズに合わせ、固定する

用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。(坪量64g/㎡紙で350枚)

6 給紙カセットをプリンタに戻す

ケーブルを接続する

ローカルプリンタで使用する場合は、プリンタケーブルまたはプリンタUSBケーブルを使用して、プリンタとパソコンを直接接続します。
ネットワークプリンタとして使用する場合は、プリンタLANケーブルを取り付けてプリンタをネットワークに接続します。

ローカルプリンタとして使用する

プリンタケーブル

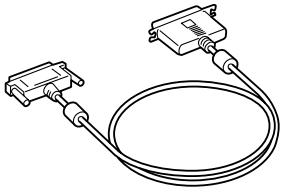
本プリンタはIEEE 1284準拠のパラレルインタフェースを標準装備しています。
接続ケーブルについては、次の制約があります。

- パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
- ケーブルの長さは、3メートル以下のものをお使いください。
- USBとの同時接続はできません。

⚠ 警告	感　電　プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

⚠ 注意	故　障　ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。特に接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。 誤った接続状態で使用すると、本プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご用意ください。



なお、本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。別売りケーブルは次のものが用意されています。

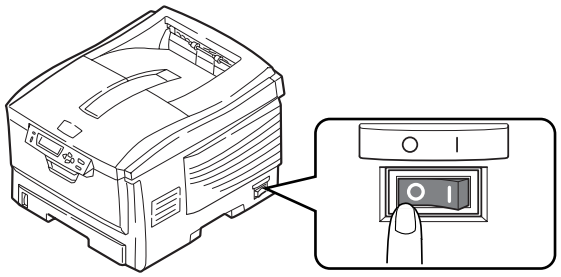
【富士通】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMVシリーズ	FMV-CBL712（1.5m）
PRIMERGY/GRANPOWER 5000シリーズ	FMS-CBL711（3m）

【その他】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
各社AT互換機パソコン	FMV-CBL712（1.5m）

次の手順にしたがって、プリンタケーブルを接続してください。

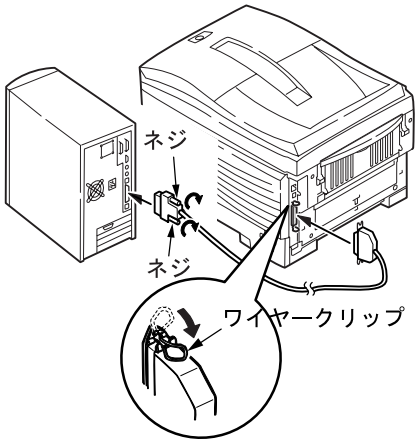


1 プリンタとパソコンの電源が切れていることを確認する

電源スイッチが〔○〕側に倒れていることを確認します。

お願い

プリンタケーブルを接続するときは、必ずパソコンの電源も切ってください。



2 プリンタのパラレルインタフェースコネクタにプリンタケーブルを差し込み、コネクタ両端のワイヤクリップで固定する

3 プリンタケーブルのもう一方のコネクタを、パソコンのプリンタコネクタに接続する

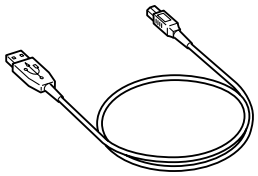
パソコン側への接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

プリンタUSBケーブル

本プリンタはUSBインタフェース（ハイスピードモード：480Mbps/フルスピードモード：12Mbps）を標準装備しています。
接続ケーブルについては、以下の制約があります。

- Windows 95/NT4.0では動作しません。
- Windows 95からWindows 98/Meへアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。
- USB1.1または2.0に準拠したUSBケーブルを用意してください。
- パソコンとプリンタの接続に使用するUSBケーブルは、2m以下のシールドケーブルをお使いください。
- 印刷中にUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- USBハブを使用する場合は、パソコンと直接接続されたUSBハブに接続してください。
- 本プリンタと接続したUSBケーブルのもう一方は、パソコン本体のUSBコネクタ、またはセルフパワータイプのUSBハブ（電源コードやACアダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外のUSBコネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- パラレルとの同時接続はできません。

なお、本プリンタにはUSBケーブルは添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。別売りケーブルは次のものが用意されています。



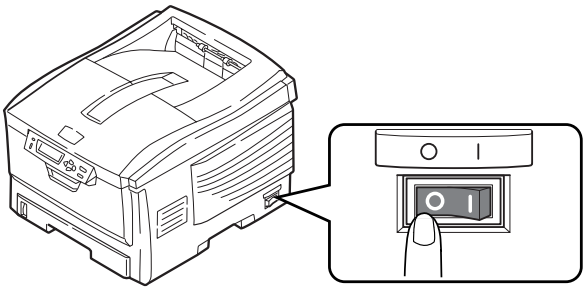
お願い

USB1.1に準拠したUSBケーブルを使用する場合は、オペレータパネルのUSBメニューでスピードを12Mbpsに設定してください。設定を変更せずに印刷を行うと、印刷速度の低下などの問題が発生する可能性があります。

参照　「第９章 オペレータパネルの操作」（143ページ）を参照

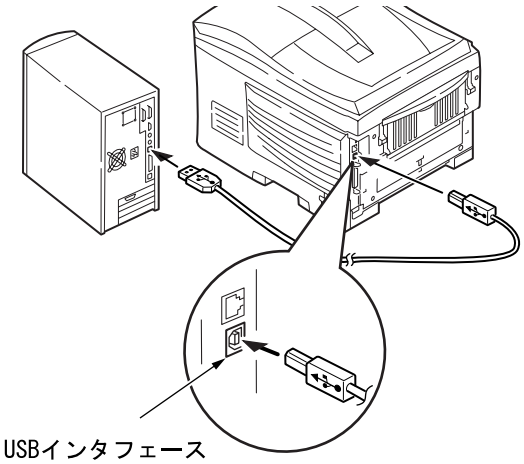
品　名	型　名	備　考
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2（1.5m）	USBのハイスピードモード（480bps）に対応し、Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンに接続できます。

次の手順にしたがって、プリンタUSBケーブルを接続してください。



1 プリンタとパソコンの電源が切れていることを確認する

電源スイッチが〔○〕側に倒れていることを確認します。



2 プリンタのUSBインタフェースコネクタにプリンタUSBケーブルを接続する

3 プリンタ USB ケーブルの他方を、パソコンのUSBインタフェースコネクタに接続する

ネットワークプリンタとして使用する

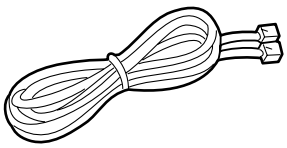
本プリンタが対応しているＬＡＮインタフェースは、次のとおりです。

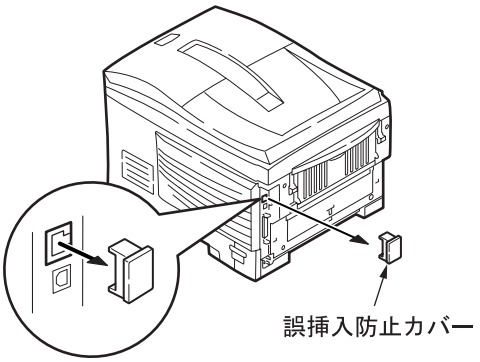
- １００ＢＡＳＥ-ＴＸ(ＦＵＬＬ：全二重モード /ＨＡＬＦ：半二重モード）に対応
- １０ＢＡＳＥ-Ｔ（ＦＵＬＬ：全二重モード /ＨＡＬＦ：半二重モード）に対応

参照　本プリンタをネットワークプリンタとして使用する場合は、オペレータパネルを使用してネットワーク情報（ＩＰアドレス /ＨＵＢ ＬＩＮＫのモード等）を設定する必要があります。
詳細は、『ＸＬ-Ｃ２０００オンラインマニュアル』「第１章　ネットワークプリンタの設定」「ＩＰアドレスを設定する」を参照してください。

プリンタＬＡＮケーブルは、使用しているネットワークの接続形態に合ったツイストペアケーブルを用意してください。

ガイド　１００ＢＡＳＥ-ＴＸの場合は、カテゴリー ５のケーブルが必要です。

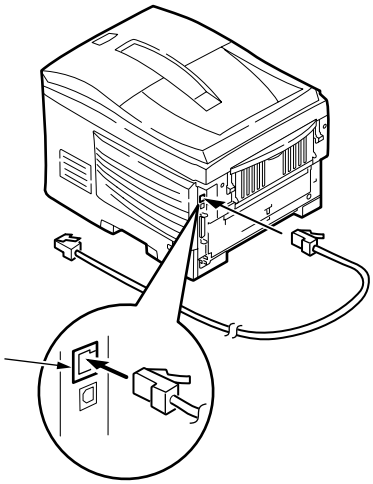




1 **プリンタ本体背面のプリンタ LAN ケーブルコネクタに挿入されている誤挿入防止カバーを外す**

お願い

誤挿入防止カバーは捨てずに保管し、ネットワーク接続しない場合に挿入してください



2 **プリンタ LAN ケーブルをプリンタのプリンタ LAN ケーブルコネクタに差し込む**

電源を入れる

⚠ 警告

感　電　・電源プラグは、定格電圧 100V、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は、100V、8.5A となっています。

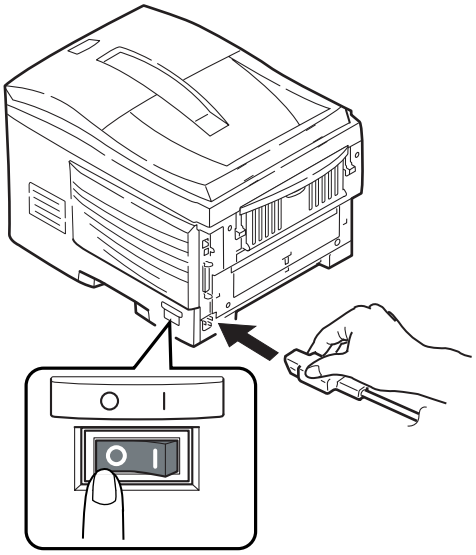
・万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

お願い

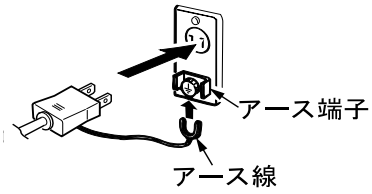
色ズレが発生する場合があるため、プリンタを揺らさないでください。色ズレが発生した場合は、「第11章 こんなときには」の「印刷品質が低下したとき」（214ページ）を参照してください。

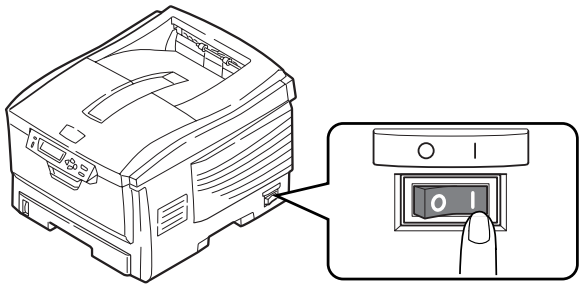
次の手順にしたがって、電源を入れてください。

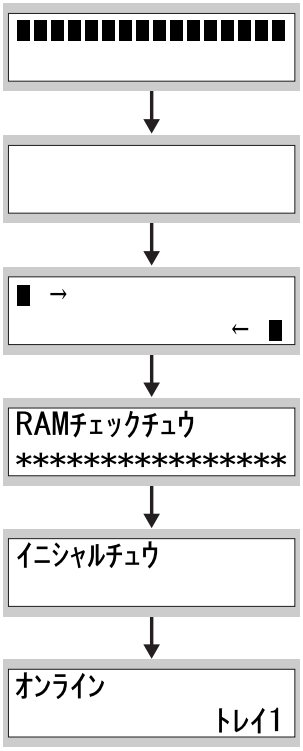


1 電源コードをプリンタ本体背面にある電源コードコネクタに差し込む

電源が切れていることを確認してから作業してください。







2 電源プラグをコンセントに差し込む

コンセントのアース線をアース端子に接続します。

3 プリンタ本体右側面にある電源スイッチの〔I〕側を押す

電源が入ります。

4 オペレータパネルの液晶ディスプレイに、〔イニシャルチュウ〕と表示される。この表示が〔オンライン トレイ1〕に変わることを確認する

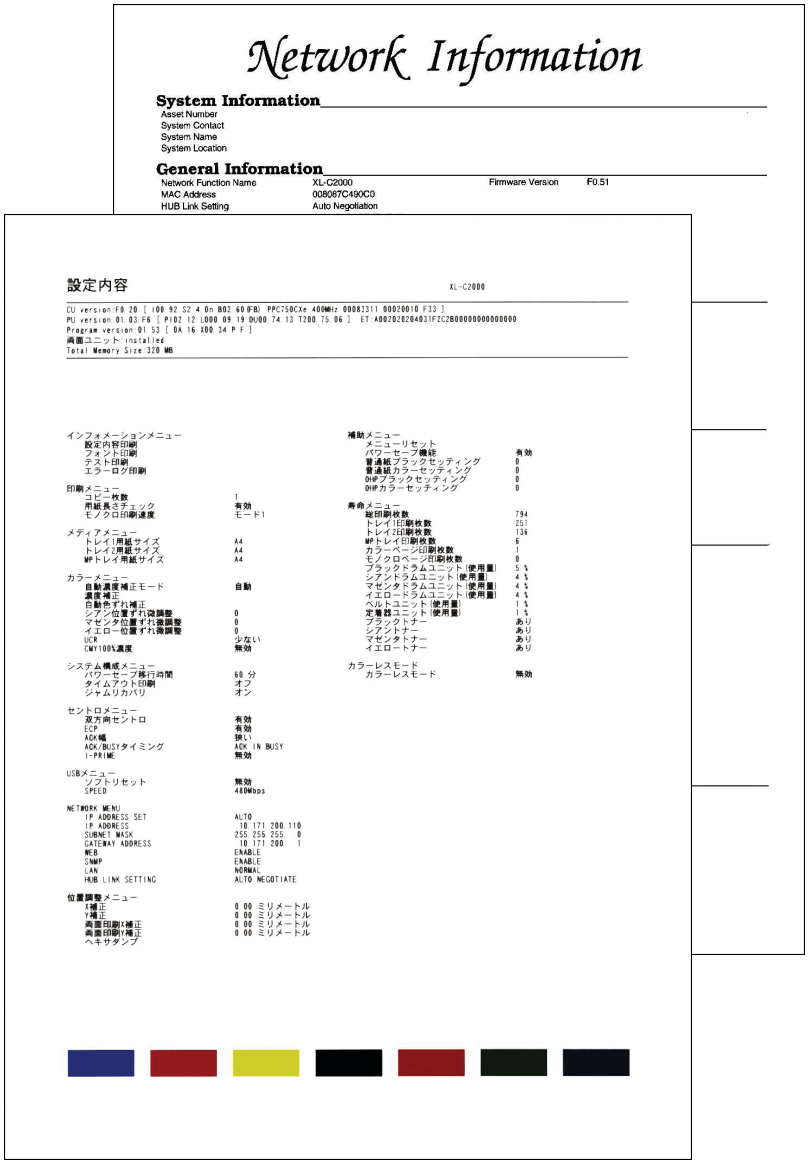
ガイド

オンライン表示後は、しばらくの間「ウォーミングアップ」「カラーチョウセイチュウ」が交互に表示されます。
液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認して対処してください。また、オンライン表示にならないときや対処方法がわからない場合は、「メッセージが表示されるとき」（194ページ）を参照してください。

プリンタの設定内容を確認する

プリンタの設置後は設定内容の一覧を印刷し、プリンタが正しく設置され、動作しているかどうかを確認してください。
また、オプション品を取り付ける場合は、オプション品を取り付けた後に設定内容の一覧を印刷し、正しく取り付けられたかどうかを確認してください。

参照　「設定内容の一覧を印刷する」（１２６ページ）を参照



第3章
オプションの装着

本製品のオプションには、プリンタRAM　モジュール、両面ユニット、拡張給紙ユニットがあります。これらの取り付けかたについて説明します。

オプション品について 34
オプション取り付け上のご注意 37
プリンタRAM モジュールの取り付けかた 37
プリンタRAM モジュールを取り付ける 38
プリンタRAM モジュールを取り外す 41
両面ユニットの取り付けかた 42
両面ユニットを取り付ける 43
両面ユニットを取り外す 45
拡張給紙ユニットの取り付けかた 46
拡張給紙ユニットを取り付ける 47
拡張給紙ユニットを取り外す 49

オプション品について

本製品は、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

拡張給紙ユニット(650枚)

品　名	型　名	内　容
拡張給紙ユニット（650枚）	XL-EF65X1	2段目の給紙ユニットとして使用できます。 A4～A5、レター、リーガルサイズの用紙を約650枚（用紙厚が坪量64g/m²の場合）セットできるカセットで構成されています。

両面ユニット

品　名	型　名	内　容
両面ユニット	XL-DUPX1	両面印刷用ユニットです。本ユニットを取り付けると、A4～A5、レター、リーガルサイズの用紙の両面に印刷ができるようになります。

お願い　**両面ユニットをご使用になる場合は、オプションのプリンタRAMモジュールを取り付けてください。**

プリンタRAMモジュール

品　名	型　名	内　容
プリンタRAMモジュール-64MB*	XL-EM64M7	RAMを64MB 搭載したメモリモジュールです。
プリンタRAMモジュール-256MB*	XL-EM256M7	RAMを256MB 搭載したメモリモジュールです。

*：オプションのプリンタRAMモジュールはいずれか１枚のみ装着できます。

〈用途〉

プリンタRAMモジュールの容量を増加することにより、印刷速度が速くなります。とくに、高解像度で印刷をする場合は、より効果があります。

- 両面印刷が可能になります。(必須)
- 部単位印刷ができます。
- 1200dpi での印刷が可能になります。

搭載されているＲＡＭの容量と解像度によって印刷できる用紙サイズが異なります。これらの関係を以下の表に示します。

◎：どのようなデータも確実に印刷できます。
○：データの内容によって印刷できない場合があります。
－：本設定では使用できません。

〈片面印刷〉

	64MB（オプションなし）			128MB（オプション：64MB）			320MB（オプション：256MB）		
	300×300dpi	600×600dpi	600×1200dpi	300×300dpi	600×600dpi	600×1200dpi	300×300dpi	600×600dpi	600×1200dpi
リーガル	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
レター	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
はがき	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ユーザ定義サイズ	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
長尺紙	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎

〈両面印刷〉

	64MB（オプションなし）			128MB（オプション：64MB）			320MB（オプション：256MB）		
	300×300dpi	600×600dpi	600×1200dpi	300×300dpi	600×600dpi	600×1200dpi	300×300dpi	600×600dpi	600×1200dpi
リーガル	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
レター	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B5	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A5	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A6	－	－	－	－	－	－	－	－	－
はがき	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ユーザ定義サイズ	－	－	－	－	－	－	－	－	－
長尺紙	－	－	－	－	－	－	－	－	－

プリンタケーブルについて

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

お願い

・本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売ケーブルをお使いください。
・以下の長さのシールドケーブルをお使いください。
パラレルインタフェースケーブル： 3m 以下
USB ケーブル： 2m 以下

別売りケーブルは次のものが用意されています。

【富士通】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMVシリーズ	FMV-CBL712（1.5m）
PRIMAERGY/GRANPOWER 5000 シリーズ	FMS-CBL711（3m）

【その他】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
各社AT互換機パソコン	FMV-CBL712（1.5m）

【プリンタUSBケーブル】

本プリンタをパソコンのUSBインタフェースに接続して使用するためのケーブルです。

品　名	型　名	内　容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2	USBに対応し、Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンに接続できます。

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。

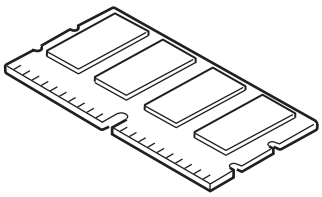
⚠ 警告	感　電　警告感電オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。 当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因となります。

⚠ 注意	け　が　オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。 指定された場所以外のネジを外すと、ケガや故障の原因となることがあります。

プリンタRAM モジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタRAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。
複雑なデータを印刷してメモリ不足エラーが発生する場合や、部単位印刷で〔メモリ　フソク(ブタンイ)〕と表示される場合に追加してください。

増設メモリ	メモリ量（総メモリ量）
なし(標準)	64MB（64MB）
XL-EM64M7	+64MB（128MB）
XL-EM256M7	+256MB（320MB）



お願い　**オプションの両面ユニットを取り付けて両面印刷を行う場合は、かならずメモリを増設してください。**

ガイド　64MBおよび256MBのメモリを同時に取り付けることはできません。

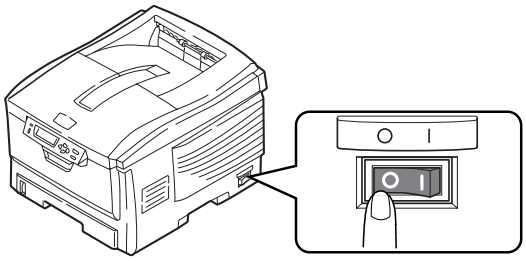
⚠ 警告	感　電　プリンタRAMモジュールの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが〔◯〕側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

お願い

静電気によってプリンタRAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。
- **本プリンタに取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。**
- **モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。**
- **モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。**

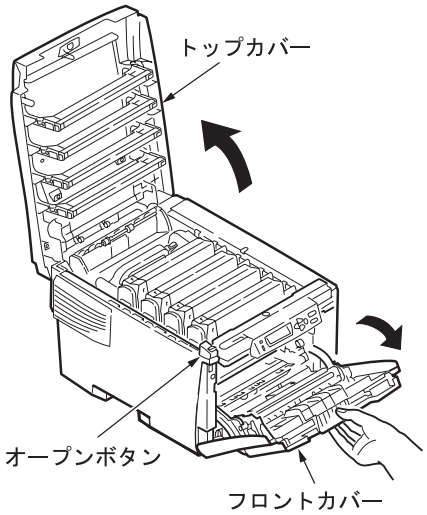
プリンタRAM モジュールを取り付ける

プリンタRAM モジュールは、次の手順で取り付けます。



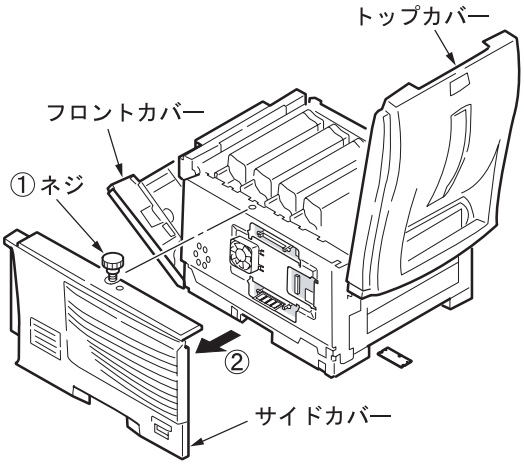
1 プリンタの電源を切り、ケーブルを取り外す

プリンタの電源スイッチを〔○〕側に倒します。電源コードの電源プラグを電源コンセントから抜きます。
パラレルケーブル、プリンタLANケーブル、およびUSB ケーブルを外します。



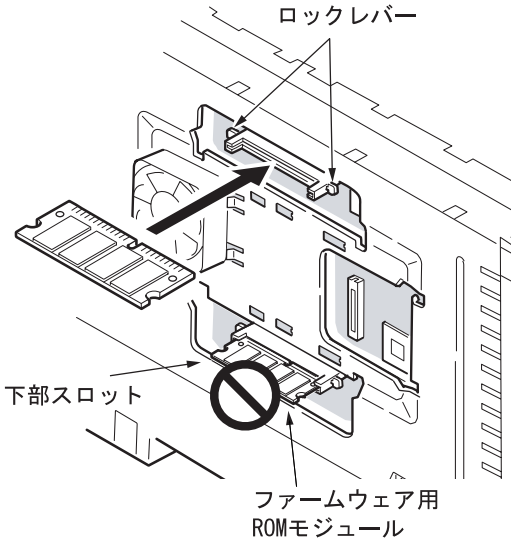
2 トップカバーとフロントカバーを開く

オープンボタンを押し、トップカバーを開きます。フロントカバー上部中央にある取っ手を持ち、フロントカバーを手前に開きます。



3 ネジをゆるめ(①)、サイドカバー（右側）を外す(②)

サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。



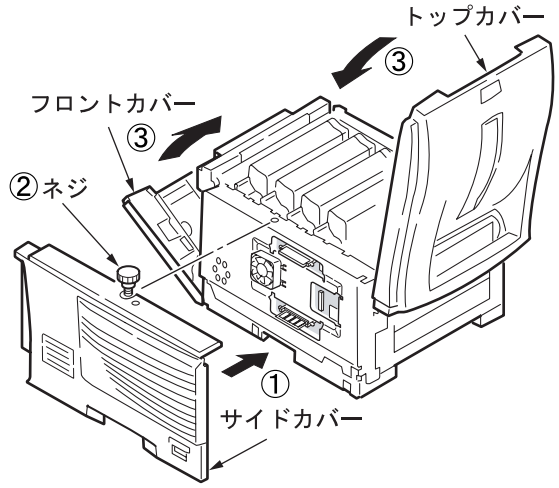
4 上部スロットの両端のロックレバーを開き、プリンタRAMモジュールの向きに注意して、溝に合わせてゆっくりと差し込む

取り付け後は、左右のレバーで確実に固定されていることを確認します

⚠ 注意

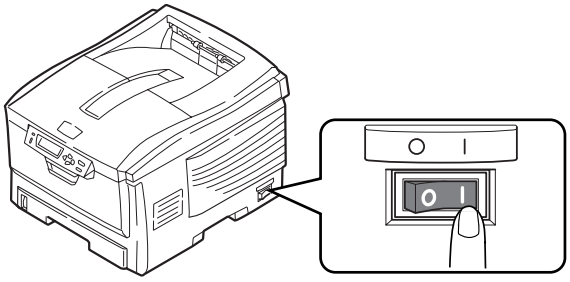
故　障　下部スロットに取り付けられているファームウェア用ROMモジュールを絶対に取り外さないでください。本モジュールを取り外すとプリンタが起動しなくなります。

参照　プリンタRAMモジュールの取り外し方については、「プリンタRAM モジュールを取り外す」（41ページ）を参照



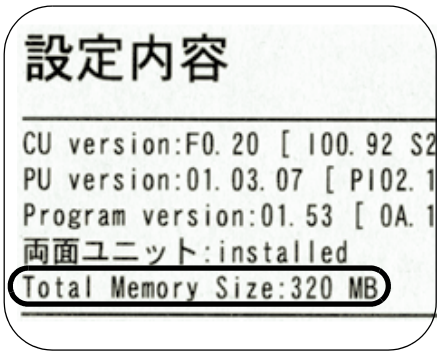
5 サイドカバーを取り付け(①)、手順3でゆるめたネジで固定(②)する

6 トップカバーとフロントカバーを閉じる(③)



7 プリンタに電源コード、ケーブルを取り付け、電源を入れる

プリンタの電源スイッチを〔｜〕側に倒します。



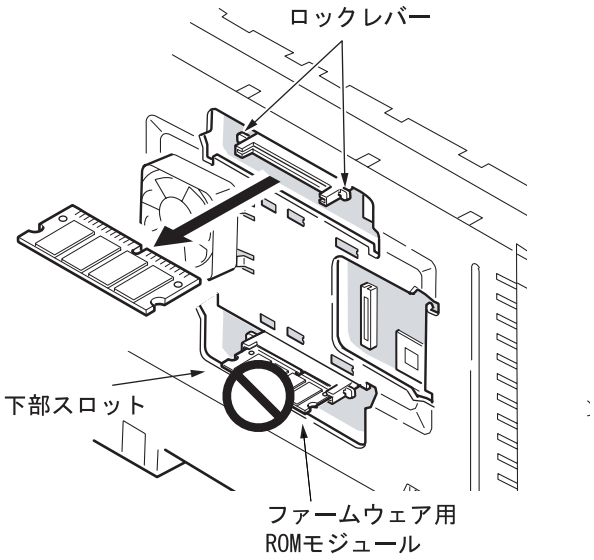
8 設定内容の一覧を印刷し、増設したメモリが正しく取り付けられていることを確認する

「Total Memory Size」に表示される総メモリ量が128MBまたは320MBであることを確認します。

参照　「設定内容の一覧を印刷する」（126ページ）を参照

プリンタRAM モジュールを取り外す

プリンタRAM モジュールを取り外すときは、ロックレバーを押しながら、手前に引き抜きます。サイドカバーの外しかたや取り付けかたは、プリンタRAM モジュールを取り付ける」（38ページ）を参照してください。



⚠ 注意	故　障　下部スロットに取り付けられているファームウェア用ROM モジュールを絶対に取り外さないでください。本モジュールを取り外すとプリンタが起動しなくなります。

両面ユニットの取り付けかた

オプションの両面ユニットを本製品に取り付けると、次のサイズの用紙の両面に印刷できるようになります。

A４～A５、レター、リーガル

お願い

両面ユニットを取り付けて画面印刷を行う場合は、64MB以上のメモリを取り付ける必要があります。

参照　「オプション品について」の「プリンタRAM モジュールを取り付ける」（38ページ）を参照

⚠ 警告

感　電　警告感電両面ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが〔◯〕側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

⚠ 注意

故　障　両面ユニットは、本製品専用品を取り付けてください。また、本製品専用の両面ユニットを、他のプリンタに取り付けることはできません。
専用品以外の両面ユニットを取り付けると、両面ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因となります。

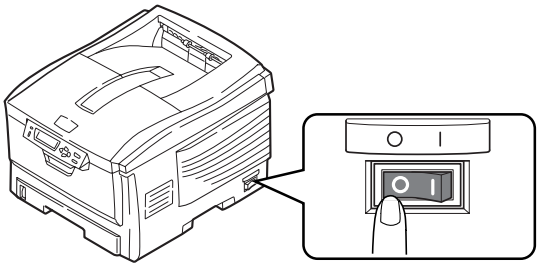
やけど　「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

両面ユニットを取り付ける

両面ユニットは、次の手順で取り付けます。

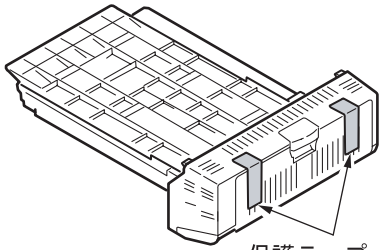
お願い

両面ユニットを取り付ける場合は、かならず電源を切った状態で行ってください。紙づまり発生時以外に電源が入った状態で両面ユニットの着脱を行うと、〔181：リョウメン ユニット　ツウシンエラー〕がオペレータパネルに表示され、電源の再投入が必要になります。

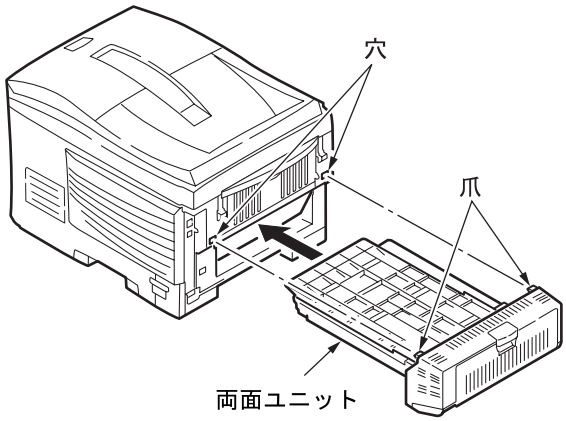


1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを〔○〕側に倒します。電源コードの電源プラグを電源コンセントから抜きます。
パラレルケーブル、プリンタLANケーブル、およびUSB ケーブルを外します。

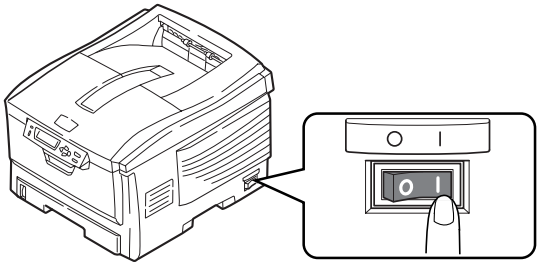


2 両面ユニットの保護テープ(2か所）をはがす



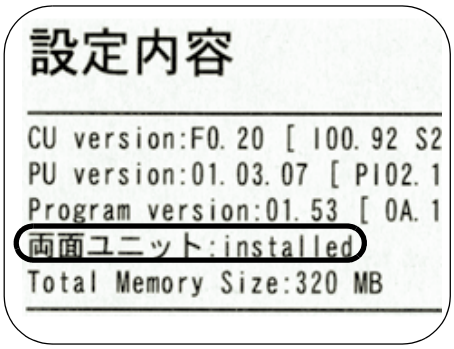
3 両面ユニットをプリンタ背面下部に奥までしっかりと差し込む

両面ユニットの両端の爪がプリンタの穴にしっかり入っていることを確認してください。



4 プリンタに電源コード、ケーブルを取り付け、電源を入れる

プリンタの電源スイッチを〔｜〕側に倒します。



5 設定内容の一覧を印刷し、ユニットが正しく取り付けられていることを確認する

「両面ユニット：installed」が表示されていることを確認します。

参照　「設定内容の一覧を印刷する」（126ページ）を参照

お願い

両面ユニットを取り付けた場合、プリンタドライバインストール後、「第10章　プリンタドライバの設定/印刷」（161ページ）を参照し、両面ユニットをプリンタドライバで設定してください。

両面ユニットを取り外す

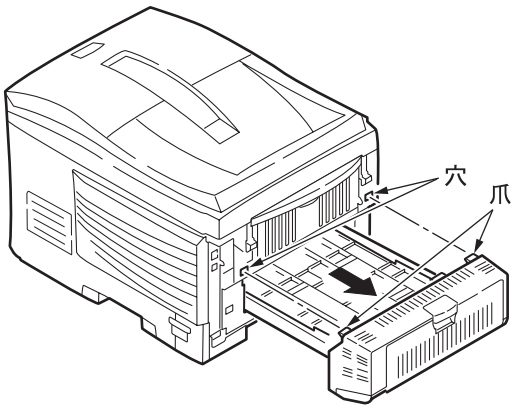
両面ユニットは、次の手順で取り外します。

お願い

両面ユニットを取り外す場合は、かならず電源を切った状態で行ってください。紙づまり発生時以外に電源が入った状態で両面ユニットの着脱を行うと、〔181：リョウメンユニット　ツウシンエラー〕がオペレータパネルに表示され、電源の再投入が必要になります。

1 プリンタの電源を切り、各コード、ケーブルを外す

両面ユニットを取り付けるときと同じ手順で、プリンタの電源を切り、電源コード、パラレルケーブル、USB ケーブル、およびプリンタ LAN ケーブルを外します。



2 両面ユニットを持ち上げながら、引き抜く

拡張給紙ユニットの取り付けかた

オプションの拡張給紙ユニットを本製品に取り付けると,次のサイズの用紙に印刷でき、標準の給紙カセットとあわせて最大1,000枚（用紙厚が坪量64g/m^{2}の場合）を連続して印刷できます。

A4～A5、レター、リーガル

⚠ 警告

感　電　拡張給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが〔◯〕側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

⚠ 注意

故　障　拡張給紙ユニットは、本製品専用品を取り付けてください。また、本製品専用の拡張給紙ユニットを、他のプリンタに取り付けることはできません。専用品以外の拡張給紙ユニットを取り付けると、拡張給紙ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因となります。

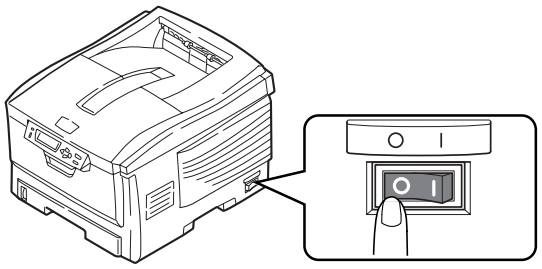
け　が
- 拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。
- 本製品と拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。
- 本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約20kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ正面（オペレータパネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

拡張給紙ユニットを取り付ける

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。

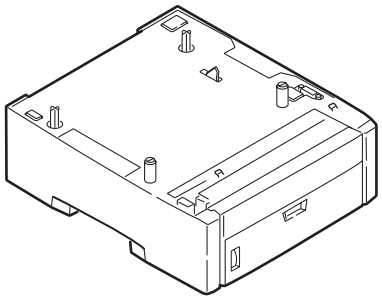
お願い

拡張給紙ユニットを取り付ける場合は、かならず電源を切った状態で行ってください。
電源が入った状態で拡張給紙ユニットの着脱を行うと、〔182：カクチョウキュウシユニット ツウシンエラー〕がオペレータパネルに表示され、電源の再投入が必要になります。

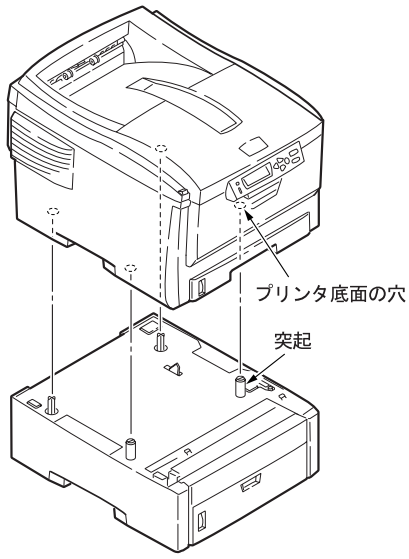


1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを〔○〕側に倒します。電源コードの電源プラグを電源コンセントから抜きます。
パラレルケーブル、プリンタLANケーブル、およびUSB ケーブルを外します。

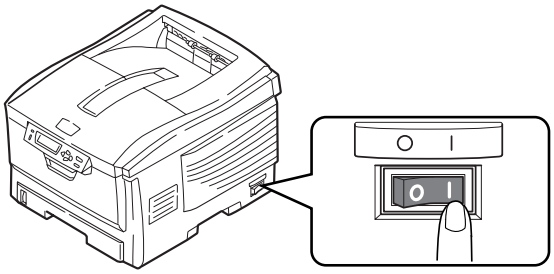


2 拡張給紙ユニットを梱包箱から取り出し、設置場所に置く



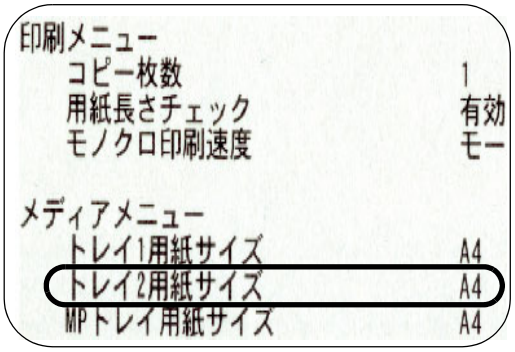
3 プリンタ底面の穴と拡張給紙ユニットの突起を合わせる

4 プリンタを拡張給紙ユニットの上に静かに載せる



5 プリンタに電源コード、ケーブルを取り付け、電源を入れる

プリンタの電源スイッチを〔｜〕側に倒します。



6 設定内容の一覧を印刷し、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられていることを確認する

「トレイ2」が表示されていることを確認します。

参照　「設定内容の一覧を印刷する」（126ページ）を参照

お願い

拡張給紙ユニットを取り付けた場合、プリンタドライバインストール後、「第10章　プリンタドライバの設定/印刷」（161 ページ）を参照し、拡張給紙ユニットをプリンタドライバで設定してください。

拡張給紙ユニットを取り外す

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

お願い

拡張給紙ユニットを取り外す場合は、かならず電源を切った状態で行ってください。
電源が入った状態で拡張給紙ユニットの着脱を行うと、〔182：カクチョウキュウシユニット ツウシンエラー〕がオペレータパネルに表示され、電源の再投入が必要になります。

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを〔◯〕側に倒します。電源コードの電源プラグを電源コンセントから抜きます。
パラレルケーブル、プリンタLAN ケーブル、およびUSB ケーブルを外します。

2 取り付けと逆の手順で、拡張給紙ユニットをプリンタから取り外す

第4章
外部との接続

この章では、本プリンタをパソコンまたはLAN に接続する方法について説明します。

インストールの手順と設定の概要 52
パソコンとローカルに接続する 55
ネットワーク経由で接続する 56
LANに接続するときの注意事項.....57
パソコンとLANの両方に接続するときの注意事項 58

インストールの手順と設定の概要

プリンタの設置が終わったら、パソコンまたはＬＡＮと接続し、印刷するために必要な設定を行います。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なりますので、次の図を参照し、必要な設定を行ってください。
設定は❶プリンタ❷サーバまたはパソコン（管理者）❸クライアントまたはパソコンの順に行ってください。

ガイド

接続・運用形態は、お使いの環境にあわせて以下を目安に選択してください。

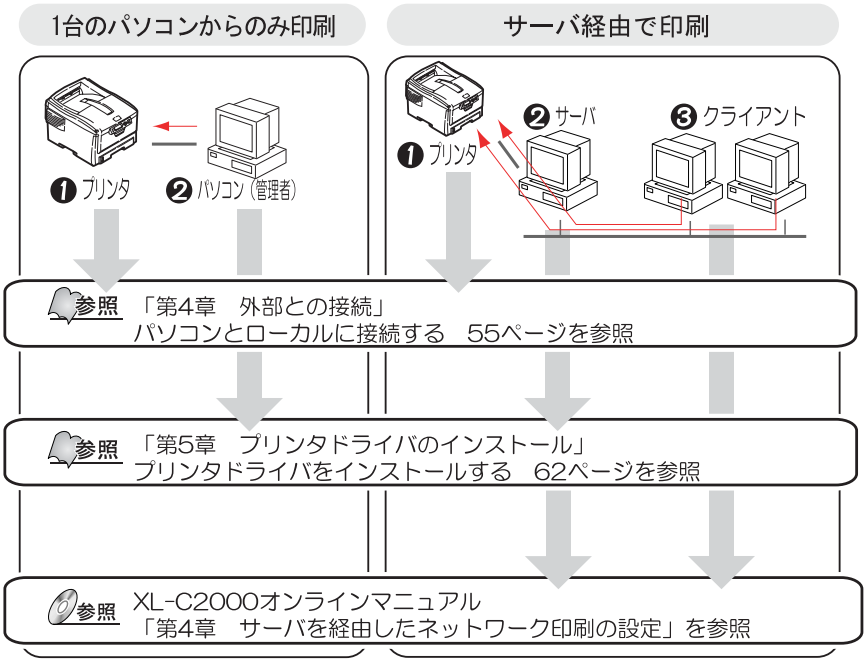
・プリンタケーブル / プリンタＵＳＢケーブルで接続
　１台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用にIPアドレスを使いたくない場合
・プリンタＬＡＮケーブルで接続
　プリンタの設置場所が自由、データの転送速度が高速な場合

サーバ経由で印刷すると、ホスト側の設定 / 管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。

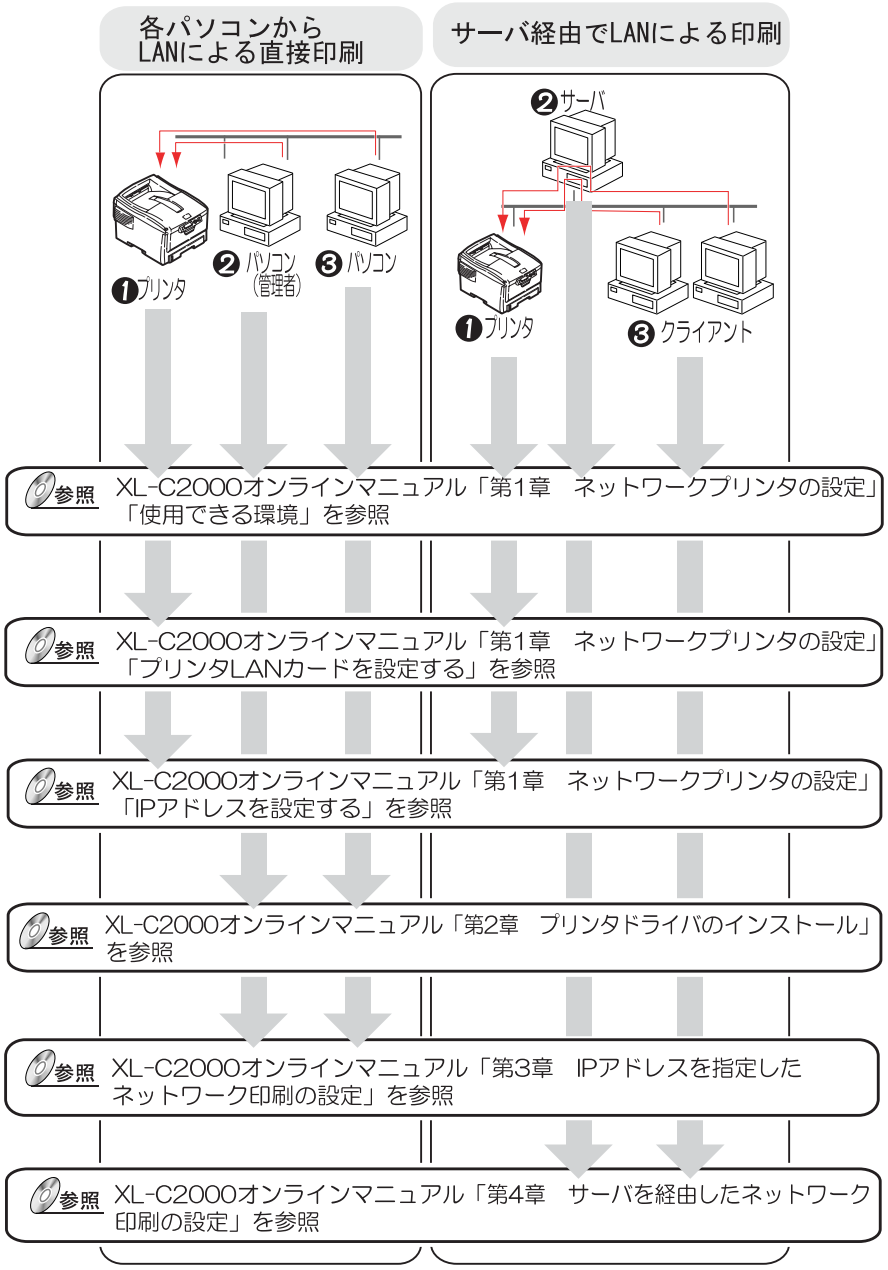
お願い

・本プリンタをネットワーク環境で使用する場合は、かならずオンラインマニュアルを参照してください。
・オンラインマニュアルは本体に添付されているソフトウェアCD-ROM内に収められています。（xvii ページ、6ページを参照）

プリンタケーブル / プリンタ USB ケーブルで接続するとき



プリンタLANケーブルで接続するとき



参照　設定手順の詳細は、装置添付のプリンタソフトウェアCD-ROM内にあるオンラインマニュアル（PDFファイル）を参照してください。

パソコンとローカルに接続する

本プリンタは、セントロニクス準拠のパラレルインタフェースとUSBインタフェース（ハイスピードモード：480Mbps/フルスピードモード：12Mbps）を標準装備しています。パラレルインタフェースまたはUSBインタフェースにパソコンを接続する方法については、「第２章　プリンタの設置」の「ローカルプリンタとして使用する」を参照してください。

参照　「ローカルプリンタとして使用する」（24ページ）を参照

⚠ 警告

感 電　プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

⚠ 注意

故 障　ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

お願い

- **本プリンタを切替器を利用してパソコンと接続すると、プリンタが応答しなかったり、文字化けしたりする原因となります。パソコンとプリンタは、1対1で接続してください。**
- **プリンタケーブル / プリンタUSBケーブルについては、次の制約があります。**
  - **パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。**
  - **ケーブルの長さは、プリンタUSBケーブルで2メートル以下、プリンタケーブルで3メートル以下のものをお使いください。**
- **本プリンタには、プリンタケーブルおよびプリンタUSBケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。**

ネットワーク経由で接続する

プリンタをネットワーク経由で接続するときは、XL-C2000とハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX対応のハブユニットに接続して100Mbpsでご使用になる場合には、必ずカテゴリー５のツイストペアケーブルをご使用ください。

⚠ 注意	故 障　プリンタLANケーブルを接続するときは、必ず本プリンタの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると誤動作の原因となります。

プリンタLANケーブルの接続方法については、「第２章　プリンタの設置」の「ネットワークプリンタとして使用する」（２８ページ）を参照

LANに接続するときの注意事項

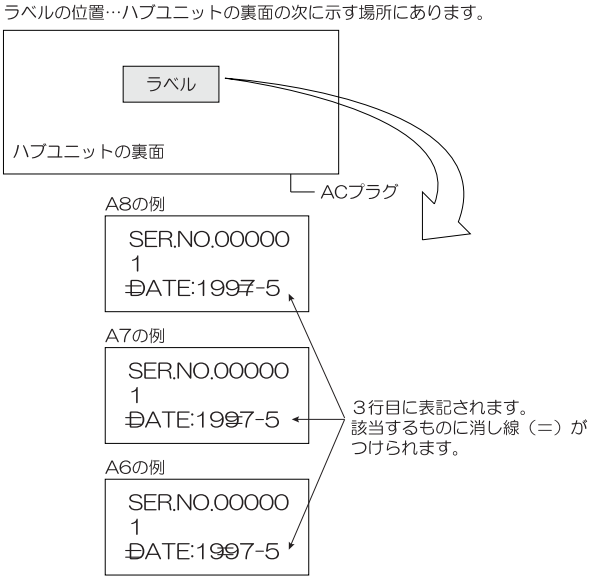
● プリンタ LAN ケーブルをハブユニットに接続した場合で、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方のイーサネットタイプを同じ規格に設定してください。
本プリンタのイーサネットタイプは、「自動」「100Mbps Full/Half」「10Mbps Full/Half」の中から選ぶことができます。プリンタのイーサネットタイプは、メニューモードの「Network」にある「HUB LINK SETTING」で変更します。

参照　メニューモードについては、「第９章 オペレータパネルの操作」の「共通メニュー画面の設定一覧」（151ページ）を参照

ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。

● ハブユニットLH1100と接続する場合は、次の点にご注意ください。
- 50mを越えるツイストペアケーブルは使用しないでください。50mを越えるツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
- ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「ハードウェア修理相談センター」（252ページ）にご相談ください。

ラベルの見かたを次の図に示します。



パソコンとLANの両方に接続するときの注意事項

本プリンタは、LAN経由でサーバプリンタとして動作するとともに、ローカル接続が可能です。
パラレルポート、USBポート、プリンタLANポートの各ポートにパソコンを接続したときは、次の点にご注意ください。

- ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
- １つのポートを使用して印刷している場合、その他のポートは使用できません。
- １つのポートで未印刷データがある場合、その他のポートには切り替わりません。

お願い

パラレルポートから印刷している間は、プリンタからUSBケーブルやプリンタLANケーブルを抜き差ししないでください。

第5章
プリンタドライバのインストール

この章では、パソコンにプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

プリンタドライバインストールの概要..... 60
ホスト環境について.....60
ネットワーク環境について.....61
プリンタドライバの更新およびアンインストールについて.....61
プリンタドライバをインストールする..... 62
インストール方法を決める.....62
パラレル接続でインストールする場合 (Windows 95/98/NT4.0/2000).....65
パラレル接続でインストールする場合 (Windows XP/Windows Server 2003).....67
USB接続でインストールする場合 (Windows 98/Me/2000).....72
USB接続でインストールする場合 (Windows XP/Windows Server 2003).....78
最新プリンタドライバを入手する..... 81
プリンタドライバを削除する.....81
新しいプリンタドライバに置き換える.....82

プリンタドライバインストールの概要

本プリンタを利用して印刷するためには、プリンタドライバのインストールが必要です。プリンタドライバとは、パソコンからの印刷データや印刷指示をプリンタが解釈できるデータに変換するソフトウェアです。
ここでは、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を使って XL-C2000プリンタドライバをインストールするために必要な環境について説明します。

参照　「プリンタドライバをインストールする」(62ページ)」を参照

ホスト環境について

サポートしているOS、システム環境は次のとおりです。

OS

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003

パソコン

FMVシリーズおよびPC/AT互換機
(双方向パラレルインタフェースをサポート、またはUSBインタフェースを内蔵)

ガイド
次の条件には対応していません。

- DOSアプリケーション
- WIN-OS/2およびWindows NT3.51以下のバージョン
- 英語版のWindows
- Netware

ネットワーク環境について

サポートしているネットワークサーバ(OS)環境は次のとおりです。

OS

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003

システム

ネットワークインタフェースカードおよびCD-ROMドライブを搭載したFMVシリーズおよびPC/AT互換機

TCP/IPプロトコル使用前の確認事項

TCP/IPプロトコルを使用する前に、次のことを確認してください。lprを使用して印刷する場合、ホスト側では弊社製〔FUJITSU LPRユーティリティ〕を使用します。FUJITSU LPRユーティリティのインストール方法については『XL-C2000オンラインマニュアル』「第3章 IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定」の「FUJITSU LPRユーティリティを使用する場合」を参照してください。

参照　本プリンタ添付のCD-ROMに収められている『XL-C2000オンラインマニュアル』を参照

プリンタドライバの更新およびアンインストールについて

プリンタドライバの更新およびアンインストールについては、「プリンタドライバを削除する」（81ページ）を参照してください。

プリンタドライバをインストールする

本プリンタをご使用になるには、ご使用のパソコンのOSおよびパソコンがサポートしているインタフェースに適したプリンタドライバをインストールする必要があります。

インストール方法を決める

パソコンとプリンタの接続方法、およびプリンタドライバのインストール手順は、パソコンがサポートしているインタフェースによって異なります。

パラレルインタフェースによる接続

パソコン	双方向パラレルインタフェースをサポートするPC/AT 互換機
OS	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版
セットアップ方法	インストーラによるセットアップ (Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 日本語版) プラグアンドプレイによるインストール (Windows XP/Windows Server 2003 日本語版)

パラレルインタフェースで接続するときは、次のことを確認してください。

⚠ 警告

感 電　プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。

⚠ 注意

故 障　ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

お願い

・パソコンとプリンタの接続に使用するパラレルケーブルは、3m以下のシールドケーブルをお使いください。本プリンタには、パラレルケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。
・USBとの同時接続はできません。

USB*1 による接続

パソコン　　USBインタフェースを内蔵するPC/AT互換機
OS　　Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版
セットアップ方法　　プラグアンドプレイによるインストール

*1： キーボードやマウス、モデムなどの周辺機器とパソコンを結ぶデータ送路の規格の１つです。

USBインタフェース接続で接続するときは、次のことを確認してください。

お願い

・Windows 95からWindows 98/Meへアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。
・Windows 95/NT4.0では動作しません。
・パソコンとプリンタの接続に使用するUSBケーブルは、2m以下のシールドケーブルをお使いください。
・印刷中にUSBケーブルを抜き差ししないでください。
・USBハブを使用する場合は、パソコンと直接接続されたUSBハブに接続してください。
・本プリンタと接続したUSBケーブルのもう一方は、パソコン本体のUSBコネクタ、またはセルフパワータイプのUSBハブ（電源コードやACアダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外のUSBコネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
・パラレルとの同時接続はできません。

ガイド

USB2.0に準拠したUSBケーブルを用意してください。USBケーブルは本プリンタには添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。

共有プリンタによる接続（ネットワークを利用したインストール）

パソコン	TCP/IPをサポートするPC/AT互換機
OS	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版
インストール方法	サーバからのネットワーク経由

参照　ネットワーク接続でのインストールに関しては『XL-C2000 オンラインマニュアル』「第4章　サーバを経由したネットワーク印刷の設定」を参照

ガイド　本プリンタドライバを他機種のプリンタで使用することはできません。
また、他機種用のプリンタドライバを本プリンタで使用することもできません。

インストール方法

本章では、次のセットアップ方法について説明します。

●プラグアンドプレイ

Windowsは起動するときに新しく接続されたプリンタを自動的に検出し、プリンタを使用するために必要な操作が画面に表示されます。その指示にしたがって、インストールを行います。

●プリンタの追加（通常のインストール）

- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000の場合
  〔プリンタ〕フォルダ内の〔プリンタの追加〕をダブルクリックしてインストールを開始します。
- Windows XP/Windows Server 2003の場合
  〔プリンタとFAX〕フォルダ内の〔プリンタのインストール〕をクリックしてインストールを開始します。

ガイド　プラグアンドプレイ、プリンタの追加どちらででもインストールできる環境の場合は、プラグアンドプレイでインストールすることをお勧めします。

●イントスーラの利用

添付のプリンタソフトウェアCD-ROMからFUJITSU XL-C2000 プリンタCD-ROMメニューを起動し、インストールします。

ガイド　文中において、〔　〕で囲んだ表記はメニューやボタン、ダイアログボックス名を示し、〈　〉で囲んだ表記はダイアログボックス上に表示される文字を示します。
また、メニューなどの後ろに（　）で囲まれている文字は、アクセスキーを示します。

パラレル接続でインストールする場合 (Windows 95/98/NT4.0/2000)

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
ここでは、Windows 95を例にCD-ROM内のインストーラを使ってセットアップする方法について説明します。
添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを準備してください。

ガイド

- パソコンとプリンタをパラレルインタフェースで接続する手順については「ローカルプリンタとして使用する」「プリンタケーブル」（24ページ）を参照してください。
- ご使用のパソコンにインストールされているWindows95/98/Me/NT4.0/2000のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。
- 〔プリンタ〕フォルダの〔プリンタの追加〕からセットアップすることも可能です。

お願い

インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROM内の「README.TXT」をお読みください。(CD-ROMドライブがFの場合、「F:\XLC2000\Readme.txt」を参照してください。

1 プリンタの電源が入っていないことを確認し、Windows を起動する

お願い

Windows NT4.0/2000が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。

2 プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

3 〔マイコンピュータ〕を開く

4 〔XL-C2000〕アイコンをダブルクリックする

5 〔SETUP〕アイコンをダブルクリックする

富士通Printia LASERシリーズセットアップが起動します。

6 **「使用許諾契約」を読み、〔同意する〕をクリックする**

7 **〔プリンタドライバのインストール〕を選択し、〔選択〕をクリックする**

8 **〔ローカルプリンタ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする**

9 **ポートで〔LPT1〕を選択し、〔次へ〕をクリックする**

10 **プリンタの機種名〔FUJITSU XL-C2000〕を選択し、〔次へ〕をクリックする**

11 **プリンタ名を入力し、〔通常使うプリンタに設定する〕にチェックを付け、〔次へ〕をクリックする**

Windows 95/98/Meをご使用の場合、ここでファイルのコピーが行われます。

ガイド　Windows 2000/NT4.0をご使用の場合、〔プリンタの共有〕が表示されたら、〔共有しない〕を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。WindowsNT4.0では、ファイルのコピーが行われます。また、Windows 2000をご使用の場合、〔デジタル署名が見つかりませんでした〕と表示されたら、〔はい〕をクリックしてください。ファイルのコピーが行われます。

12 **〔完了〕をクリックする**

ガイド　〔コンピュータの再起動〕が表示されたら、〔再起動する〕にチェックをつけ、〔完了〕をクリックしてください。Windowsが再起動したら、手順14へ進みます。

13 **〔終了〕をクリックする**

14 **〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択する**

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
これでインストールは完了です。
パソコンとプリンタをプリンタケーブルに接続し、プリンタの電源を入れると印刷できるようになります。

パラレル接続でインストールする場合 (Windows XP/Windows Server 2003)

ここでは、Windows XP/Windows Server 2003が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows XP/Windows Server 2003のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

参照

「プラグアンドプレイでインストールする」（67ページ）
「プリンタのインストールでインストールする」（70ページ）

お願い

- **インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「README.TXT」をお読みください。（CD-ROMドライブがFの場合、「F:\XLC2000\Readme.txt」を参照してください。）**
- **プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。**

プラグアンドプレイでインストールする

1 Windowsを起動し、管理者権限でログオンする

2 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが〔｜〕側に倒れていることを確認します。

3 〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されたら、〔一覧または特定の場所からインストールする（詳細）〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されない場合は、「●〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されない場合」（69ページ）を参照してください。

4 **添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする**

5 **〔次の場所で最適のドライバを検索する〕を選択し、〔リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索〕のチェックを外す**

6 **〔次の場所を含める〕にチェックを付け、「F:\XLC2000\WINXP」と入力し、〔次へ〕をクリックする（CD-ROM ドライブがF:の場合）**

7 **〔ハードウェアのインストール〕が表示されたら、〔続行〕をクリックする**

ファイルのコピーが開始されます。

ガイド　〔ディスクの挿入〕が表示されたら、「●ディスクの挿入が表示された場合」（68ページ）を参照してください。

8 **〔完了〕をクリックする**

9 **〔スタート〕、〔プリンタとFAX〕の順にクリックする**

プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。
これでインストールは完了です。

●ディスクの挿入が表示された場合

インストールの途中で〔ディスクの挿入〕が表示された場合は、次の手順に従ってください。

1 **〔ディスクの挿入〕が表示されたら、添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをセットし、〔OK〕をクリックする**

2 **〔コピー元〕に「F:\XLC2000\WINXP」と入力し、〔OK〕をクリックする（CD-ROM ドライブがF:の場合）**

ファイルのコピーが開始されます。

3 **〔完了〕をクリックする**

4 **〔スタート〕、〔プリンタとFAX〕の順にクリックする**

プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。
これでインストールは完了です。

●〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されない場合

1 **〔スタート〕-〔マイコンピュータ〕をマウスの右ボタンでクリックし、〔プロパティ〕を選択する**

2 **〔ハードウェア〕タブの〔デバイスマネージャ〕をクリックする**

3 **〔その他のデバイス〕の「FUJITSU XL-C2000」を右クリックして〔削除〕を選択する**

4 **〔デバイスの削除の確認〕で〔OK〕をクリックし、〔デバイスマネージャ〕を閉る**

5 **〔システムのプロパティ〕で〔OK〕をクリックする**

6 **Windowsを再起動し、〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕から再度インストールする**

プリンタのインストールでインストールする

1 Windowsを起動し、管理者権限でログオンする

2 〔プリンタの追加ウィザード〕を起動する

Windows XPの場合：

〔スタート〕-〔プリンタとFAX〕の順に選択し、〔プリンタのインストール〕をクリックします。

Windows Server 2003の場合：

〔スタート〕-〔プリンタとFAX〕の順に選択し、〔プリンタの追加〕をクリックします。

3 〔プリンタの追加ウィザード〕が起動したら、〔次へ〕をクリックする

4 〔このコンピュータに接続されているローカルプリンタ〕を選択し、〔プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする〕のチェックを外して、〔次へ〕をクリックする

5 〔次のポートを使用〕を選択し、「LPT1：(推奨プリンタポート)」を選択し、〔次へ〕をクリックする

6 〔ディスク使用〕をクリックする

7 〔ディスクの挿入〕が表示されたら、添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをセットし、〔製造元のファイルのコピー元〕に「F:\XLC2000\WINXP」（CD-ROMドライブがFの場合）と入力し、〔OK〕をクリックする

8 〔FUJITSU XL-C2000〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

ガイド　既に他のドライバがインストールされている場合は、〈既存のドライバを使う〉と表示されたら、「新しいドライバに置き換える」を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。

9 プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔次へ〕をクリックする

10 **〔このプリンタを共有しない〕を選択し、〔次へ〕をクリックする**

11 **〔テストページを印刷しますか？〕で「いいえ」を選択し、〔次へ〕をクリックする**

12 **〈プリンタの追加ウィザードの完了〉と表示されたら、〔完了〕をクリックする**

13 **「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、〔続行〕をクリックする**

ファイルのコピーが開始されます。
〔プリンタとFAX〕フォルダにプリンタアイコンが表示されていることを確認してください。

以上で、インストールは完了です。

USB接続でインストールする場合 (Windows 98/Me/2000)

ここでは、Windows 98/Me/2000が動作するパソコンをご使用になっている場合のプリンタドライバのインストール方法について説明します。プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを準備してください。

1 プリンタの電源が入っていないことを確認し、Windowsを起動する

お願い

Windows 2000が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。

ガイド

- パソコンとプリンタを USB で接続する手順については「ローカルプリンタとして使用する」(24ページ)」「プリンタUSBケーブル」(26ページ)を参照してください。
- プリンタの電源が入っていると、〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されます。この場合には、〔キャンセル〕をクリックし、プリンタの電源を切って次に進んでください。

2 プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

3 〔マイコンピュータ〕を開く

4 〔XL-C2000〕アイコンをダブルクリックする

5 〔SETUP〕アイコンをダブルクリックする

富士通Printia LASERシリーズセットアップが起動します。

6 「使用許諾契約」を読み、〔同意する〕をクリックする

7 〔プリンタドライバのインストール〕を選択し、〔選択〕をクリックする

8 〔ローカルプリンタ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

9 ポートで〔USB〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

10 プリンタの機種名〔FUJITSU XL-C2000〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

Windows 2000をご使用の場合、〔デジタル署名が見つかりませんでした〕が表示されたら、〔はい〕をクリックしてください。
ファイルのコピーが行われます。

11 〔以上でUSBドライバのインストールが行われます〕と表示されたら、〔完了〕をクリックする

ガイド　〔コンピュータの再起動〕が表示されたら、〔再起動する〕にチェックをつけ、〔完了〕をクリックしてください。Windowsが再起動したら、手順12へ進みます。

12 パソコンとプリンタをプリンタUSBケーブルで接続する

13 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが〔|〕側に倒れていることを確認します。

ガイド　USBドライバのインストール方法は、ご使用になっているOSによって異なります。お使いのOSの手順を参照してください。

- Windows 98の場合　73 ページ
- Windows Meの場合　74 ページ
- Windows 2000の場合　75 ページ

●Windows 98の場合

〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されます。以下の手順に従ってUSBドライバをインストールします。
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は、「〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されない場合」（75ページ）を参照してください。

①〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックする
②〔使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
③〔CD-ROMドライブ〕にチェックを付け、〔次へ〕をクリックする

④ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、〔次へ〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

⑤〔完了〕をクリックする

引き続きUSBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

〔ディスクの挿入〕が表示されたら、手順 7へ進んでください。

また、富士通Printia LASERシリーズセットアップが起動した場合は、〔終了〕をクリックしてください。

⑥〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択する

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

これでインストールは完了です。

⑦〔ディスクの挿入〕が表示された場合は、プリンタソフトウェア CD-ROMをセットし、〔OK〕をクリックする

⑧〔ファイルのコピー元〕に「F:\XLC2000\WIN9XME」と入力し、〔OK〕をクリックする（CD-ROMドライブがFドライブの場合）

⑨〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択する

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

これでインストールは完了です。

●Windows Meの場合

〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されます。次の手順に従ってUSBドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は、「〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されない場合」（75ページ）を参照してください。

①〔適切なドライバを自動的に検索する（推奨）〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

②〔完了〕をクリックする

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

〔ディスクの挿入〕が表示された場合は、手順4へ進んでください。

また、富士通Printia LASERシリーズセットアップが起動した場合は、〔終了〕をクリックしてください。

③〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択する

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
これでインストールは完了です。

④ディスクの挿入が表示された場合は、〔ファイルのコピー元〕に「F:\XLC2000\WIN9XME」と入力し、〔OK〕をクリックする(CD-ROMドライブがDドライブの場合)

ファイルのコピーが開始されます。

⑤〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択する

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
これでインストールは完了です。

●Windows2000の場合

システム標準のUSBドライバが自動的にインストールされます。このとき、1～2分かかることがあります。

①〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択する

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
これでインストールは完了です。

〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されない場合

●Windows 98の場合

①〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕の順に選択する

②〔システム〕をダブルクリックする

③〔デバイスマネージャ〕タブの〔その他のデバイス〕で〔USB Device〕を選択し、プロパティをクリックする

〔不明なデバイス〕と表示される場合があります。

④〔ドライバの再インストール〕をクリックする

⑤〔デバイスドライバの更新ウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックする

⑥〔現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

⑦添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

⑧〔CD-ROM ドライブ〕にチェックを付け、〔次へ〕をクリックする

⑨最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、〔次へ〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

⑩ハードウェアデバイス用の更新されたドライバがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックする

⑪〔USB Printing Supportプロパティ〕で〔閉じる〕をクリックする

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

⑫〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックする

⑬〔使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）〕を選択する

⑭〔検索場所の指定〕にチェックを付け、「F:XLC2000\WIN9XME」と入力し、〔次へ〕をクリックする(CD-ROMドライブがFの場合)

⑮最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、〔次へ〕をクリックする

⑯プリンタ名を確認し、通常のプリンタで〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

⑰〔印字テストを行いますか？〕で〔いいえ〕を選択し、〔完了〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

⑱〔完了〕をクリックする

⑲〔システムのプロパティ〕で〔OK〕をクリックし、〔コントロールパネル〕を閉じる

⑳〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択する

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
これでインストールは完了です。

●Windows Meの場合

①〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕の順に選択する

②〔システム〕をダブルクリックする

③〔デバイスマネージャ〕タブの〔その他のデバイス〕で〔USB Device〕を選択し、プロパティをクリックする

④〔ドライバの再インストール〕をクリックする

⑤ 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをセットする

⑥〔デバイスドライバの更新ウィザード〕が表示されたら、〔適切なドライバを自動的に検索する(推奨)〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。
引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

⑦〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されたら、〔ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

⑧〔使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）〕を選択し、〔リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）〕のチェックを外す

⑨〔検索場所の指定〕にチェックを付け、「F:\XLC2000\WIN9XME」と入力し、〔次へ〕をクリックする

⑩最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、〔次へ〕をクリックする

⑪プリンタ名を確認し、通常のプリンタで〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

⑫〔印字テストを行いますか？〕で〔いいえ〕を選択し、〔完了〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

⑬〔完了〕をクリックする

⑭ハードウェアデバイス用の更新されたドライバがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックする

⑮〔USB Printing Supportプロパティ〕で〔閉じる〕をクリックする

⑯〔システムのプロパティ〕で〔OK〕をクリックし、〔コントロールパネル〕を閉じる

⑰〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択する

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

これでインストールは完了です。

USB接続でインストールする場合 (Windows XP/Windows Server 2003)

ここでは、Windows XP/Windows Server 2003が動作するパソコンを使用し、「プラグアンドプレイ」でセットアップする方法を例に説明します。事前にパソコンとプリンタをプリンタUSBケーブルで接続してください。

参照　「プラグアンドプレイでインストールする」（78ページ）

プラグアンドプレイでインストールする

1 プリンタの電源が入っていないことを確認する

2 Windowsを起動し、管理者権限でログオンしてから、プリンタの電源を入れる

3 〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されたら、〔一覧または特定の場所からインストールする（詳細）〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されない場合は、「●〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されない場合」（80ページ）を参照してください。

4 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

5 〔次の場所で最適のドライバを検索する〕を選択し、〔リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索〕のチェックを外す

6 〔次の場所を含める〕にチェックを付け、「F:\XLC2000\WIN9XME」と入力し、〔次へ〕をクリックする（CD-ROMドライブがF:の場合）

7 〔ハードウェアのインストール〕が表示されたら、〔続行〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

ガイド　〔ディスクの挿入〕が表示されたら、「●ディスクの挿入が表示された場合」（79ページ）へ進んでください。

8 **〔完了〕をクリックする**

9 **〔スタート〕、〔プリンタとFAX〕の順にクリックする**

プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。
これでインストールは完了です。

●ディスクの挿入が表示された場合

インストールの途中で〔ディスクの挿入〕が表示された場合は、次の手順に従ってください。

①〔ディスクの挿入〕が表示されたら、添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをセットし、〔OK〕をクリックする

②〔コピー元〕に「F:\XLC2000\WINXP」と入力し、〔OK〕をクリックする（CD-ROMドライブがF:の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

③〔完了〕をクリックする

④〔スタート〕、〔プリンタとFAX〕の順にクリックする

プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。
これでインストールは完了です。

●〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されない場合

①〔スタート〕-〔マイコンピュータ〕をマウスの右ボタンでクリックし、〔プロパティ〕を選択する

②〔ハードウェア〕タブの〔デバイスマネージャ〕をクリックする

③〔その他のデバイス〕の「FUJITSU XL-C2000」を右クリックして〔削除〕を選択する

④〔デバイスの削除の確認〕で〔OK〕をクリックし、〔デバイスマネージャ〕を閉る

⑤〔システムのプロパティ〕で〔OK〕をクリックする

⑥ Windows を再起動し、〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕から再度インストールする

最新プリンタドライバを入手する

最新版のプリンタドライバは、インターネットの「FMWORLD.NET」からダウンロードすることができます。「FMWORLD.NET」ではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。

下記に示したURLよりプリンタドライバをダウンロードしてください。

FM WORLD URL：http://www.fmworld.net/

ガイド

- 「FMWORLD.NET」をご利用になる際は、Webブラウザおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
- 添付のCD-ROMには、製品出荷時での最新版ドライバが収められており、「FMWORLD.NET」からダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのプリンタドライバのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

プリンタドライバを削除する

バージョンアップによりプリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド

プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。
プリンタドライバは、次の手順に従って削除してください。

お願い

- Windows 2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

参照　「主な印刷機能一覧」の「〔デバイスオプション〕タブ」（182ページ）を参照

1 **〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択する（WindowsXP/Windows Server 2003の場合には、〔スタート〕-〔コントロールパネル〕-〔プリンタとその他のハードウェア〕-〔プリンタとFAX〕をクリックする）**

2 **〔FUJITSU XL-C2000〕を右クリックし、〔削除〕を選択する**

3 **以降、画面の指示に従って操作する**

ガイド　Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合は、手順4へ進んでください。

4 **「プリンタ」フォルダ（Windows XP/Windows Server 2003では〔プリンタとFAX〕フォルダ）の〔ファイル〕-〔サーバーのプロパティ〕を選択する**

5 **〔ドライバ〕タブで削除する機種名を選択し、〔削除〕をクリックする**

新しいプリンタドライバに置き換える

お願い
- **必ず古いプリンタドライバを削除してから、この作業を行ってください。**
- **Windows 2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。**
- **Windowsが起動されている場合は再起動してください。**

1 **パソコンとプリンタを接続し、プリンタの電源を入れる**

電源スイッチが〔|〕側に倒れていることを確認します。

2 **〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕を選択します。（Windows XP/Windows Server 2003では、〔スタート〕-〔コントロールパネル〕-〔プリンタとその他のハードウェア〕-〔プリンタとFAX〕をクリックします。）**

3 **〔FUJITSU　XL-C2000〕アイコンを右クリックし、〔プロパティ〕を選択する**

4 **〔全般〕タブの〔印字テスト〕をクリックする（Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合、〔全般〕タブの〔テストページの印刷〕をクリックする）**

5 **確認画面が表示されたら、〔OK〕をクリックする**

テストページが印刷されます。

6 **プリンタの電源を切る**

電源スイッチが〔○〕側に倒れていることを確認します。

7 **〔FUJITSU XL-C2000〕アイコンを右クリックし、〔削除〕を選択する**

8 **以降、画面の指示に従って操作する**

ガイド　Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合、次の操作を行ってください。
〔プリンタ〕フォルダ（Windows XP/Windows Server 2003では〔プリンタとFAX〕フォルダ）の〔ファイル〕-〔サーバーのプロパティ〕を選択します。次に〔ドライバ〕タブで該当する機種名を選択し、〔削除〕をクリックします。

9 **Windowsを再起動する**

ガイド　このとき、プリンタの電源が切れていることを確認、Windowsを再起動してください。

10 **新しいプリンタドライバをインストールする**

参照　「プリンタドライバをインストールする」（62ページ）を参照

ガイド　Windows XP/Windows Server 2003では、「プリンタのインストール」でインストールしてください。

第6章
ネットワーク環境での使用

この章では、ネットワーク環境で使用できるサービスの案内とオンラインマニュアルの目次を紹介します。

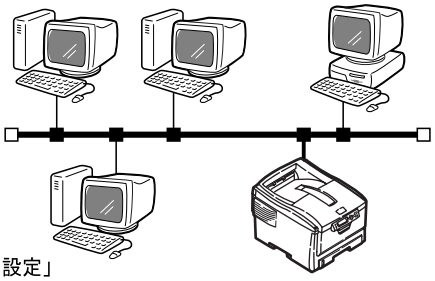
ネットワーク環境で使用する..... 86
XL-C2000 オンラインマニュアルの目次.....87

ネットワーク環境で使用する

本プリンタをネットワークにつなげると、次のような機能を利用できます。ネットワーク環境でご使用になる場合の詳細は、プリンタソフトウェアCD-ROMに収録された『XL-C2000 オンラインマニュアル』（OnlineManual.pdf）を参照してください。

プリンタを複数のパソコンで共有できます。

参照　『XL-C2000オンラインマニュアル』「第１章 ネットワークプリンタの設定」を参照

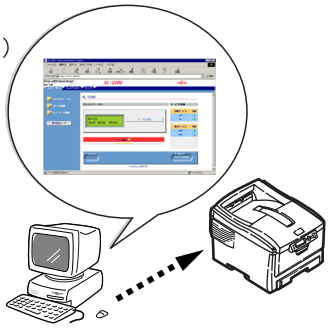


ネットワークを経由してプリンタドライバをインストールすることができます。

参照　XL-C2000オンラインマニュアル「第4章 サーバを経由したネットワーク印刷の設定」を参照

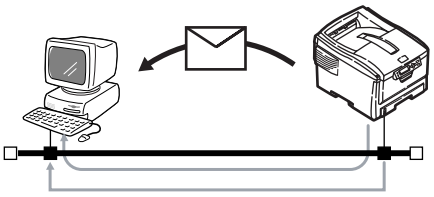
Printia LASER Internet Services（インターネットサービス）を利用するとプリンタの状態や、印刷の進み具合などを確認したり、設定を変更したりできます。

参照　『XL-C2000オンラインマニュアル』「第5章 Webサーバ機能（Color Printia LASER Internet Service）」を参照



エラーやワーニングに関する情報は、プリンタからシステム管理者宛に電子メールで通知されます。

参照　『XL-C2000オンラインマニュアル』「第5章 Webサーバ機能（Color Printia LASER Internet Service）」を参照



XL-C2000 オンラインマニュアルの目次

はじめに
本文中の略語について
本書の構成
本書の表記
ネットワーク接続の設定手順の概要
第１章 ネットワークプリンタの設定
　使用できる環境
　ネットワークに接続する
　IPアドレスを設定する
　アドレス以外を設定する
第２章 プリンタドライバのインストール
　ローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する
第３章 IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定
　ネットワーク環境で使用する
　プリンタ側の設定を行う
　パソコン側の設定を行う
第４章 サーバを経由したネットワーク印刷の設定
　Windows 95/98/Meのとき
　Windows NT4.0のとき
　Windows 2000/XP/Windows Server 2003のとき
第５章 Webサーバ機能(Color Printia LASER Internet Service)
　Color Printia LASER Internet Serviceの概要
　Color Printia LASER Internet Serviceを利用する
第６章 カラーデータ印刷時の色の設定
　カラー調整ユーティリティについて
　色見本印刷ユーティリティについて
第７章 こんなときには
　プリンタ設置時のトラブル
　プリンタ使用時のトラブル
　Color Printia LASER Internet Service使用時のトラブル
　カラーデータ印刷時のトラブル
　ネットワーク用語の解説

運　用　編

第7章
用紙について

本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかた、および用紙のセットのしかたについて説明します。

使用できる用紙 92
- 使用できる用紙サイズ 93
- 使用できる用紙種類 94
- 使用できない用紙 99
- 両面印刷で使用できない用紙 100
- 用紙保管上のご注意 100

用紙をセットする 101
- 給紙カセットに用紙をセットする 101
- マルチパーパス（手差し）トレイに用紙をセットする 104

用紙の排出面を切り替える 108
- 印刷面を上にして用紙を排出する 108
- 印刷面を下にして用紙を排出する 109

使用できる用紙

本プリンタでは、普通紙をはじめ、さまざまな用紙を使用することができます。しかし、一般に市販されている用紙の中には、本プリンタに適さないものもあります。適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因となることがあります。本プリンタの性能を効果的に活用するために、サプライ用紙を使用することをお勧めします。

参照　「サプライ品について」（１１３ページ）を参照

なお、サプライ用紙以外を使用するときは、本プリンタの規格に合った一般の用紙（「使用できる用紙サイズ」（９３ページ）を参照）を使用するか、購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」（２５２ページ）にお問い合わせください。

お願い

- **用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないかどうか確認することをお勧めします。**
- **お買い求めになる用紙のメートル坪量が、本プリンタの規格内（93 ページ）であるかどうか、用紙の購入元に確認することをお勧めします。**
- **規格にギリギリの用紙を使用すると、紙づまり等の原因となることがあります。ご注意ください。**

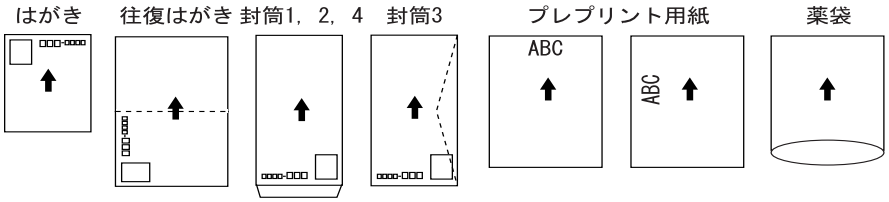
使用できる用紙サイズ

本プリンタは、給紙カセット（標準）、拡張給紙ユニット（オプション品）、マルチパーパストレイ、手差しトレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を取り扱うことができます。次の用紙の使用をお勧めします

◎：片面、両面印刷＊1とも使用できます。
○：片面印刷のみ使用できます。
△：片面印刷のみ、一部のサイズで使用できます。
×：使用できません。

種類	厚さ 坪量（連量）	サイズ*3	給紙方法			排出方法	
			用紙カセット*2		マルチパーパストレイ（手差し*2）	フェイスアップ（表排出）	フェイスダウン（裏排出）
			トレイ1（標準カセット）	トレイ2*1（拡張給紙ユニット）			
普通紙*4	64～74g/m² (55～64kg)	A4, A5, B5, レター リーガル	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		ユーザ定義(カスタム)*5	×	×	○	○	△*6
厚い紙	75～104g/m² (65～90kg)	A4, A5, B5, レター リーガル	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		ユーザ定義(カスタム)*5	×	×	○	○	△*6
より厚い紙	105～120g/m² (91～103kg)	A4, A5, B5, レター リーガル	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		ユーザ定義(カスタム)*5	×	×	○	○	△*6
ごく厚い紙*8	121～200g/m² (104～172kg)	A4, A5, B5, レター リーガル	×	○*7	○	○	×
		A6	×	×	○	○	×
		ユーザ定義(カスタム)*5	×	×	○	○	×
		はがき, 往復はがき*8	×	×	○	○	×
封筒*4*8	−	封筒1(長形3号) 封筒2(長形4号) 封筒3(洋形4号) 封筒4*9	×	×	○	○	×
ラベル紙1*8	0.1～0.16mm	A4, レター	×	×	○	○	×
ラベル紙2*8	0.17～0.2mm	A4, レター	×	×	○	○	×
OHPフィルム*8	−	A4, レター	×	×	○	○	×
長尺紙	106～200g/m² (91～172kg)	ユーザ定義(カスタム)*5	×	×	○	○	×
薬袋*10	64～200g/m² (55～172kg)	A4, A5, B5	○	○*11	○	○	○

*1　：トレイ２、両面印刷はオプションです。
*2　：上から順にトレイ１、トレイ２となります。
*3　：すべての用紙は縦送りです。
用紙のセット方向



封筒/薬袋に縦長で印刷する場合、プリンタドライバの〔印刷オプション〕タブで〔印刷の向き〕を縦に１８０°回転してください。

参照　「〔印刷オプション〕タブ」（１７４ページ）を参照

*4　：高温多湿により波打ちが発生した用紙は使用しないでください。（用紙にシワが発生することがあります。）
*5　：ユーザ定義サイズは、オペレータパネル上の表示や設定内容一覧では「カスタム」と表示されます。カスタムは幅６４～２１５.９mm、長さ１４８～１２００mmです。ただし、長さが３５６mm以上の場合は幅２１０～２１５.９mmとなります。
*6　：幅１００～２１５.９mm、長さ１４８～３５５.６mmです。
*7　：トレイ２で実際に扱える「ごく厚い紙」の厚さは、１２１～１７５g/㎡（１０４～１５０kg）です。
*8　：はがき、封筒、ラベル紙、OHPフィルム、ごく厚い紙を設定すると印刷速度が遅くなります。
*9　：封筒４はA４サイズです。
*10：封筒1,2,4と同じ向きにセットしてください。
*11：薬袋をトレイ２より給紙する場合は、坪量６４～１７５g/㎡（５５～１５０kg）のものを使用してください。

ガイド
- マルチパーパストレイはプリンタのオペレータパネルや設定内容の印刷では「MPトレイ」と表示されます。
- OHPフィルムとラベル紙は、マルチパーパストレイで使用できます。
- 用紙幅で１５０mm（A５幅も含む）以下を設定すると、印刷速度が遅くなります。

使用できる用紙種類

本製品で使用できる用紙の種類を説明します。用紙の厚さ（重量）は、「使用できる用紙サイズ」（９３ページ）を参照してください。

普通紙

本プリンタでは、PPC用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本プリンタに適さないものもありますので、できるだけサプライ品をご使用ください。サプライ品の詳細は、「サプライ品について」（１１３ページ）を参照してください。

用紙の重量は、６４～１２０g/m^2のものをお使いください。

お願い

- A5 より小さい用紙は、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上にして用紙を排出する」（108 ページ）を参照）

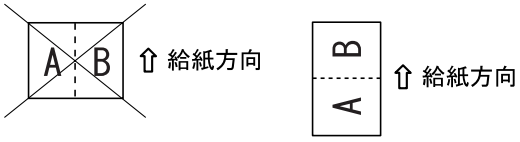
はがき

官製はがきをご使用ください。
往復はがきの場合は、官製の往復はがきで折り目のないものをご使用ください。

お願い

- マルチパーパストレイにセットし、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上にして用紙を排出する」（108 ページ）を参照）
- 用紙サイズの設定は「はがき」「往復はがき」のいずれかでお使いください。他の用紙サイズを設定すると、印刷品位が著しく低下することがあります。
- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- はがきは反りがないものをご使用ください。2㎜以上の反りがあるときは、反りを修正してからセットしてください。
- 切手の貼ってあるはがきは、使用できません。
- 往復はがきをご使用のときは、給紙方向に注意してください。
- 両面に印刷する場合は、片面ずつ印刷してください。（文書面、宛名面の順に印刷してください。）
- はがきによっては、裏面に「バリ」が大きいものがあります。はがきを水平なところに置き、定規などで「バリ」を取り除いてください。また、紙粉をよく払ってからセットしてください。
- インクジェット用官製はがきは特殊コーティングが施されており、使用しないでください。

＜往復はがき＞



封筒

クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、またはPPC 用紙で作られた封筒をご使用ください。また、封筒１ ～ ４ は坪量８５g/m^2 の紙を使用した封筒をご使用ください。

お願い

- **マルチパーパストレイにセットし、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上にして用紙を排出する」（108ページ）を参照）**
- **用紙サイズの設定は「封筒1～4」のいずれかでお使いください。他の用紙サイズを設定すると、印刷品位が著しく低下することがあります。**
- **印刷後は反りが発生することがあります。**
- **用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。**
- **封筒は反りがないものをご使用ください。2㎜以上の反りがあるときは、反りを修正してからセットしてください。**
- **封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）の周り約5㎜は印刷品位が低下することがあります。**
- **切手の貼ってある封筒は、使用できません。**
- **次のような封筒は使用できません。**
  プラスチック製 / 内袋のある二重封筒 / とめ金、ボタン窓付き / フラップ部に粘着剤、両面テープがついている
- **用紙によっては、しわが発生することがあります。推奨紙での印刷をお勧めします。**
- **必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。**

OHPフィルム

指定以外のOHPフィルムは使用しないでください。

参照　「サプライ品について」（１１３ページ）を参照

お願い

- **マルチパーパストレイにセットし、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上にして用紙を排出する」（108ページ）を参照）**
- **用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。**

ラベル紙

厚さ0.1～0.2mmのレーザプリンタ用ラベル紙で、紙質は普通紙と同等のものをご使用ください。

お願い

・マルチパーパストレイにセットし、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上にして用紙を排出する」（108ページ）を参照）

プレプリント紙、カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクが耐熱性で、210℃でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものをご使用ください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器や感光ドラムやローラなどに付着し、印字品質の低下、ジャム、装置破損の原因となります。

お願い

・金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
・印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
  ・位置精度　　A4サイズで±2mm程度
  ・用紙の傾き　100mm当たり±1mm程度
  ・画像の伸縮　100mm当たり±1mm程度

厚紙（ごく厚い紙）

坪量121～200g/m^{2}の用紙をご使用ください。

お願い

・マルチパーパストレイまたは拡張給紙ユニット（オプション）にセットし、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上にして用紙を排出する」（108ページ）を参照）
・用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。

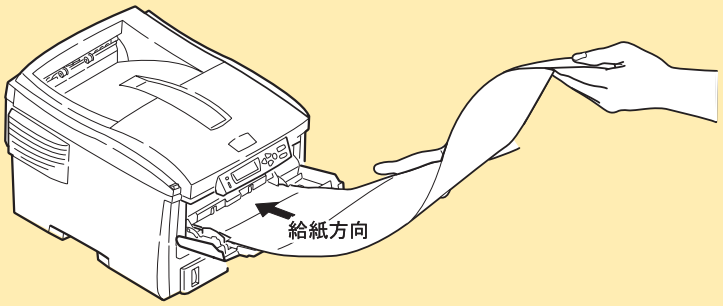
長尺紙

縦や横に長いデータ（1200mm の長さまで）を印刷することができます。
用紙サイズは、幅210～215.9mm、長さ356～1200mm（用紙厚が坪量106～200g/m²）の用紙が使用可能ですが、できるだけサプライ品をご使用ください。サプライ品以外を使用した場合は、シワ、印刷ずれ、および汚れが発生することがあります。

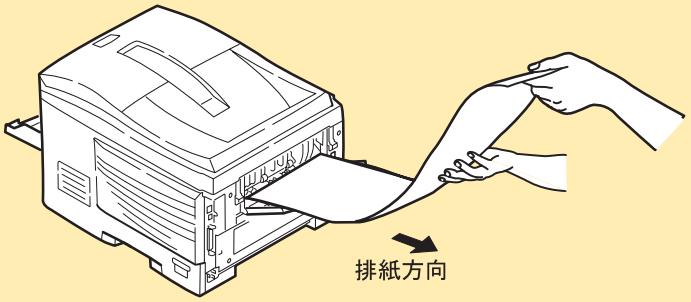
参照　「サプライ品について」（113ページ）を参照

お願い

- **幅が210㎜未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。プリンタが故障するおそれがあります。**
- **アプリケーションソフトによっては長尺紙に印刷できない場合があります。**
- **フェイスアップスタッカに排紙してください。（「各部の名称と機能」（7ページ）を参照）**
- **パソコン側で印刷を実行する操作と、プリンタ側の給紙はタイミングをとってください。**
- **長尺紙は、1 枚ずつセットしてください。**
- **長尺紙をセットするときは、次の図のように手で支えてください。**



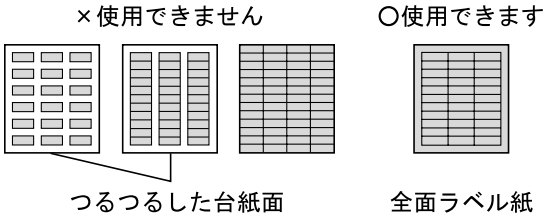
- **印刷が始まったら、長尺紙に無理な力を加えないでください。紙づまりの原因になります。また、排紙口から出てくる長尺紙は次の図のように手で支えてください。**



使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

- 厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- 湿っている用紙や、濡れている用紙
- 一度印刷された用紙
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
- 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙
- 静電気で密着している用紙
- 長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- 表面を加工、または特殊なコーティングをした用紙（感熱紙、カーボン紙など）
- オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、２１０℃以上の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- ２１０℃以下の熱で溶けたり、変質する用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙
- 台紙全体がラベルで覆われていない、または用紙端までカットラインのあるラベル用紙
- 横目の用紙
- 熱転写プリンタ用紙 / インクジェット用紙 / 湿式ＰＰＣ用紙 / 複写紙、和紙など



両面印刷で使用できない用紙

オプションの画面ユニットを取り付けた場合でも、次の用紙には両面印刷できません。

官製はがき、往復はがき、封筒、A６用紙、厚紙（より厚い紙（１０５～１２０g/㎡）、ごく厚い紙（１２１～２００g/㎡））、OHPフィルム、ラベル紙、ユーザ定義用紙、長尺紙、薬袋

用紙保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態で保管してください。

用紙は次のような場所に保管してください。

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度２０℃、湿度５０％RHに近い環境

次のような場所は避けてください。

- 床の上に直接置く
- 直射日光の当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や、曲がりのある場所
- 静電気が発生するところ
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

用紙を長期間保管するときは、次の配慮をしてください。

- 開封後の残りの用紙は、吸湿、乾燥を防止し、ほこりが付かないように包装してあった紙に包む。
- 長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセット等から用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む。

ガイド　長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

用紙をセットする

給紙カセットやマルチパーパストレイに用紙がなくなったときや、印刷したい用紙がセットされていないときは、次の手順にしたがって、用紙をセットしてください。

参照　「使用できる用紙種類」（94ページ）を参照
「使用できない用紙」（99ページ）を参照

お願い

インクジェット用官製はがきは、特殊なコーティングが施されているため、本プリンタでは使用しないでください。

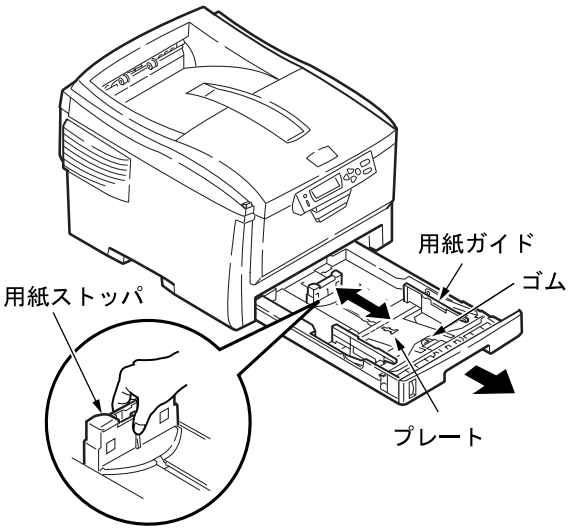
給紙カセットに用紙をセットする

標準の給紙カセット、またはオプションの拡張給紙ユニットへの用紙のセット方法は同じです。
A6サイズの用紙に印刷する場合は、標準の給紙カセット、またはマルチパーパストレイから印刷してください。

お願い

- **用紙は、印刷する面（両面印刷時は表面）を下にしてセットしてください。**
- **用紙ガイドは、用紙との間に隙間ができないようにセットしてください。**
- **用紙が曲がるほど、用紙ガイドを強く押しつけないでください。**
- **指定した量を越えて用紙をセットしないでください。**
- **厚紙やOHPフィルム、ラベル紙などの特殊紙は給紙カセットからの印刷はできません。**
- **給紙カセットを差し込むときは、勢いよく押さないでください。**
- **印刷中は、給紙カセットを引き出さないでください。**
- **給紙カセットの用紙は、完全になくなってから補充してください。このとき用紙をつぎ足して補充すると、複数の用紙が同時に給紙され、紙づまりが発生する場合があります。**
- **A5より小さい用紙の場合は、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上にして用紙を排出する」（108ページ）を参照）**
- **プレプリント用紙に印刷する場合は、用紙上端を給紙カセットの手前側に向けてください。**

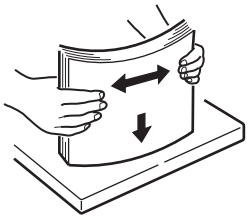
次の手順にしたがって、給紙カセットへ用紙をセットしてください。ここでは標準の給紙カセットへのセット方法を例に説明します。



1 給紙カセットを引き出す

プレートについているゴムは、はがさないでください。

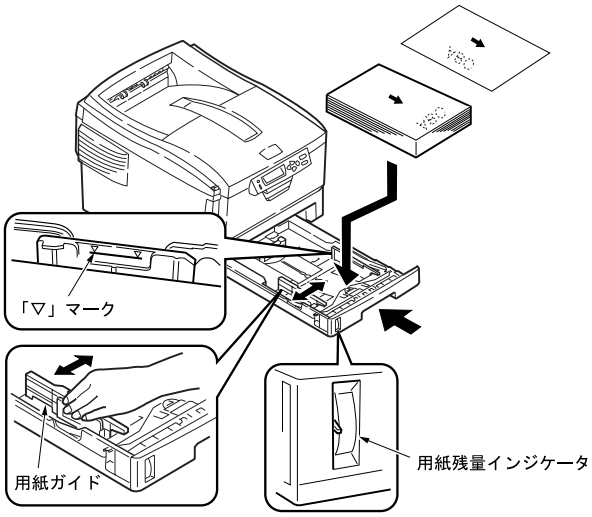
2 用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、固定する



3 用紙の上下左右をそろえる

4 印刷面を下に向けて用紙をセットする

用紙は給紙カセットの手前に寄せて置き、用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。



5 用紙ガイドで用紙を固定する

6 給紙カセットをプリンタに戻す

マルチパーパス（手差し）トレイに用紙をセットする

はがき、封筒、OHPフィルムなどは、マルチパーパストレイから印刷してください。複数枚の用紙を自動給紙できます。

ガイド

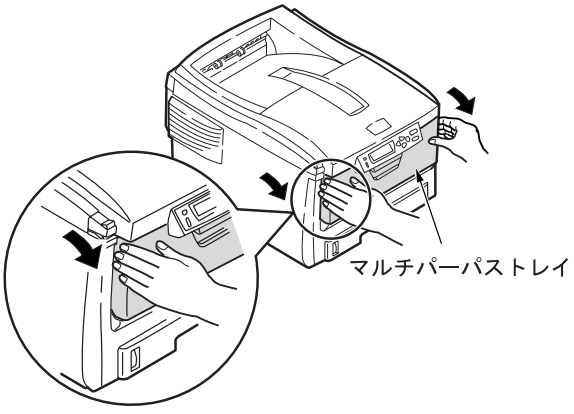
マルチパーパストレイから複数の用紙を連続して給紙する場合は、プリンタドライバの〔給紙オプション〕ダイアログを表示し、〔マルチパーパストレイ設定〕の〔手差しとして扱う〕のチェックをはずしてください。

参照　「〔給紙オプション〕ダイアログボックス」（169ページ）を参照

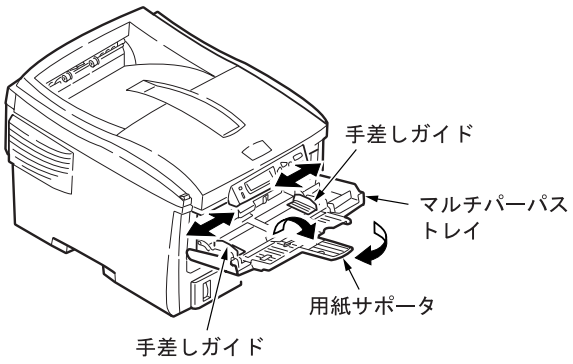
お願い

- **用紙は、印刷する面を上にしてセットしてください。**
- **用紙ガイドは、用紙との間に隙間ができないようにセットしてください。**
- **用紙が曲がるほど用紙ガイドを強く押しつけないでください。**
- **用紙はまっすぐにセットしてください。**
- **マルチパーパストレイの上には、印刷する用紙以外のものを置かないでください。**
- **マルチパーパストレイを上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。**
- **厚紙（用紙種類：より厚い紙、ごく厚い紙）、OHPフィルム、ラベル紙、はがき等の特殊紙やA5より小さい用紙に印刷するときは、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上にして用紙を排出する」（108ページ）を参照）**
- **はがき、封筒、OHPフィルム、薬袋等の用紙は両面ユニットを使用した自動の両面印刷はできません。詳細は、「使用できる用紙サイズ」（93ページ）を参照してください。**

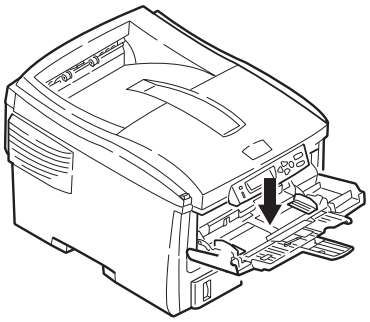
次の手順にしたがって、マルチパーパストレイへ用紙をセットしてください。



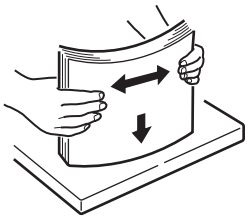
1　マルチパーパストレイを手前に開き、次に用紙サポータを開く



2 手差しガイドを用紙サイズに合わせる



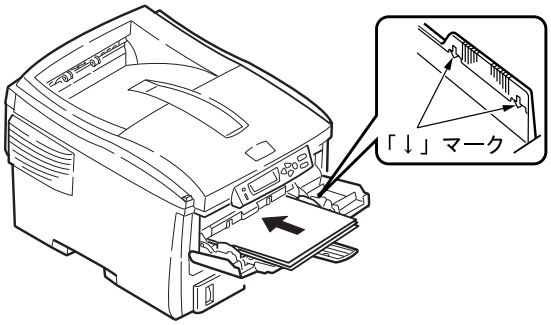
3 トレイ（底板）が上がっている場合は、トレイを押し下げる



4 用紙の上下左右をそろえる

お願い

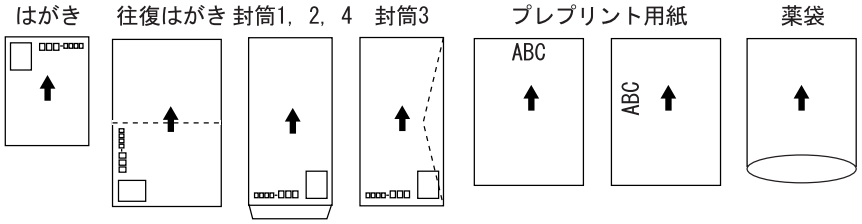
普通紙は端面をそろえてそのままセットしてください。また、はがきなどの特殊用紙の場合は、端面がくっついている場合があります。用紙をよくさばき、端面をそろえてからセットしてください。

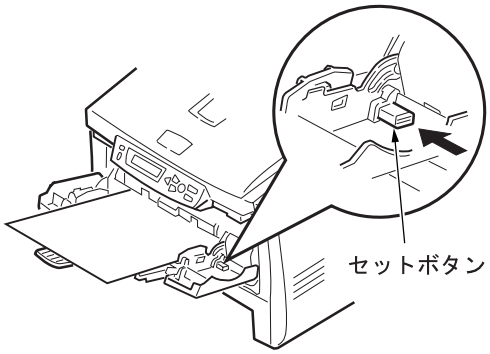


5 印刷面を上に向けて用紙をセットする

用紙を手差しガイドにそってまっすぐ突き当たるまで差し込む

用紙のセット方向

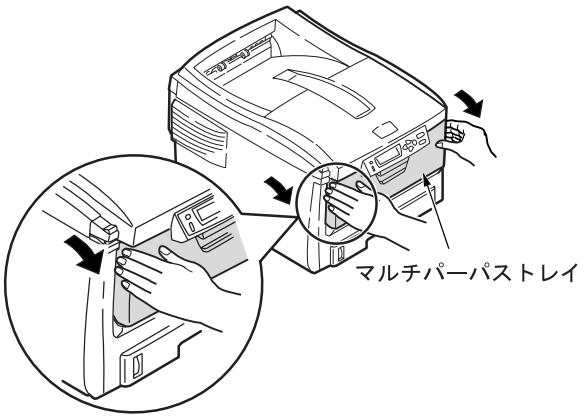




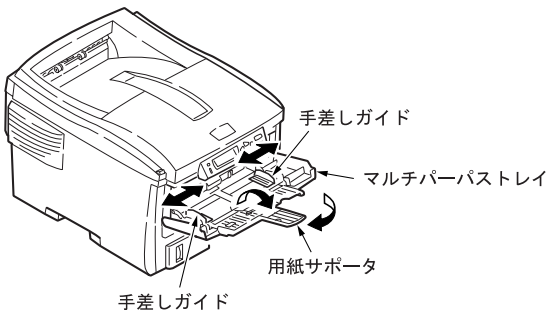
6 セットボタンを押す

手差しで印刷する

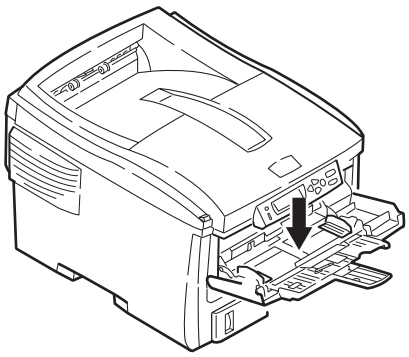
マルチパーパストレイに用紙をセットし、１枚ずつ手差し印刷を行います。アプリケーションで印刷を実行後、プリンタに用紙をセットし、〔オンライン〕スイッチを押して印刷します。



1 マルチパーパストレイを手前に開き、次に用紙サポータを開く



2 手差しガイドを用紙サイズに合わせる



3 トレイ（底板）が上がっている場合は、トレイを押し下げる

4 用紙の排出先をセットする

参照　「用紙の排出面を切り替える」（１０８ページ）を参照

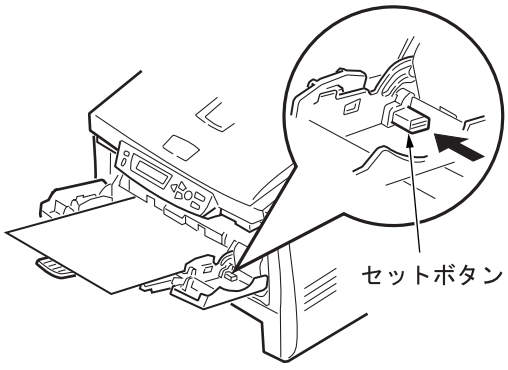
5 アプリケーションを起動し、印刷したいファイルを開く

プリンタドライバの〔給紙オプション〕ダイアログの〔手差しとして扱う〕をチェックします。

6 プリンタドライバで〔用紙サイズ〕、〔給紙方法〕を選択する

〔設定〕タブの〔給紙方法〕で〔マルチパーパストレイ〕を選択します。

参照　「印刷機能の設定について」（１６３ページ）を参照



7 用紙をセットし、セットボタンを押す

プリンタのオペレータパネルに「A４ヲ　MPトレイニ　セットシテ／オンライン　ヲ　オシテクダサイ」と表示されたら、用紙をマルチパーパストレイにセットし、セットボタンを押します。

8 オペレータパネルで〔オンライン〕スイッチを押す

印刷が開始されます。

用紙の排出面を切り替える

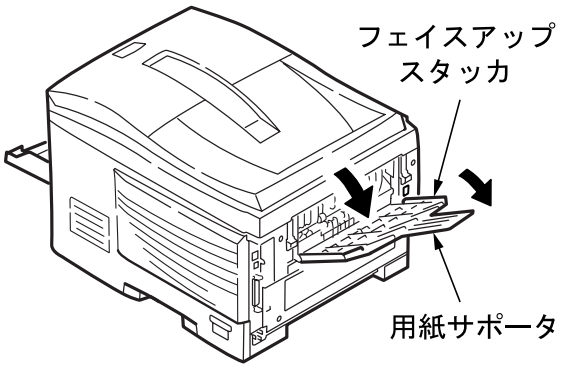
用紙の排出面を切り替える方法について説明します。

印刷面を上にして用紙を排出する

OHPフィルムやラベル紙、長尺紙などの特殊紙、厚手の用紙、官製はがきなどに印刷するときは、印刷面を上にして排紙します。用紙が曲がらずにまっすぐなまま排出できます。
印刷された用紙はフェイスアップスタッカに排出され、印刷した順序と逆に重ねられます。

お願い

薄手の用紙や普通紙でもA5より小さいものは、フェイスアップスタッカに排出してください。紙づまりを予防できます。



1　プリンタ背面のフェイスアップスタッカを開き、次に用紙サポータを開く

お願い

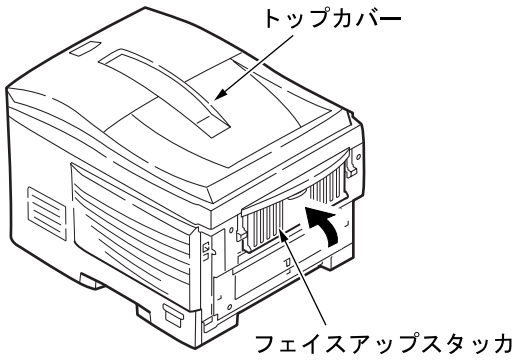
印刷中にフェイスアップスタッカを押し込んだり、引き出したりしないでください。紙づまりの原因になります。

印刷面を下にして用紙を排出する

普通紙への印刷時は、印刷面を下にして排出します。印刷された用紙はトップカバーに排出され、印刷した順に重ねられます。

お願い

厚紙（用紙種類：より厚い紙、ごく厚い紙）、OHPフィルム、ラベル紙、はがき等の特殊紙やA5より小さい用紙に印刷するときは、印刷面を下に向けて排出しないでください。紙づまりの原因になります。



1　プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認する

お願い

- **印刷中にフェイスアップスタッカを引き出したり、押し込んだりしないでください。紙づまりの原因になります。**
- **印刷面を下に向けて排紙するときは、必ずフェイスアップスタッカを押し込んでください。**

第8章
日常のメンテナンス

この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

用紙を補給する 112
　用紙を補給する 112
　印刷を再開する 112
サプライ品について 113
トナーカートリッジを交換する 116
ドラムカートリッジを交換する 122
設定内容の一覧を印刷する 126
　設定内容を印刷する 126
パソコン上でプリンタの状態を確認する 128
画質を調整する 129
　色ズレを調整する 129
　濃度を補正する 130
電源を入れる / 切る 131
　電源を入れる 131
　電源を切る 133
プリンタを清掃する 134
　プリンタ外部を清掃する 134
　プリンタ内部を清掃する 136
　給紙ローラとパッドを清掃する 137
長期間プリンタを使用しない 139
プリンタを移送する 140

用紙を補給する

選択されている給紙口に用紙がなくなると、プリンタはオフライン状態となり、なくなった用紙サイズと用紙のなくなったトレイに関するメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。該当する用紙を補給してください。

用紙を補給する

用紙がない旨のメッセージは、次の状態のときに表示されます。

- 給紙カセットがセットされていない
- 給紙カセット、またはマルチパーパストレイに用紙がない

標準の給紙カセットは「トレイ１」、オプションの拡張給紙ユニットは「トレイ２」、マルチパーパストレイは「MP トレイ」と表示されます。

給紙カセットの場合

給紙カセットがセットされていなければ、給紙カセットをセットします。

給紙カセットの用紙がなければ、給紙カセットを取り出して用紙を補給し、セットします。

参照　「給紙カセットに用紙をセットする」（101 ページ）を参照

マルチパーパス（手差し）トレイの場合

マルチパーパストレイに用紙を複数枚まとめてセットするか、または一枚ずつセットしてください。

参照　「マルチパーパス（手差し）トレイに用紙をセットする」（104 ページ）を参照

印刷を再開する

用紙の補給が完了すると、プリンタはオンライン状態になります。プリンタ内に未印刷データがあり、印刷がキャンセルされていない場合は、自動的に印刷を再開します。

サプライ品について

サプライ品の商品番号を以下に示します。

これらの品物については、本プリンタのご購入元[*1]または各サプライ品の販売元へご相談ください。

PPC用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

商　品　名	商品番号	備　考
オフィス用紙W　A4	0411610	500枚×5冊で1ケース　普通紙
オフィス用紙W　A5	0411630	
オフィス用紙W　B5	0411640	
オフィス用紙W　レター	0411660	
EC100　A4	0414315	500枚×5冊で1ケース　再生紙
EC100　B5	0414345	500枚×5冊で1ケース　再生紙
OHPフィルム[*2]	CG3720	100枚×1冊
薬袋[*3.] A4	NYC0005A4	500枚×1箱
薬袋[*3.] B5	NYC0005B5	500枚×1箱
薬袋[*3.] A5	NYC0005A5	500枚×1箱
長尺用紙（しらおい　120g/m^2）[*4]	受注生産	210mm×1200mm推奨
OAラベルII	0412270	100枚×1冊
カラーレーザー用ラベル（12面付）[*5]	TA-LPCL2	100枚×1冊
トナーカートリッジCL110（ブラック）	0806110	有効期限は製造年月日より2年以内、開封後は1年です。
トナーカートリッジCL110（イエロー）	0806120	有効期限は製造年月日より2年以内、開封後は1年です。
トナーカートリッジCL110（マゼンタ）	0806130	有効期限は製造年月日より2年以内、開封後は1年です。
トナーカートリッジCL110（シアン）	0806140	有効期限は製造年月日より2年以内、開封後は1年です。
ドラムカートリッジCL110（ブラック）	0806410	有効期限は製造年月日より2年以内､開封後は1年です。トナーカートリッジが1個同梱されます。
ドラムカートリッジCL110（イエロー）	0806420	有効期限は製造年月日より2年以内､開封後は1年です。トナーカートリッジが1個同梱されます。
ドラムカートリッジCL110（マゼンタ）	0806430	有効期限は製造年月日より2年以内､開封後は1年です。トナーカートリッジが1個同梱されます。
ドラムカートリッジCL110（シアン）	0806440	有効期限は製造年月日より2年以内､開封後は1年です。トナーカートリッジが1個同梱されます。
CL110給紙カセット（A4ユニバーサル）-350枚	0606310	A4～A6サイズで350枚 標準の給紙カセットと同一です。
CL110給紙カセット（A4ユニバーサル）-650枚	0806320	A4～B5サイズで650枚 拡張給紙ユニットに添付のカセットと同一です。

*1：商品名に＊が記載されていない商品は、富士通コワーコへご相談ください。
富士通コワーコ
URL:http:www.coworco.fujitsu.com/

*2 から *5 については、下記の問い合わせ先へご相談ください。

*2：住友スリーエム㈱
URL:http://www.mmm.co.jp/
*3：小林記録紙㈱
URL:http://www.kobayashikk.co.jp/
*4：日本製紙㈱
URL:http://www.npaper.co.jp/
*5：サンワサプライ㈱
URL:http://www.sanwa.co.jp/

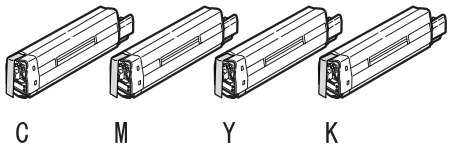
お願い

・他の XL シリーズ用トナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、使用できません。トナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、富士通コワーコ社製の純正品をご使用ください。
リサイクル品や他社製サプライ品を使用した場合、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。
・横目（Y）の用紙を使用した場合、カール量が大きくなるため使用しないでください。詳細は、用紙の購入元にお問い合わせください。

トナーカートリッジおよびドラムカートリッジの交換時期が近づくと、オペレータパネルにメッセージが表示されます。この場合は、該当する品目をすみやかに交換してください。

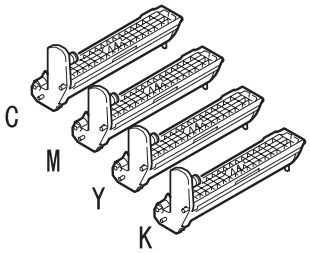
トナーカートリッジ

トナーが残り少なくなると、印刷がかすれたり薄くなったりします。交換時期がきたら、「トナーカートリッジを交換する」（116ページ）を参照して、新しいトナーカートリッジと交換してください。



ドラムカートリッジ

ドラムカートリッジが劣化すると、黒い汚れが生じるなど、印字品質が低下します。交換時期がきたら、「ドラムカートリッジを交換する」（122ページ）を参照して、新しいドラムカートリッジと交換してください。



使用済みカートリッジ（トナー、ドラム）の回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みカートリッジを無償で回収しております。
下記の『エコ受付センター』までご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

：0120-30-0693
平日　8:40～12:00および13:00～17:30
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

トナーカートリッジを交換する

トナーが少なくなるとオペレータパネルに〔＊＊＊＊　トナー　ジュンビ〕（＊は各色を表わし、ＫＹＭＣの順番に表示されます）のメッセージが表示されます。新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると〔＊＊＊＊　トナー　ナシ〕を表示して印刷を停止します。トナーカートリッジを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを取り外して、ドラムカートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、５％の印刷密度の場合（１ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合）、Ａ４サイズの用紙（片面連続印刷時）で約5,000枚です。新しいドラムカートリッジに１本目のトナーカートリッジを取りつけたときには、交換の目安の枚数は通常の約2/3になります。これは、新しいドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、１本目のトナーカートリッジからトナーを充填するためです。

ガイド

製品購入時に添付されているトナーカートリッジの印刷可能枚数は、サプライ品と比較すると少なくなっています。Ａ４サイズに ５％の密度で印刷した場合、約１５００枚印刷できます。

お願い

- **〔＊＊＊＊ トナー ジュンビ〕が表示された場合は、すみやかに新しいトナーカートリッジに交換することをお勧めします。**
- **トナーカートリッジの交換時には、LEDヘッドの清掃を同時に行ってください。LEDヘッド面が汚れていると、印刷時にカスレや白いすじが入ったり、文字がにじんだりします。**
- **LEDヘッドの清掃は、トナーカートリッジに添付されている、LEDレンズクリーナを使って清掃してください。LEDヘッドの清掃方法は、「トナーカートリッジを交換する」の手順13（121 ページ）を参照してください。**

取り扱い上の注意

- トナーを吸い取るために家庭用の掃除機を使用しないでください。静電気によるセンサ破損の原因になります（清掃には保守専用の掃除機が必要となります）。
- トナー交換時以外はドラムカートリッジからトナーカートリッジを取り外さないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、１時間以上室温に慣らしてから使用してください(結露がなければ使用可能です)。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときには、すぐに洗い流してください。
- 弊社が推奨しているトナーカートリッジ以外を使用した場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には弊社が推奨するトナーカートリッジを使用してください。
- 富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みのトナーカートリッジを無償で回収しております。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。なお、回収サービスをご利用にならない場合は、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。
- 装置やカートリッジをゆすった場合に〔＊＊＊＊　トナー　ジュンビ〕が一時的に解除されることがありますが、少量の印刷で再び〔＊＊＊＊ トナー ジュンビ〕表示に戻ります。
  〔＊＊＊＊ トナー ジュンビ〕の表示後は少量の印刷で〔＊＊＊＊ トナー ナシ〕のメッセージが表示されますので、新品トナーに交換してください。（〔＊＊＊ トナー ジュンビ〕が表示されたらトナーカートリッジを交換することをお勧めします。）
- 印刷濃度が薄くなりトナーカートリッジの交換時期となった場合は、必ず液晶ディスプレイの表示状態を確認してください。
  〔＊＊＊＊　トナー ジュンビ〕または〔＊＊＊＊ トナー ナシ〕と表示されている場合は、トナーカートリッジを交換してください。また、〔＊＊＊＊ ドラム コウカン〕と表示されている場合は、ドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを一緒に交換してください。
  〔＊＊＊＊ ドラム コウカン〕表示後にトナーカートリッジだけを交換して使用を継続すると、画質不良や用紙走行ジャム、装置本体の故障の原因となります。

参照　「使用済みカートリッジ（トナー、ドラム）の回収サービス」（１１５ページ）を参照

保管上の注意

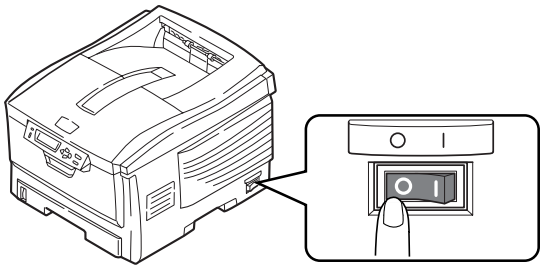
トナーカートリッジを保管するときは、以下の点にご注意ください。

- ご使用になるまで開封しないでください。
- 直射日光をさけ、次の温度、湿度の範囲にある場所で保管してください。

  温度：0～35℃　　湿度：20～85%RH
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所はさけてください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

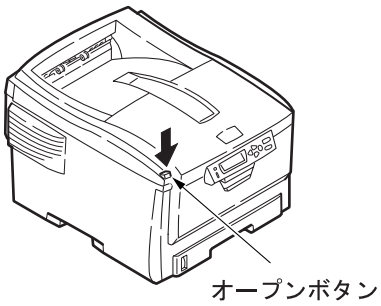
次の手順にしたがって、トナーカートリッジを交換してください。
なお、液晶ディスプレイの１行目に〔ドラム　コウカン〕と表示されている場合は、先にドラムカートリッジを交換してください。

参照　「ドラムカートリッジを交換する」（122ページ）を参照



1 プリンタ本体右側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

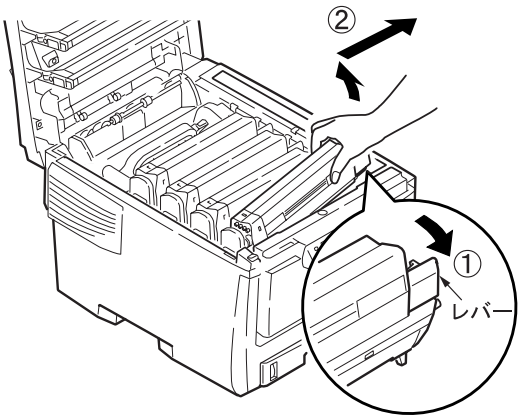
電源が切れます。



2 オープンボタンを押してロックを外し、トップカバーを完全に開く

⚠ 注意

やけど　トップカバーを開けると「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。

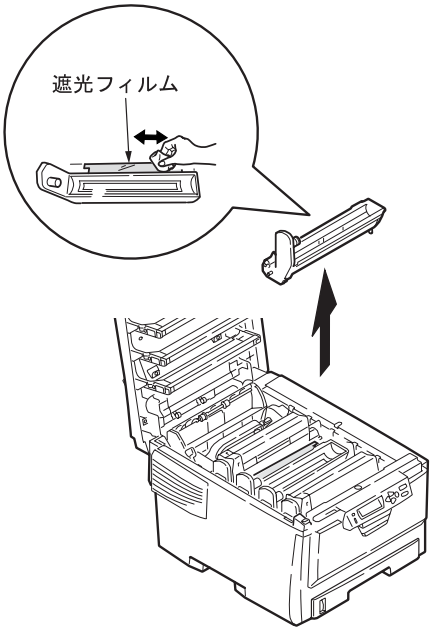


3 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認する

4 交換するトナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回す（①）

5 トナーカートリッジのレバー側をゆっくり持ち上げ、いったん力を緩めてから、横にずらすようにして取り出す（②）

使用済みのカートリッジは、無償で回収しております。
6 で残った包装袋に包んだ状態で『エコ受付センター』（115 ページ）までご連絡ください。回収便にて引き取りにうかがいます。

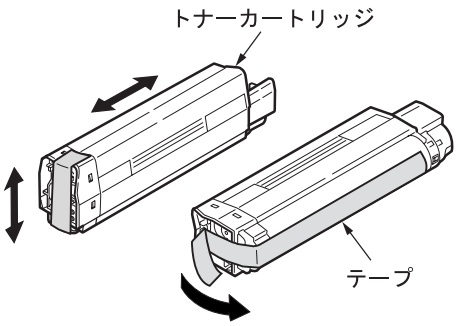


ガイド

- トナーカートリッジのレバーと反対側はドラムカートリッジのポストが差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポストが破損することがあります。
- トナー交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LED レンズにトナーがつく可能性があります。ドラムカートリッジを取り出し遮光フィルムを LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパでそっと拭きとってください。

6 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出す

新しいトナーカートリッジの色を間違えないように注意してください。

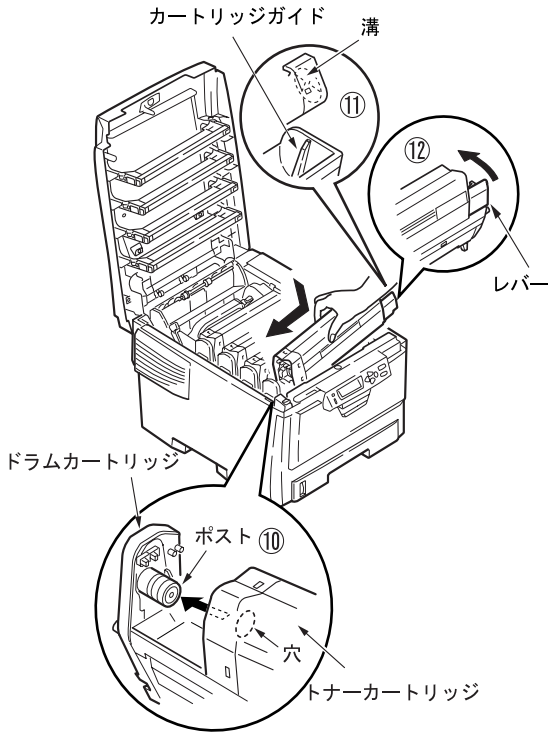


7 トナーカートリッジを縦と横に数回振る

8 トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがす

お願い

外気温の低い所で急いではがすと、テープが途中で切れることがあります。ゆっくりとはがしてください。



9 トナーカートリッジのラベルの色とドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認する

10 テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの左側の穴をドラムカートリッジのポスト(⑩)に差し込む

11 トナーカートリッジの右側の溝(⑪)をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込む

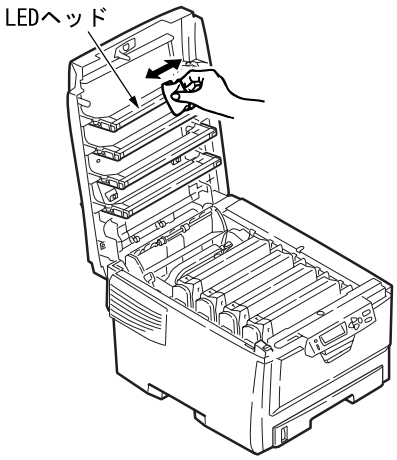
12 トナーカートリッジのレバー(⑫)を矢印の方向に止るまで回す

お願い

トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らない場合は、トナーカートリッジのレバーとドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。
色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。

ガイド

トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

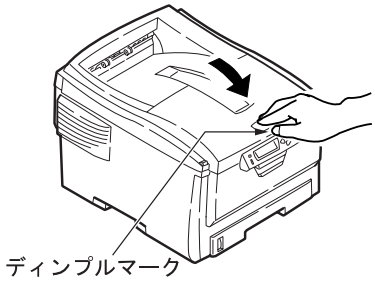


13 LEDヘッドのレンズ面を軽く拭く

交換用トナーカートリッジに添付されている、LEDレンズクリーナ、またはやわらかいティッシュペーパーで、LEDヘッド面全体を軽く拭きます。

お願い

メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。



14 ディンプルマークを押して、トップカバーを閉じる

ガイド

- トナーカートリッジの交換後に、オペレータパネルの〔＊＊＊＊　トナー　コウカン〕（＊はK/Y/M/Cの順番に表示）または〔＊＊＊＊　トナー　ナシ〕の表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
- オペレータパネルに〔nnn：＊＊＊＊　トナーカートリッジナシ〕（nnn：540（Y）/541（M）/542（C）543/（K））が表示された場合、トナーカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。トナーカートリッジが正しくセットされ、トナーカートリッジのレバーが止まるまで回されているか確認してください。

ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジが寿命になるとオペレータパネルに〔＊＊＊＊　ドラム　ジュンビ〕（＊は各色を表わし、左づめでK/Y/M/Cの順番で表示されます）のメッセージが表示されます。トナーがなくなると〔＊＊＊＊　ドラム　コウカン〕を表示して印刷を停止します。
ドラムカートリッジ交換の目安は、A４サイズの用紙（片面印刷時）で約15,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況（一度に３枚ずつ）で印刷した場合の枚数です。１枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。（連続印刷で約22,000枚に相当します。）

お願い

・ドラムカートリッジの交換時には、LEDヘッドの清掃を同時に行ってください。LEDヘッド面が汚れていると、印刷時にカスレや白いすじが入ったり、文字がにじんだりします。
・LEDヘッドは、トナーカートリッジに添付されているLEDレンズクリーナを使って清掃してください。LEDヘッドの清掃方法は、「トナーカートリッジを交換する」の手順13（121 ページ）を参照してください。
・ドラムカートリッジを交換した直後は、印刷がかすれる場合があります。

取り扱い上の注意

ドラムカートリッジを取り扱うときは、以下の点にご注意ください。
・ 直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。
・ 室内の照明の下でも、５分以上放置しないでください。
・ 寒い場所から暖かい場所に移動させたときは、周囲の温度になじむまで（１時間程度）使用しないでください。
・ 感光ドラム（緑色の筒）は傷つきやすいため、触れないでください。

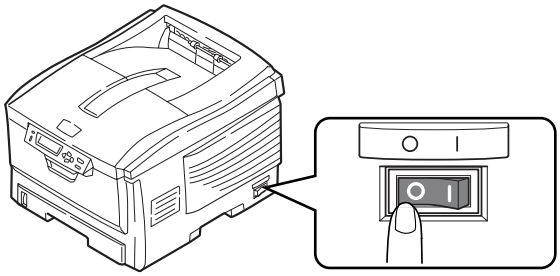
保管上の注意

ドラムカートリッジを保管するときは、以下の点にご注意ください。

- ご使用になるまで開封しないでください。
- 直射日光を避け、次の温度、湿度の範囲にある場所で保管してください。
- また、周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所は避けてください。

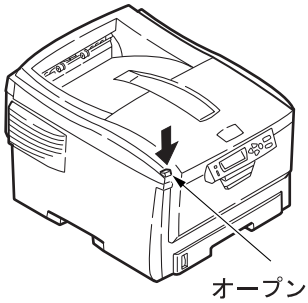
  温度：０～３５℃　湿度：２０～８５％ＲＨ
- アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所、空気中に塩分が多量に含まれている場所は避けてください。
- 立てたり、裏返したりして置かないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

次の手順にしたがって、ドラムカートリッジを交換してください。



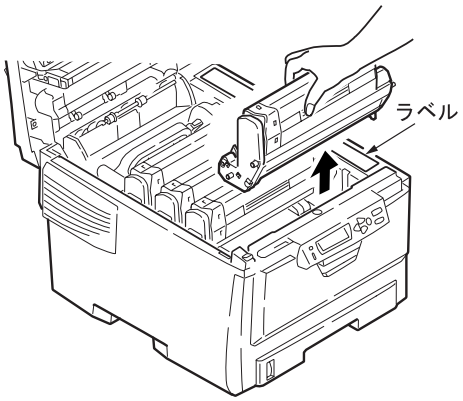
1　プリンタ本体右側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

電源が切れます。



2　オープンボタンを押してロックを外し、トップカバーを完全に開く

⚠ 注意	やけど　トップカバーを開けると「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。



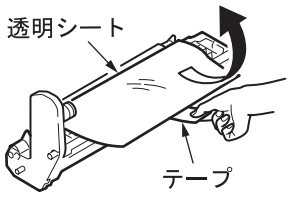
3 交換するドラムカートリッジをラベルの色で確認する

4 交換するドラムカートリッジを取り出す

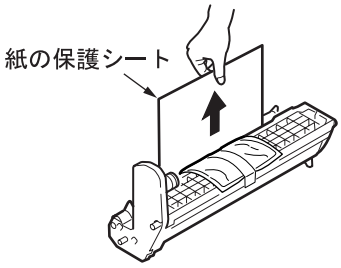
ドラムカートリッジを取り出すと、トナーカートリッジも一緒に取り出されます。
使用済みのカートリッジは、無償で回収しております。
5 で残った包装袋に包んだ状態で『エコ受付センター』（115 ページ）までご連絡ください。回収便にて引き取りにうかがいます。

5 新しいドラムカートリッジを包装袋から取り出し、平らなテーブルの上に置く

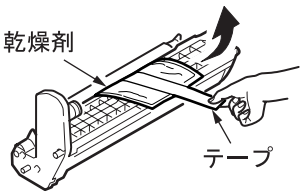
新しいドラムカートリッジの色を間違えないように注意してください。



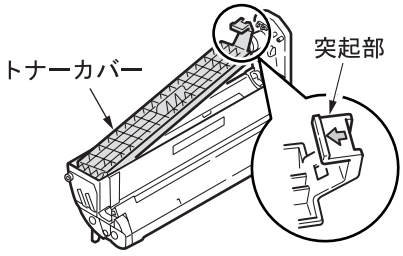
6 透明シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜く



7 ドラムカートリッジから紙の保護シートを矢印方向に引き抜く

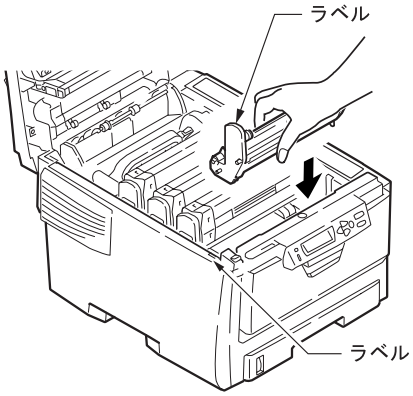


8 テープをはがし、乾燥剤を取り除く



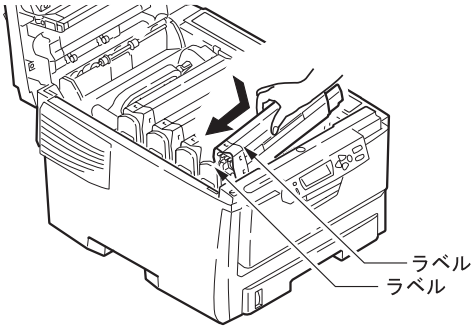
9 突起部を内側に押しながらトナーカバーを取り外す

トナーカバーは不燃物として処理してください。



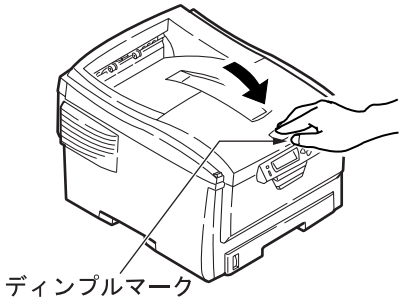
10 ドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色が合っていることを確認する

11 ドラムカートリッジを静かにセットする



12 新しいトナーカートリッジをセットする

詳細は「トナーカートリッジを交換する」（116ページ）を参照してください。



13 ディンプルマークを押して、トップカバーを閉じる

設定内容の一覧を印刷する

オペレータパネルを操作して、設定内容の一覧を印刷できます。
本製品に取り付けられているオプション品の情報や、オペレータパネルで設定した内容（ネットワークの設定に関する情報など）も確認できます。

設定内容を印刷する

プリンタ内部に記憶されている設定内容の一覧表を印刷します。

お願い

設定内容を印刷するときは、必ずA4の用紙を使用してください。A4以外の用紙でメニュー印刷を行うと、すべての設定内容が印刷できないことがあります。

1 **給紙カセットにA4用紙をセットする**

2 **〔オンライン〕スイッチを押し、〔オフライン〕と表示する**

3 **〔メニュー　＋〕スイッチを1回押し、〔インフォメーション　メニュー〕と表示する**

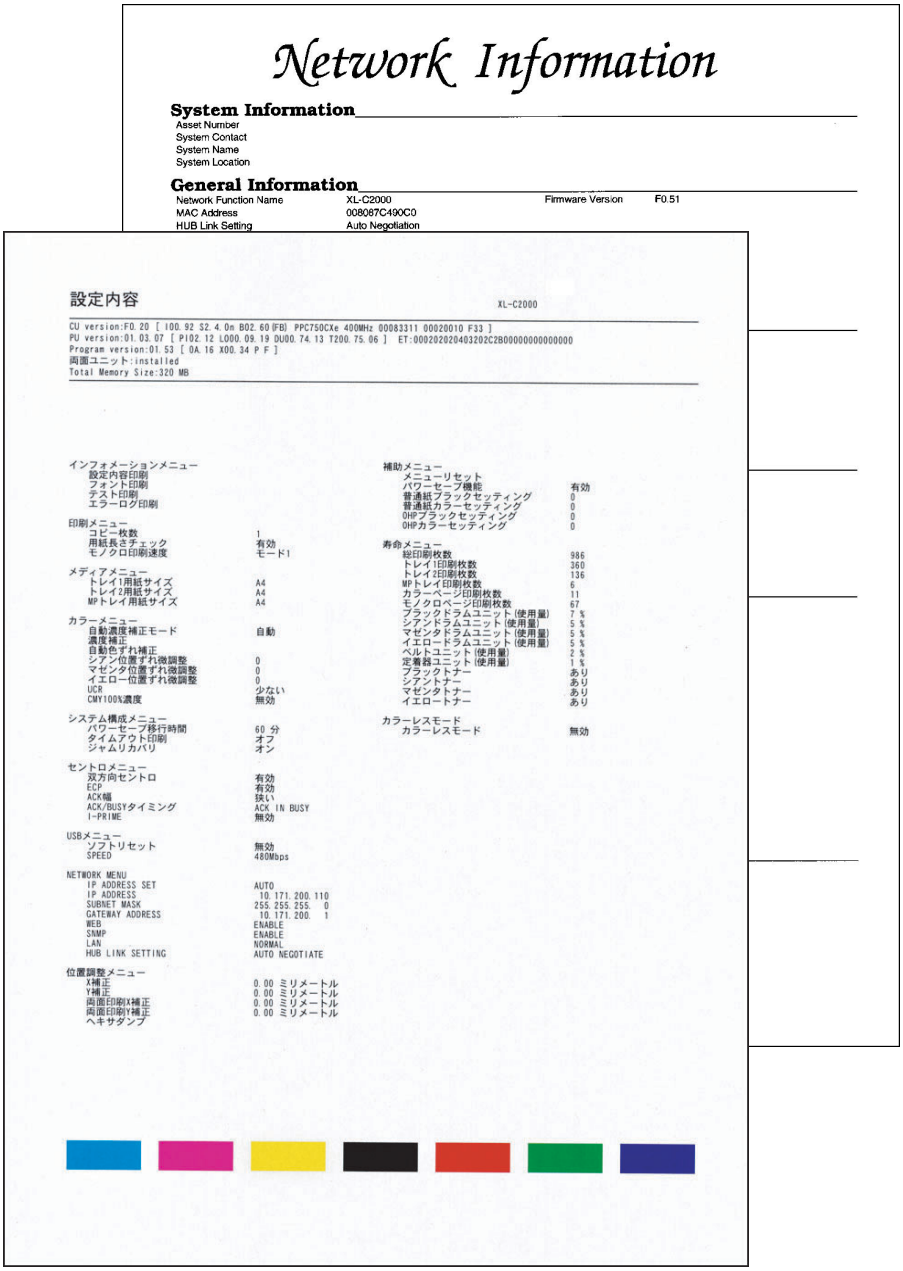
4 **〔設定〕スイッチを1回押し、〔セッテイ　ナイヨウ　インサツ〕と表示する**

5 **〔設定〕スイッチをもう1回押す**

設定内容一覧（2 枚）の印刷が開始されます。

6 **〔オンライン〕スイッチを押し、〔オンライン〕と表示する**

＜設定内容印刷例＞
設定内容の印刷結果は、次のようになります。



Network Information

System Information
Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information
Network Function Name　XL-C2000　Firmware Version　F0.51
MAC Address　008067C490C0
HUB Link Setting　Auto Negotiation

設定内容　XL-C2000

CU version:F0.20 [I00.92 S2.4.0n B02.60(FB) PPC750CXe 400MHz 00083311 00020010 F33]
PU version:01.03.07 [P102.12 L000.09.19 DU00.74.13 T200.75.06] ET:00020202040320202B00000000000000
Program version:01.53 [0A.16 X00.34 P F]
両面ユニット:installed
Total Memory Size:320 MB

インフォメーションメニュー
　設定内容印刷
　フォント印刷
　テスト印刷
　エラーログ印刷

印刷メニュー
　コピー枚数　1
　用紙長さチェック　有効
　モノクロ印刷速度　モード1

メディアメニュー
　トレイ1用紙サイズ　A4
　トレイ2用紙サイズ　A4
　MPトレイ用紙サイズ　A4

カラーメニュー
　自動濃度補正モード　自動
　濃度補正
　自動色ずれ補正
　シアン位置ずれ微調整　0
　マゼンタ位置ずれ微調整　0
　イエロー位置ずれ微調整　0
　UCR　少ない
　CMY100%濃度　無効

システム構成メニュー
　パワーセーブ移行時間　60 分
　タイムアウト印刷　オフ
　シャムリカバリ　オン

セントロメニュー
　双方向セントロ　有効
　ECP　有効
　ACK幅　狭い
　ACK/BUSYタイミング　ACK IN BUSY
　I-PRIME　無効

USBメニュー
　ソフトリセット　無効
　SPEED　480Mbps

NETWORK MENU
　IP ADDRESS SET　AUTO
　IP ADDRESS　10.171.200.110
　SUBNET MASK　255.255.255.　0
　GATEWAY ADDRESS　10.171.200.　1
　WEB　ENABLE
　SNMP　ENABLE
　LAN　NORMAL
　HUB LINK SETTING　AUTO NEGOTIATE

位置調整メニュー
　X補正　0.00 ミリメートル
　Y補正　0.00 ミリメートル
　両面印刷X補正　0.00 ミリメートル
　両面印刷Y補正　0.00 ミリメートル
　ヘキサダンプ

補助メニュー
　メニューリセット
　パワーセーブ機能　有効
　普通紙ブラックセッティング　0
　普通紙カラーセッティング　0
　OHPブラックセッティング　0
　OHPカラーセッティング　0

寿命メニュー
　総印刷枚数　986
　トレイ1印刷枚数　360
　トレイ2印刷枚数　136
　MPトレイ印刷枚数　6
　カラーページ印刷枚数　11
　モノクロページ印刷枚数　67
　ブラックドラムユニット(使用量)　7 %
　シアンドラムユニット(使用量)　5 %
　マゼンタドラムユニット(使用量)　5 %
　イエロードラムユニット(使用量)　5 %
　ベルトユニット(使用量)　2 %
　定着器ユニット(使用量)　1 %
　ブラックトナー　あり
　シアントナー　あり
　マゼンタトナー　あり
　イエロートナー　あり

カラーレスモード
　カラーレスモード　無効

・ 設定内容一覧上部に表示されるCU/PU Versionなどのバージョン情報は変わることがあります。
・ 設定内容によっては、表示されない項目があります。

パソコン上でプリンタの状態を確認する

本機能は、本プリンタをネットワークで使用できるように設定している場合にお使いになれます。

本プリンタでは、ネットワーク上のパソコンからプリンタの状態を確認するためのツールが提供されています。
このツールを利用すると、使用しているパソコンを離れてわざわざプリンタまで見に行かなくても、プリンタが正常に動作しているかどうかを確認できます。
また、電子メールを使ってプリンタに取り付けたオプション品の状態などを確認することもできます。

『XL-C2000オンラインマニュアル』「第5章　Webサーバ機能（Color Printia LASER Internet Service）」を参照

画質を調整する

本製品は一定の枚数印刷後など定期的に画質に関する調整を行うよう設定されています。色ズレおよび濃度については、必要に応じてオペレータパネルから調整を行うことができます。

色ズレを調整する

本製品は、電源を入れたときやトップカバーを開閉したとき、また前回の調整時から 400 枚を印刷するごとに自動的に色ズレ調整を行います。特に色ズレが気になる場合は、プリンタのオペレータパネルから調整を行ってください。

1 **〔オンライン〕スイッチを押し、〔オフライン〕表示にする**

2 **〔メニュー+〕スイッチを数回押し、〔カラー メニュー〕を表示する**

3 **〔設定〕スイッチを押す**

4 **〔メニュー+〕スイッチまたは〔メニュー−〕スイッチを数回押し、〔ジドウ イロズレ ホセイ/ジッコウ〕を表示する**

5 **〔設定〕スイッチを押す**

〔オフライン/カラー チョウセイチュウ〕と表示し、色ズレ調整動作が開始されます。

濃度を補正する

本製品は、新しいドラムカートリッジを取り付けたとき、また連続して印刷した場合５００枚を印刷するごとに自動的に濃度補正をおこないます。特に印刷濃度が気になる場合は、プリンタのオペレータパネルから調整を行ってください。

1 **〔オンライン〕スイッチを押し、〔オフライン〕表示にする**

2 **〔メニュー＋〕スイッチを数回押し、〔カラー　メニュー〕を表示する**

3 **〔設定〕スイッチを押す**

4 **〔メニュー＋〕スイッチまたは〔メニュー－〕スイッチを数回押し、〔ノウド　ホセイ/ジッコウ〕を表示する**

5 **〔設定〕スイッチを押す**

〔オフライン/ノウド ホセイチュウ〕と表示し、濃度補正動作が開始されます。

電源を入れる / 切る

プリンタを使用するときは、電源を入れます。
また、1 日の印刷作業の終わりや、長時間プリンタを使用しないときには、電源を切ります。

電源を入れる

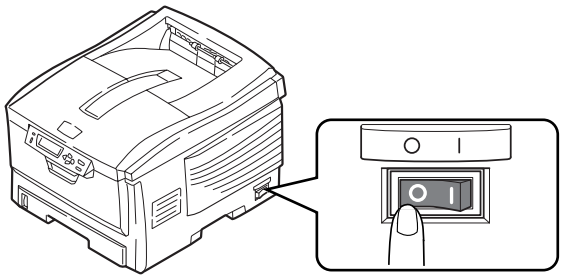
⚠ 警告

感　電
- 電源プラグは、定格電圧 100V、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は、100V、8.5A となっています。
- 万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。
  - 電源コンセントのアース端子
  - 銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
  - 接地工事（D 種）を行っている接地端子

お願い

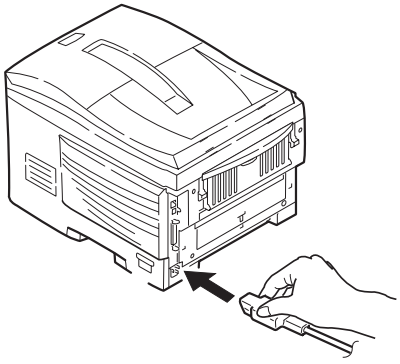
・色ズレが発生する場合があるため、プリンタを揺らさないでください。色ズレが発生した場合は、「第 11 章　こんなときには」の「印刷品質が低下したとき」（214 ページ）を参照してください。
・誤挿入防止カバー（29 ページ）は捨てずに保管し、ネットワーク接続しない場合に挿入してください。

次の手順にしたがって、電源を入れてください。

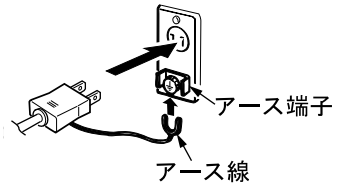


1 プリンタの電源が切れていることを確認する

電源スイッチが〔○〕側に倒れていることを確認します。

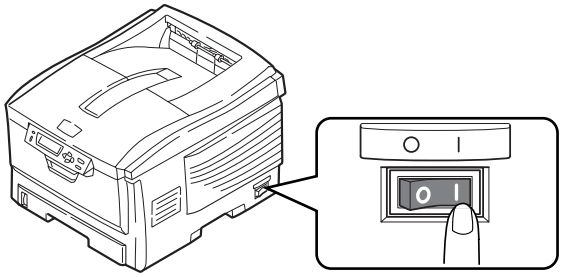


2 電源コードをプリンタ本体後側面にある電源コネクタに差し込む



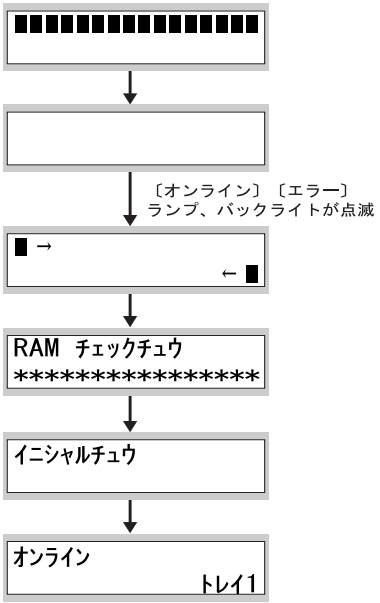
3 電源コードの他方をコンセントに差し込む

コンセントにアースがついている場合は、アースも接続します。



4 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔I〕側を押す

電源が入ります。



5 オペレータパネルの液晶ディスプレイに、〔イニシャルチュウ〕と表示される。この表示が〔オンライン〕に変わることを確認する

ガイド

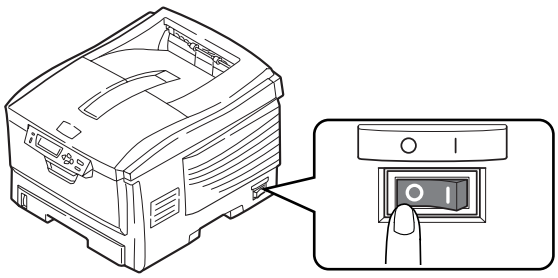
オンライン表示後は、しばらくの間「ウォーミングアップ」「カラーチョウセイチュウ」が交互に表示されます。

参照　液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認して対処してください。また、オンライン表示にならないときや対処方法がわからない場合は、「メッセージが表示されるとき」（194 ページ）を参照してください。

電源を切る

次の手順にしたがって、電源を切ってください。

お願い　**印刷中は電源を切らないでください。万一、印刷中に電源を切った場合は、トップカバーを開けて、用紙がプリンタ内に残っていないことを確認してください。**



1　プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔○〕側を押す

電源が切れます。

プリンタを清掃する

プリンタ外部を清掃する

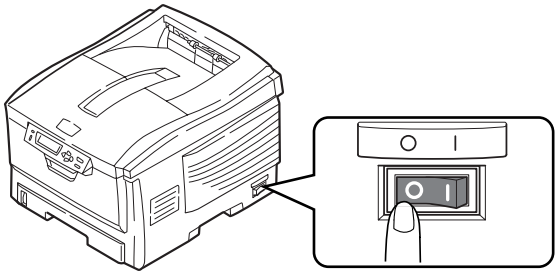
プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約１か月に１回、プリンタ外部を清掃してください。

⚠ 注意

やけど	プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感　電	電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

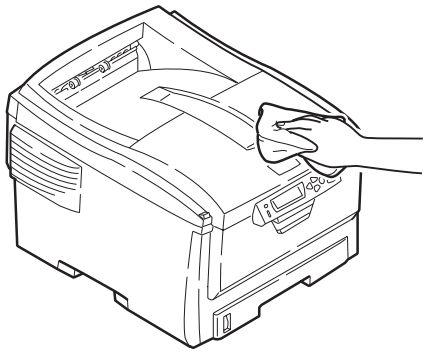
お願い

- **ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因となります。清掃の際は、注意してください。**
- **洗剤を直接プリンタに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。**
- **プリンタ内部の部品には、絶対に注油しないでください。このプリンタには注油の必要はありません。**
- **定着器周辺は熱くなっています。電源スイッチを切ってから1時間は、定着器周辺には手を触れないでください。**



1　プリンタ本体右側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

電源が切れます。



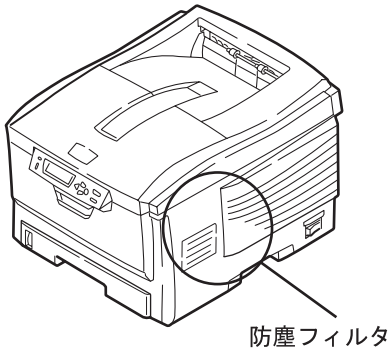
2 外部の汚れは、水でぬらしてよくしぼった柔らかい布でふく

汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて、軽くふいてください。

3 柔らかい布で水分をふき取る

ガイド

LEDヘッドの清掃方法は、「トナーカートリッジを交換する」の手順13（121 ページ）を参照してください。



4 防塵フィルタ上にたまったほこりを取り除く

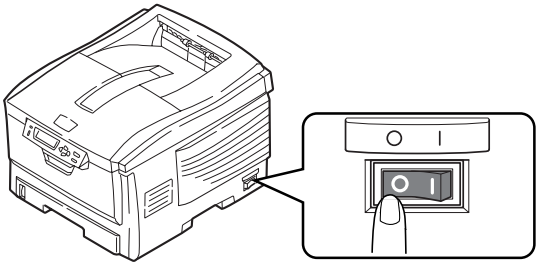
プリンタ本体右側の吸入ファン（2ヶ所）に対応し、プリンタ内部2ヶ所に防塵フィルタが取り付けられています。防塵フィルタ上にたまったほこりを外からハンドクリーナなどで取り除いてください。

お願い

ほこりを取り除く場合はサイドカバーを取り外さないでください。

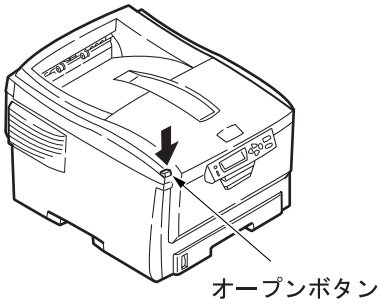
プリンタ内部を清掃する

印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合は、次の手順にしたがってプリンタ内部を清掃してください。

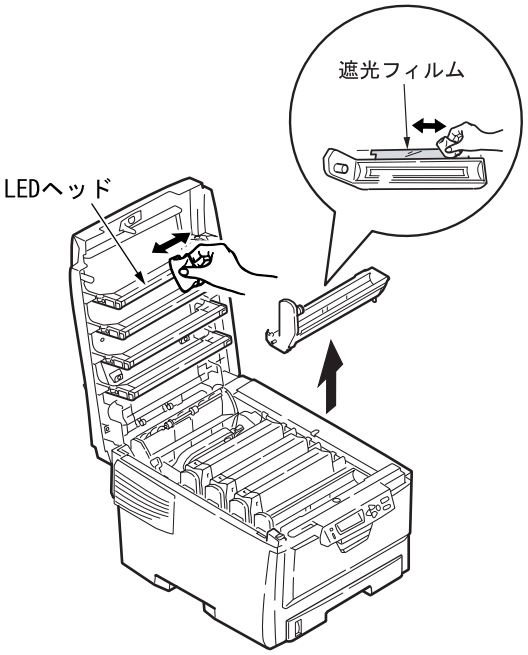


1 プリンタ本体右側にある電源スイッチ〔○〕側を押す

電源が切れます。



2 オープンボタンを押してロックを外し、トップカバーを完全に開く



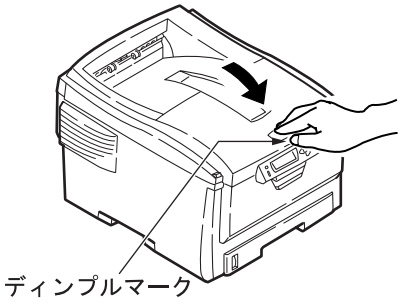
3 LED レンズクリーナまたはやわらかいティッシュペーパでLEDヘッドのレンズ面（4ヶ所）およびドラムカートリッジの遮光フィルムをそっと拭く

お願い

メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

ガイド

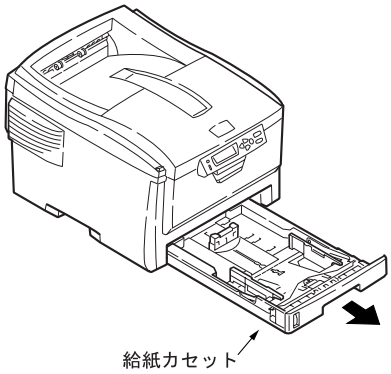
LEDレンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。



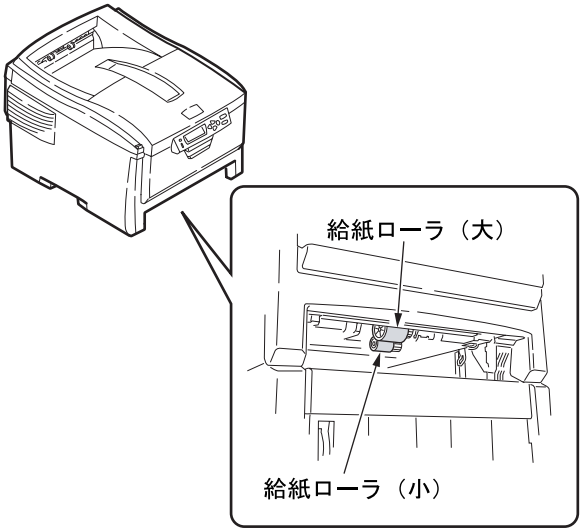
4 **ディンプルマークを押して、トップカバーを閉じる**

給紙ローラとパッドを清掃する

〔391：カミヅマリ トレイ1〕が頻発する場合は、次の手順にしたがって給紙ローラと給紙カセットのパッドを清掃してください。



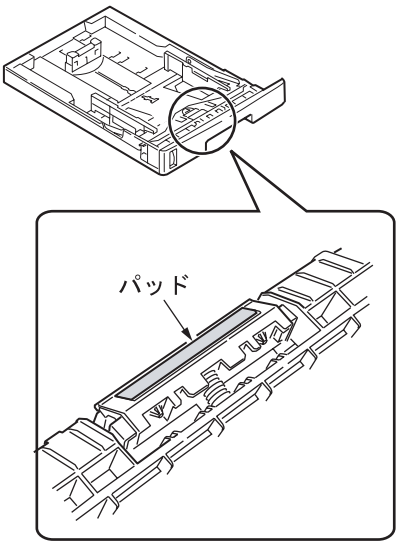
1 **給紙カセットを抜く**



2 **給紙ローラ（大）、給紙ローラ（小）を、水を含ませてかたく絞った布またはLEDレンズクリーナで拭く**

ガイド

LEDレンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。



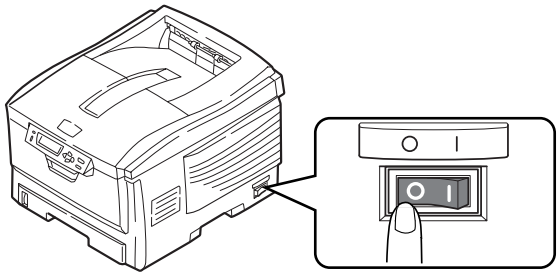
3 **給紙カセットのパッド部分を、水を含ませてかたく絞った布またはLED レンズクリーナで拭く**

お願い

〔392：カミヅマリ　トレイ2〕が頻発する場合は、拡張給紙ユニットを同様の手順で清掃してください。

長期間プリンタを使用しない

長期間、プリンタを使用しないときには、必ず次の作業を行ってください。



1 プリンタ本体右側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

電源が切れます。

2 電源コードやプリンタケーブルなど、すべての接続コードを外す

⚠ 警告	感　電　電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 注意	火　災　電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源 感　電　プラグを持って抜いてください。 電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

3 給紙カセットやマルチパーパストレイから用紙を取り出す

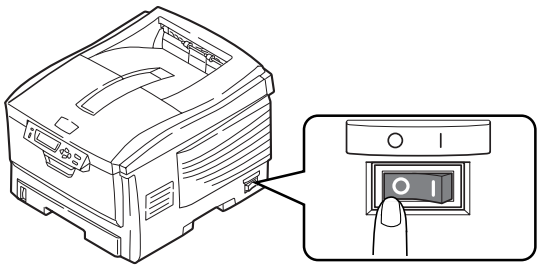
湿気やホコリのない場所に保管してください。

プリンタを移送する

ここでは、トラックで長距離運搬するなど、大きな振動を伴ったプリンタの移送手順について説明します。

お願い

・移動のとき、プリンタを前後、左右方向に 10 ° 以上傾けないでください。プリンタ内部のサプライ品がこぼれるなど故障の原因になります。
・移動のとき、トナーカートリッジは取り外さないでください。ドラムカートリッジ内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となります。
・オプションの拡張給紙ユニットや両面ユニットなどを取り付けている場合は、プリンタ本体から取り外して運搬してください。オプション品はプリンタ本体に固定されていないため、取り付けたままでは落下などによるケガの原因になります。取り外し方については、各オプション品の梱包箱に記載されている手順を参照して、取り付けと逆の手順で取り外してください。



1 プリンタ本体右側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

電源が切れます。

2 電源コードやプリンタケーブルなど、すべての接続コードを外す

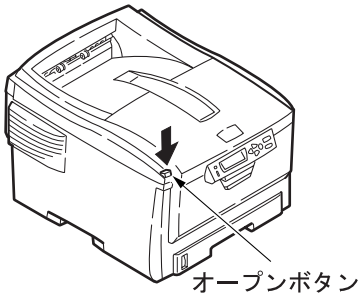
⚠ 警告	感　電　電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 注意	火　災　電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源 感　電　プラグを持って抜いてください。 電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

3 給紙カセットや給紙トレイから用紙を取り出す

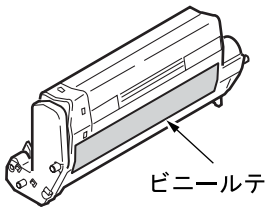
湿気やホコリのない場所に保管してください。

4 トップカバーを開け、ドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置く



5 ドラムカートリッジとトナーカートリッジの接合部分をビニールテープで止めて、プリンタに戻す

プリンタにドラムカートリッジを同梱して輸送します。トナーがこぼれないようにビニールテープで密封してください。

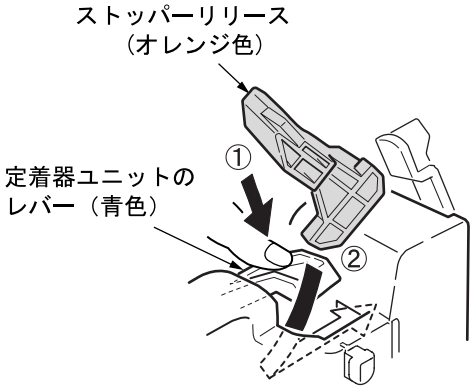


お願い

定着器ユニットが十分に冷えるまでしばらく待ってください。

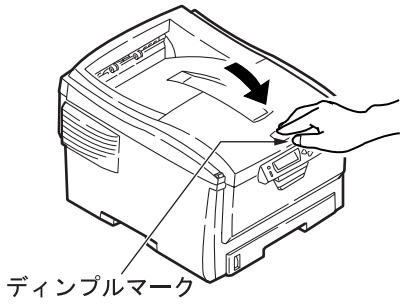
⚠ 注意

やけど　電源スイッチを切った直後にストッパリリースの取り付けを行うと定着器ユニットの熱によりやけどをする可能性があります。電源切断直後には上記操作を絶対に行わないでください。



6 定着器ユニットにストッパーリリースを取り付ける

定着器ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、矢印②の方向にストッパーリリース（オレンジ色）を取り付けます。



7 ディンプルマークを押して、トップカバーを閉じる

8 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れる

これで、移送できる状態になりました。

ガイド　移送時には、プリンタ購入時についていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

第9章
オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

オペレータパネルの各部の名称と機能 144
- ランプ表示 144
- 液晶ディスプレイの表示 145
- スイッチ操作 146

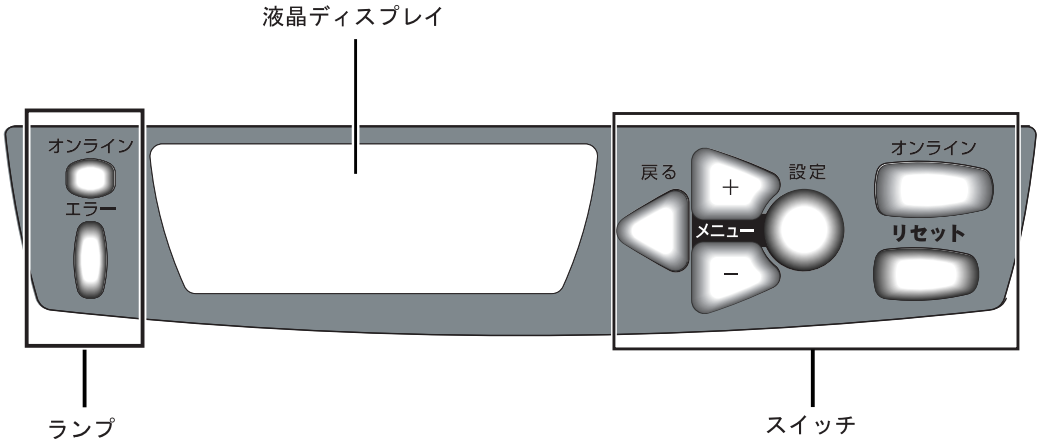
残ったデータを強制印刷する 148

プリンタ側で印刷を中止する 149

共通メニュー画面の設定一覧 151
- 設定値を初期化する 159

オペレータパネルの各部の名称と機能

オペレータパネルは、ランプ、液晶ディスプレイ、スイッチで構成されています。ここでは、オペレータパネルの各部の名称と機能について説明します。



ランプ表示

ランプは、プリンタの状態を点灯 / 点滅 / 消灯で表します。

名称	説　明
〔オンライン〕ランプ	緑色でデータの処理状況を表します。 **点灯** データを受信できる状態です。（オンライン） **点滅** 受信したデータを処理しています。 **消灯** データが受信できない状態です。（オフライン）また、エラーが発生したときやイニシャル中のときも消灯しています。
〔エラー〕ランプ	赤色でエラーの状態を表します。 **点灯** ワーニングが発生しました。印刷は行えます。 **点滅** エラーが発生しました。印刷できません。 **消灯** エラーは発生しておりません。

液晶ディスプレイの表示

プリンタの状態を表す「プリント画面」と、プリンタに関する設定を行うための「共通メニュー画面」があります。

ガイド　プリンタに取り付けられているオプション品や設定の状態によって、表示される内容は異なります。

プリント画面

プリンタの状態や、障害が発生したときの内容を表示します。
１行１６文字で２行に表示します。

共通メニュー画面

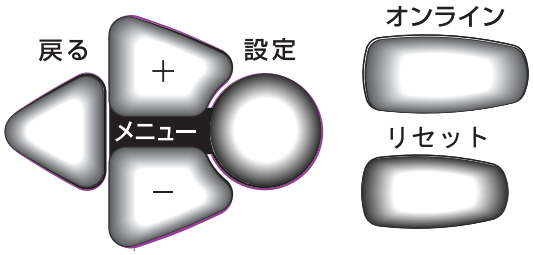
プリンタに関する設定を行う画面です。
共通メニュー画面は、プリント画面から〔メニュー〕スイッチを押して表示します。次の手順にしたがって、画面を切り替えてください。

1. 〔オンライン〕スイッチを押し、〔オフライン〕を表示させる
2. 〔メニュー＋〕スイッチを押し、目的のカテゴリを表示させる
3. 〔設定〕スイッチを押す
4. 設定する項目を表示するまで、〔メニュー＋〕または〔メニュー－〕スイッチを押す
5. 〔設定〕スイッチを押す
6. 〔メニュー＋〕または〔メニュー－〕スイッチを押し、目的の値にする
7. 〔設定〕スイッチを押し、値の右側に〔＊〕を付ける
8. 〔オンライン〕スイッチを押し、〔オンライン〕を表示させる

参照　共通メニュー画面の操作については、「共通メニュー画面の設定一覧」（１５１ページ）を参照してください。

スイッチ操作

オペレータパネルには、次の６種類のスイッチがあります。各スイッチは、プリント画面や共通メニュー画面で、次のような働きをします。



名称	状態	説明
〔オンライン〕スイッチ	オンライン中	オフラインに切り替わり、〔メニュー＋〕、〔メニュー－〕スイッチの操作が可能になります。
	オフライン中	オンラインに切り替わります。
	メニュー中	オンラインになります。
	エラー中	「nnn：ヨウシ サイズエラー」、「nnn：ttttt ヨウシ サイズ フイッチ」が表示されている場合は、現在セットされている用紙で強制的に印刷を行います。 また、「sss ヲ MP トレイニ セットシテ／オンラインヲ オシテクダサイ」が表示されている場合は、マルチパーパストレイに用紙セット後、このスイッチを押すと印刷を開始します。
〔リセット〕スイッチ	オンライン中	３秒以上押すと、処理中の動作をキャンセルします。印刷中の場合は印刷を中止して削除されます。受信中のジョブはそのジョブの区切りまで受信して削除されます。
	オフライン中	３秒以上押すと、印刷または受信中断中のジョブを削除します。
	メニュー中	オンラインになります。処理中のジョブがあってもジョブの削除は行いません。
	エラー中	「nnn：ttttt ヨウシ サイズ フイッチ」、「nnn：ttttt ヨウシガ アリマセン」、「nnn：トレイ１ ミソウチャク」、「nnn：ヨウシ サイズエラー」、「sss ヲ MP トレイニ セットシテ／オンラインヲ オシテクダサイ」が表示されている場合、３秒以上押すと処理中の動作を削除します。受信中のジョブはそのジョブの区切りまで受信して削除されます。

名称	状態	説明
〔メニュー＋〕スイッチ	オンライン中	無効です。
	オフライン中	〔インフォメーション メニュー〕を表示します。
	メニュー中	メニューの表示内容（カテゴリ、項目、値）を１つ先に進めます。３秒以上押すと早送りします。
〔メニュー－〕スイッチ	オンライン中	無効です。
	オフライン中	〔インフォメーション メニュー〕を表示します。
	メニュー中	メニューの表示内容（カテゴリ、項目、値）を１つ手前に戻します。３秒以上押すと早戻しします。
〔設定〕スイッチ	オンライン中	無効です。
	オフライン中	メニューモードに移り、先頭のカテゴリを表示します。
	メニュー中	（カテゴリ表示中）表示カテゴリの先頭項目および値を表示します。 （項目表示中）値表示を点滅させ、内容の変更を可能にします。 （値点滅表示中）メニューの値を確定します。
〔戻る〕スイッチ	オンライン中	無効です。
	オフライン中	無効です。
	メニュー中	（カテゴリ表示中）オンラインになります。 （項目表示中）表示項目のカテゴリを表示します。 （値点滅表示中）値の点滅表示を止め、確定した値を表示します。

残ったデータを強制印刷する

印刷中、または用紙サイズが違っているとエラーが表示された場合にオペレータパネルの〔オンライン〕スイッチを押すと、強制的に印刷を行います。

プリンタ側で印刷を中止する

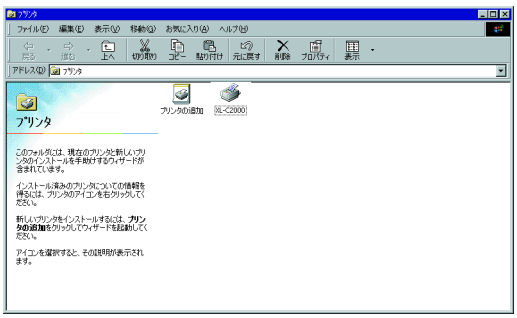
パソコン側で印刷指示を取り消したあとこの操作をすると、プリンタで処理中のデータの印刷を中止できます。ただし、印刷中のページは印刷されます。

1 〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックする（WindowsXP/Windows Server 2003の場合は〔スタート〕、〔プリンタとFAX〕の順にクリックする）

〈プリンタ〉ウィンドウが表示されます。

2 本プリンタのプリンタアイコンをダブルクリックする

プリンタウィンドウが表示されます。



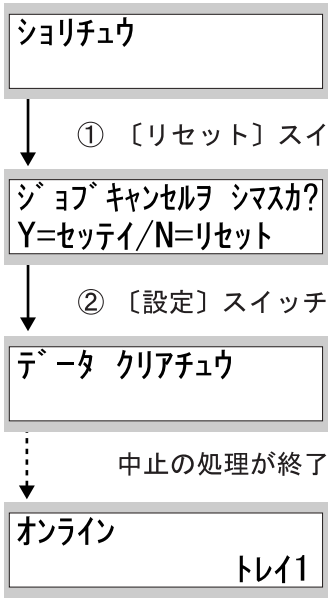
3 中止したいドキュメントをクリックし、キーボードの〔DELETE〕キーを押す

4 オペレータパネル上の〔リセット〕スイッチを3秒以上押す

参照　オペレータパネルの操作方法についての詳細は、「オペレータパネルの各部の名称と機能」（144ページ）を参照してください。

ガイド　〔リセット〕スイッチを押して受信データをクリアすると、次のジョブを受信するタイミングによっては次のデータが一緒にクリアされる場合があります。また、オペレータパネルの〔システム コウセイ メニュー〕で設定している〔タイムアウト インサツ〕の時間が長いと、データのクリアに時間がかかる場合があります。

〔タイムアウト インサツ〕は、20～40秒の値で設定することをお勧めします。



〔ショリチュウ〕または〔データアリ〕が表示されている

ガイド　印刷を中止しない場合は、〔リセット〕スイッチを押してください。

ガイド　パソコン側のスプールモニタの出力が終了するまで〔データ　クリアチュウ〕が表示されます。

共通メニュー画面の設定一覧

プリンタのオペレータパネルで行う設定項目について説明します。
設定項目の設定方法は、「液晶ディスプレイの表示」「共通メニュー画面」（145ページ）を参照してください。

お願い

- **〔NETWORK MENU〕の設定変更後の約30秒間、オペレータパネルには〔オンライン〕と表示されます。**
  また、ネットワーク環境等の状況によっては、２～３分間、オペレータパネルに〔オンライン〕と表示される場合があります。この間、プリンタは初期化のための準備をしています。
  準備が完了するとオペレータパネルの表示は〔ネットワーク　ショキカチュウ〕に変わり、初期化、設定変更およびシステムの再立ち上げを行います。
  システムの再立ち上げが完了するまでは、オペレータパネルの操作や電源の投入/切断を行わないでください。
- **Color Printia LASER Internet Serviceの操作によりオペレータパネルのロックが可能です。この場合は、ユーザメニューの設定／変更ができなくなりますのでご注意ください。**
  ロック解除は、Color Printia LASER Internet Serviceの管理者モードで〔メンテナンス〕タブの〔操作パネルのロック〕メニューで行います。
  詳細は、装置添付のプリンタソフトウェアCD-ROMにあるオンラインマニュアル（PDFファイル）を参照してください。
- **カラーレスモードの設定変更後は、電源の再投入が必要となります。**

参照　共通メニュー画面の操作については、「カラーレス印刷を行う」（227ページ）を参照してください。

ユーザメニュー

「設定値」の網かけは初期の値です。
◎：プリンタドライバの設定が優先
○：プリンタの設定が優先またはプリンタで設定が必要
－：プリンタドライバ使用時は無効

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
インフォメーションメニュー	セッテイ ナイヨウ インサツ	ジッコウ	設定内容一覧およびネットワークメニューを印刷します。	―
	フォントインサツ	ジッコウ	フォントリストを印刷します。	―
	テスト　インサツ	ジッコウ	テスト印刷をします。	―
	エラーログ　インサツ	ジッコウ	エラーログを印刷します。 （最大32個保存され、電源切断時に消去されます。）	―
インサツメニュー	コピーマイスウ	1 999	コピー枚数を設定します。	◎
	ヨウシナガサチェック	ユウコウ ムコウ	用紙の長さをチェックするかどうか設定します。	○
	モノクロ インサツソクド	モード１ モード２ モード３	モノクロページの印刷速度が設定できます。 モード１： 　カラー／モノクロが混在したページの処理に応じて最適な印刷速度になります。 　ただし、カラーページ以降はすべてカラー印刷速度（A４印刷時は12ppm）になります。 モード２： 　カラー印刷速度（A４印刷時は12ppm）になります。 モード３： 　モノクロ印刷速度（A４印刷時は20ppm）になります。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
メディア　メニュー	トレイ１　ヨウシサイズ	A4 A5 A6 B5 LEGAL LETTER	トレイ１の用紙サイズを設定します。	○
	トレイ２　ヨウシサイズ *	A4 A5 B5 LEGAL LETTER	トレイ２の用紙サイズを設定します。 *： オプションの拡張給紙ユニット 装着時に表示。	○
	MPトレイ ヨウシサイズ	A4 A5 A6 B5 LEGAL LETTER カスタム ハガキ オウフクハガキ フウトウ１ フウトウ２ フウトウ３ フウトウ４	マルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。	○
カラー　メニュー	ノウド　ホセイモード	ジドウ シュドウ	濃度補正と階調補正を自動で行うか設定します。	○
	ノウド ホセイ	ジッコウ	実行を選択すると、プリンタは直ちに濃度補正を行います。アイドル状態で実行してください。	○
	ジドウ イロズレホセイ	ジッコウ	このメニューを実行すると、プリンタは自動色ずれ補正動作を実行します。アイドル状態で実行してください。	○
	C イチズレ ビチョウセイ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの画像位置ズレを微調整します。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
カラー メニュー	M　イチズレ　ビチョウセイ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの画像位置ズレを微調整します。	○
	Y　イチズレ　ビチョウセイ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの画像位置ズレを微調整します。	○
	UCR	スクナイ フツウ オオイ	カラー印刷するときの墨版（黒）の量を選択できます。墨版の量を多くすると他の３色のトナー量の節約になります。	○
	CMY 100% ノウド	ムコウ ユウコウ	CMY100%階調値に対する100%出力を有効とするかどうかを選択します。	○
システム　コウセイ　メニュー	パワーセーブ イコウジカン	5 フン 15 フン 30 フン 60 フン 240 フン	省電力モードに入るまでの時間を設定します。	○
	タイムアウト インサツ	オフ ５ ビョウ ～ ４０ ビョウ ～ ３００ ビョウ	データを受信しなくなってから強制印刷するまでの時間を設定します。 オフを指定すると「データ クリアチュウ」、「データ ジュシンチュウ」で無限に停止した状態となるため、有限な値を設定することをおすすめします。	◎
	ジャム リカバリ	オン オフ	紙づまりの後、つまったページから印刷するかどうか設定します。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
セントロ メニュー	ソウホウコウ セントロ	ユウコウ ムコウ	双方向通信の有効／無効を設定します。	○
	ECP	ユウコウ ムコウ	ECP モードの有効／無効を設定します。	○
	ACK ハバ	セマイ フツウ ヒロイ	コンパチ受信時のACK幅を設定します。	○
	ACK/BUSY タイミング	ACK IN BUSY ACK WHILE BUSY	コンパチ受信時のBUSY信号とACK信号の出力順序を設定します。	○
	I-PRIME	3 マイクロビョウ 50 マイクロビョウ ムコウ	I-PRIME信号の有効時間／無効を設定します。	○
USB メニュー	ソフト リセット	ユウコウ ムコウ	ソフトリセットコマンドの有効／無効を設定します。	○
	SPEED	12Mbps 480Mbps	USBインタフェースの最大転送速度を設定します。	○
NETWORK MENU	IP ADDRESS SET	AUTO MANUAL	IPアドレスの設定方法を設定します。 TCP/IP がDISABLE の場合は表示されません。	○
	IP ADDRESS	192.168.100.100	IPアドレスを設定します。 TCP/IP がDISABLE の場合は表示されません。初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	SUBNET MASK	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。 TCP/IP がDISABLE の場合は表示されません。初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	GATEWAY ADDRESS	192.168.100.254	ゲートウェイアドレスを設定します。 TCP/IP がDISABLE の場合は表示されません。初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	WEB	DISABLE ENABLE	WEBの有効／無効を設定します。	○
	SNMP	ENABLE DISABLE	SNMP の有効／無効を設定します。	

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
NETWORK MENU	LAN	NORMAL SMALL	NORMAL：一般にはこの設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが2、3台の小さなLANに接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL：コンピュータが2、3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。	○
	HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALFV 10BASE-T FULL 10BASE-THALF	HUBとのリンク方法を設定します。AUTO NEGOTIATEに設定すると、すべてのHUBに対して接続方法を自動的に選択し、接続を試みます。	○
イチ　チョウセイ メニュー	X　ホセイ	+2.00 mm 1.75 mm ～ 0.00 mm ～ -2.0 mm	X方向の印刷位置を微調整します。両面印刷時は、表面/裏面ともに微調整します。	○
	Y　ホセイ	+2.00 mm 1.75 mm ～ 0.00 mm ～ -2.0 mm	Y方向の印刷位置を微調整します。両面印刷時は、表面/裏面ともに微調整します。	○
	リョウメンインサツ X　ホセイ	+2.00 mm 1.75 mm ～ 0.00 mm ～ -2.0 mm	両面印刷の場合、裏面のX方向のみ印刷位置を微調整します。〔X ホセイ〕と加算した値が裏面の補正値となります（両面ユニット実装時のみ表示）。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
イチ チョウセイ メニュー	リョウメンインサツ Y　ホセイ	+2.00 mm 1.75 mm ≀ 0.00 mm ≀ -2.0 mm	両面印刷の場合、裏面のＹ方向のみ印刷位置を微調整します。〔Y ホセイ〕と加算した値が裏面の補正値となります（両面ユニット実装時のみ表示）。	○
	ヘキサ　ダンプ	ジッコウ	印刷データを１６進データとして印刷します。再起動すると通常モードに復旧します。	○
ホジョ メニュー	メニュー　リセット	ジッコウ	メニューの設定値を初期化します。	-
	パワーセーブ　キノウ	ユウコウ ムコウ	パワーセーブモードの有効/無効を設定します。 有効時のパワーセーブ移行時間は〔システムコウセイメニュー〕の〔パワーセーブ イコウジカン〕で設定します。	○
	フツウシ　クロ セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。 ＋：濃くなる/－：薄くなる	○
	フツウシ　カラー セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。 ＋：濃くなる/－：薄くなる	○
	ＯＨＰ　クロ　セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。OHPフィルムに印刷してかすれる場合に値を変更します。 ＋：濃くなる/－：薄くなる	○
	ＯＨＰ　カラー セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。OHPフィルムに印刷してかすれる場合に値を変更します。 ＋：濃くなる/－：薄くなる	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
ジュミョウ　メニュー	トータル ページ カウント	nnnnnn	総印刷枚数を表示します。	-
	トレイ１ ページ カウント	nnnnnn	トレイ１の総印刷枚数を表示します。	-
	トレイ２ ページ カウント＊	nnnnnn	トレイ２の総印刷枚数を表示します。 *： オプションのセカンドトレイ ユニット　装着時に表示。	-
	MPトレイ ページ カウント	nnnnnn	マルチパーパストレイの総印刷枚数を表示します。	-
	カラー ページ カウント	nnnnnn	カラーページ印刷を行ったページ数を表示します。	-
	モノクロ ページ カウント	nnnnnn	モノクロページ印刷を行ったページ数を表示します。	-
	K ドラム ユニット	ｼｮｳﾘｮｳxxx %	黒のドラムの使用量（%）を表示します。	-
	C ドラム ユニット	ｼｮｳﾘｮｳxxx %	シアンのドラムの使用量（%）を表示します。	-
	M ドラム ユニット	ｼｮｳﾘｮｳxxx %	マゼンタのドラムの使用量（%）を表示します。	-
	Y ドラム ユニット	ｼｮｳﾘｮｳxxx %	イエローのドラムの使用量（%）を表示します。	-
	ベルト ユニット	ｼｮｳﾘｮｳxxx %	ベルトユニットの使用量（%）を表示します。	-
	テイチャクキ ユニット	ｼｮｳﾘｮｳxxx %	定着器ユニットの使用量（%）を表示します。	-
	K トナー	ｱﾘ/ｽｸﾅｲ (ﾛｰ) / ﾅｼ (ｺｳｶﾝ)	黒トナーの残量を表示します。	-
	C トナー	ｱﾘ/ｽｸﾅｲ (ﾛｰ) / ﾅｼ (ｺｳｶﾝ)	シアントナーの残量を表示します。	-
	M トナー	ｱﾘ/ｽｸﾅｲ (ﾛｰ) / ﾅｼ (ｺｳｶﾝ)	マゼンタトナーの残量を表示します。	-
	Y トナー	ｱﾘ/ｽｸﾅｲ (ﾛｰ) / ﾅｼ (ｺｳｶﾝ)	イエロートナーの残量を表示します。	-
カラーレス モード	カラーレス モード	ムコウ ユウコウ	カラートナー（Y/M/C）が寿命となり、印刷ができなくなった場合に、モノクロ印刷のみ可能とします。「カラーレス印刷を行う」（227ページ）を参照してください。	

トナー残量は目安です。以下の場合には正しい残量は表示されません。
- 現品添付のトナーを使用している場合
- ドラム交換時に使用途中のトナーカートリッジを付けた場合
- 新しいドラムに取り付けた１本目のトナーを使用している場合

設定値を初期化する

ユーザメニュー（NETWORK以外）の設定値を初期化する場合は、以下の手順にしたがって、オペレータパネルを操作してください。

1 **〔オンライン〕スイッチを押し、オフライン状態にする**

2 **〔ホジョ メニュー〕と表示されるまで、〔メニュー＋〕スイッチを数回押す**

3 **〔設定〕スイッチを押す**

4 **〔メニュー リセット／ジッコウ〕と表示されることを確認する**

5 **〔設定〕スイッチを押す**

設定値が初期化されます。

6 **〔オフライン〕と表示されたら、〔オンライン〕スイッチを押しオンライン状態に戻す**

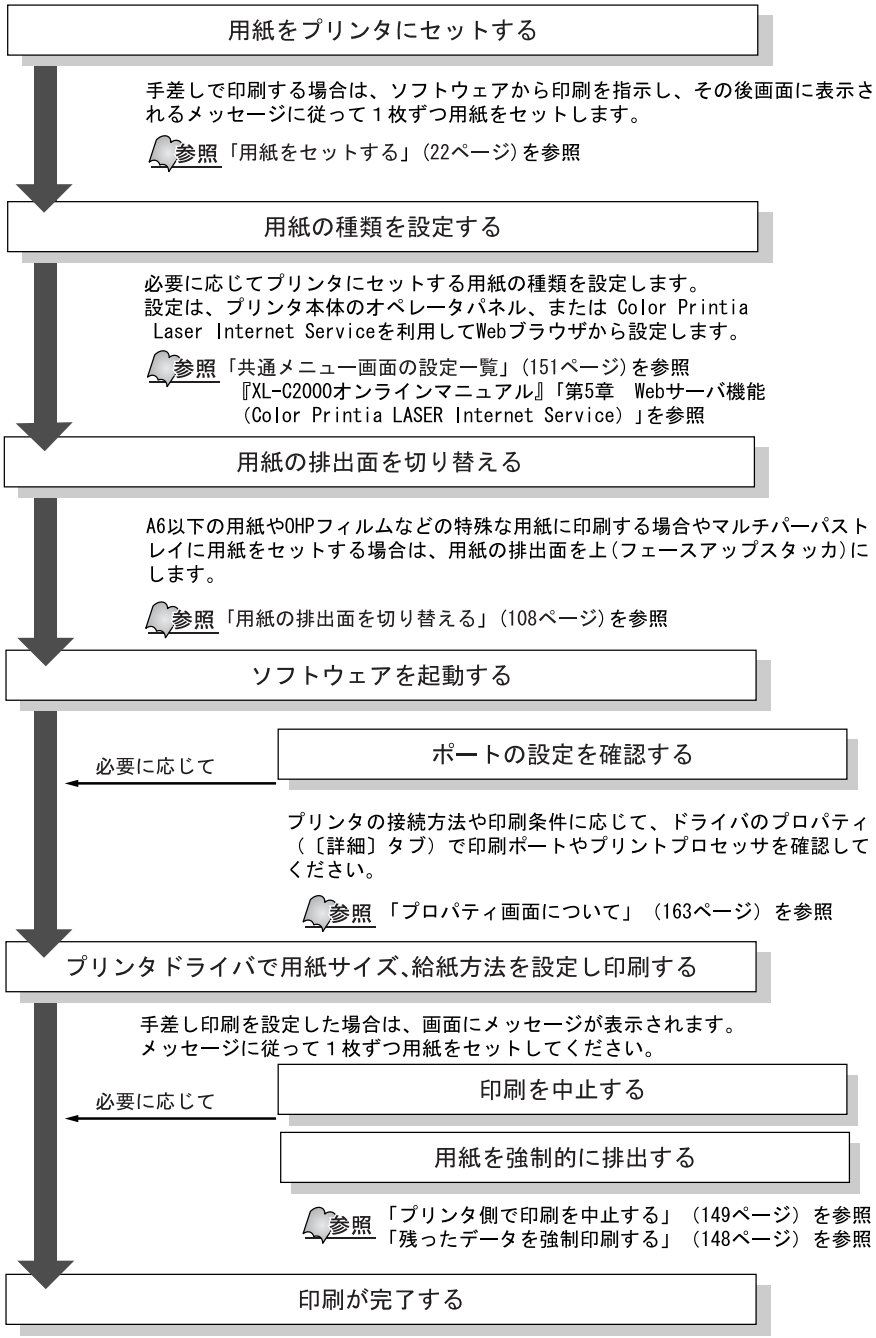
第10章
プリンタドライバの設定/印刷

この章では、プリンタドライバの設定項目および設定方法について説明します。

印刷のながれ 162
印刷機能の設定について 163
　プロパティ画面について 163
主な印刷機能一覧 165
　〔設定〕タブ 166
　〔印刷オプション〕タブ 174
　〔カラー〕タブ（ユーザ設定） 180
　〔カラー〕タブ（グレースケール） 181
　〔デバイスオプション〕タブ 182
印刷を中止する 183
印刷指示したジョブの状態を確認する ..184
特殊な用紙に印刷する 185
　はがきに印刷する 187
　OHPフィルムに印刷する 187
不定形（ユーザ定義）用紙に印刷する 188
　標準のユーザ定義サイズを設定する 188
　不定形用紙を追加登録する 190
　項目を設定し、印刷を行う 192

印刷のながれ

本プリンタから印刷する場合の基本的な流れを説明します。
ご使用になる環境によって、異なる場合があります。



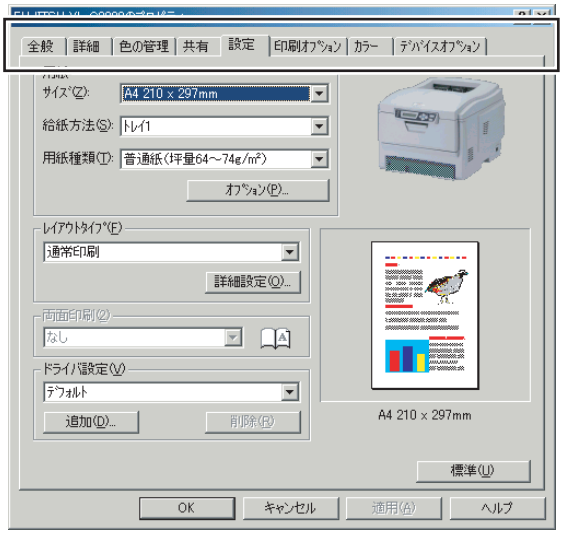
印刷機能の設定について

ほとんどの印刷機能は、アプリケーションから印刷するときに表示されるプロパティ画面や、お使いのパソコンにインストールしたプリンタのアイコンから表示させるプロパティ画面で設定を行います。
表示させたプロパティ画面でタブを切り替えて、各機能を設定します。
設定方法などについては、XL-C2000プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

参照　オンラインヘルプの使い方については、「オンラインマニュアルの見かた」（xviページ）を参照してください。

プロパティ画面について

パソコンの〔スタート〕メニューから〔設定〕-〔プリンタ〕の順にクリックし、本プリンタを選択してプリンタのプロパティを表示した場合（Windows Meの場合）は、次のように表示されます。



使用しているアプリケーションで〔ファイル〕-〔印刷〕の順に選択し、本プリンタを選択してプリンタのプロパティ画面を表示した場合（Windows Meの場合）は、次のように表示されます。

ガイド　〔印刷〕コマンドは、お使いのアプリケーションによって表示が異なる場合があります。

タブ

各画面には5つのボタンがあり、それぞれ次のような機能があります。

標準　　：プリンタ設定の全ての項目を標準値に戻します。
適用　　：表示している画面の項目を設定した値で確定します。
ヘルプ　　：表示ダイアログのヘルプを表示します。
OK　　：表示している画面の項目を設定した値で確定し、メニュー画面を閉じます。
キャンセル：設定した値をキャンセルし、メニュー画面を閉じます。

主な印刷機能一覧

主な印刷機能について説明します。
各機能を、プリンタドライバのプロパティ画面のタブごとに紹介します。

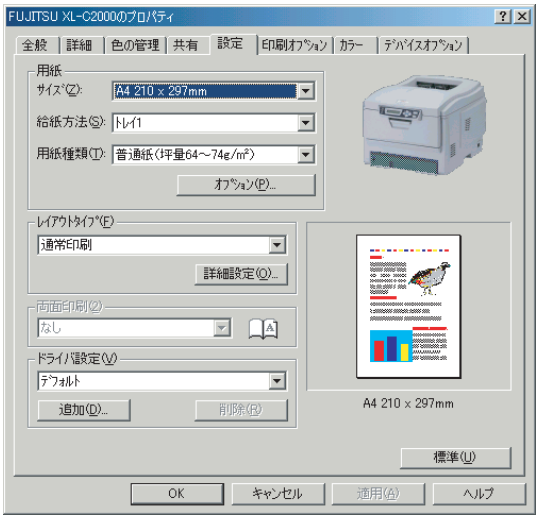
参照　プロパティ画面を表示させるには、「プロパティ画面について」（163ページ）を参照してください。

各タブごとの詳しい説明は、オンラインヘルプを参照してください。

参照　「オンラインヘルプの見かた」（xvページ）を参照

〔設定〕タブ

用紙やレイアウトなどを設定します。



項　目		内　容
用紙	サイズ	印刷する用紙サイズを指定します。 ユーザ定義サイズを選択すると、〔ユーザ定義サイズの設定〕ダイアログボックスが表示され任意の用紙サイズを指定することができます。 参照　「〔ユーザ定義サイズの設定〕ダイアログボックス」（168ページ）を参照
	給紙方法	用紙の給紙先を指定します。〔自動選択〕設定時は指定した用紙サイズのあるトレイから自動的に給紙します。トレイ2はオプションの拡張給紙ユニットが取り付けられているときに表示されます。
	用紙種類	用紙の厚さまたはタイプを設定します。 デフォルトでは、〔普通紙〕が選択されています。 〔オプション〕を選択すると、〔給紙オプション〕ダイアログボックスが表示されます。 参照　「〔給紙オプション〕ダイアログボックス」（169ページ）を参照

<table>
<tr><th>項　目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>レイアウト
タイプ</td><td>通常印刷、製本印刷、ポスター印刷、N-UP印刷を設定します。
〔詳細設定〕をクリックするとオプションダイアログボックスが表示されます。

参照　「〔通常印刷〕ダイアログボックス」（170ページ）を参照
「〔製本印刷〕ダイアログボックス」（171ページ）を参照
「〔ポスター印刷〕ダイアログボックス」（172ページ）を参照
「〔カスタム設定〕ダイアログボックス」（173ページ）を参照</td></tr>
<tr><td>両面印刷</td><td>オプションの両面ユニットが取り付けられている場合に表示されます。</td></tr>
<tr><td>ドライバ設定</td><td>ドライバの設定を保存できます。
〔設定〕タブの初期設定は以下の通りです。
<table><tr><th>項目</th><th>初期設定</th></tr><tr><td>サイズ</td><td>A4</td></tr><tr><td>給紙方法</td><td>トレイ1</td></tr><tr><td>用紙種類</td><td>普通紙（坪量 64～74g/m^2）</td></tr><tr><td>レイアウトタイプ</td><td>通常印刷</td></tr><tr><td>両面印刷</td><td>なし</td></tr><tr><td>ドライバ設定</td><td>（名称未設定）</td></tr></table></td></tr>
</table>

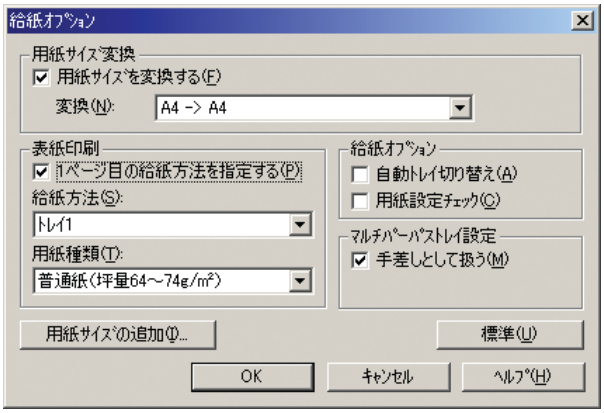
〔ユーザ定義サイズの設定〕ダイアログボックス

このダイアログボックスは〔設定〕タブの用紙サイズで、〔ユーザ定義サイズ〕を選択したときに表示されます。

項　目	内　容
幅	ユーザ定義サイズ用紙の幅を 64.0 ～ 215.9mmまたは2.52 ～ 8.50インチの範囲で設定できます。 ただし、長さが356mm以上の場合は幅は210-215.9mmの範囲が有効になります。
長さ	ユーザ定義サイズ用紙の長さを 148.0 ～ 1200.0mmまたは5.83 ～ 47.24インチの範囲で設定できます。
単位	幅、長さの単位を「ミリ」、「インチ」で指定できます。
標準	幅、長さの値を標準値（デフォルト用紙のサイズ）にします。

〔給紙オプション〕ダイアログボックス

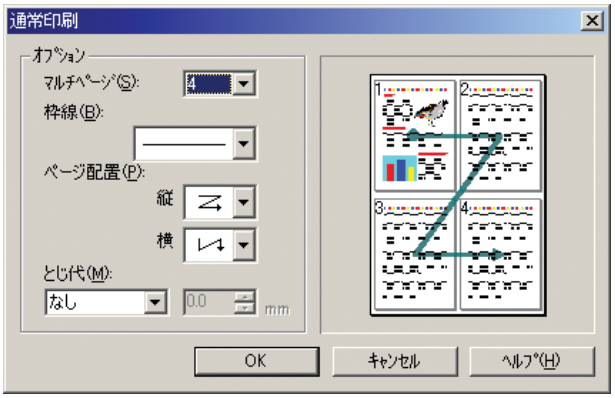
このダイアログボックスは、〔設定〕タブで〔オプション〕を選択したときに表示されます。



項　目		内　容
用紙サイズ変換	用紙サイズを変換する	チェックすると、以下のような項目が表示され、アプリケーションの用紙サイズをプリンタの用紙サイズに拡大/縮小して印刷できます。
		変換　「A３－＞Ａ４」のように右向き矢印とその左側に〔設定〕タブの「用紙サイズ」で指定されている用紙のサイズ、右側に実際に印刷する用紙サイズを表示します。
表紙印刷	１ページ目の給紙方法を指定する	チェックすると、以下のような項目が表示され、表紙の給紙方法や用紙の種類が設定できます。
		給紙方法　表紙の給紙先を指定します。
		用紙種類　用紙の厚さまたはタイプを設定します。
給紙オプション	自動トレイ切り替え	チェックすると、印刷時に給紙しているトレイの用紙がなくなった場合に同じ用紙のあるトレイから自動的に給紙する機能が有効になります。 ただし、マルチパーパストレイは切替対象にはりません。
	用紙設定チェック	チェックすると、プリンタ側の用紙サイズチェック機能が有効になります。 用紙サイズのみのチェックを行い、タイプのチェックは行いません。（トレイ１、２） マルチパーパストレイの場合チェックされていても無効になります。
マルチパーパストレイ設定	手差しとして扱う	チェックすると、マルチパーパストレイを手差しトレイとして扱われます。複数枚の用紙を連続給紙する場合は、チェックを外してください。
用紙サイズの追加		〔用紙サイズの追加〕ダイアログボックスを表示し、任意の名称で ユーザ定義サイズの用紙を登録できます。 登録された用紙は〔設定〕タブの「サイズ」の選択肢に追加されます。

〔通常印刷〕ダイアログボックス

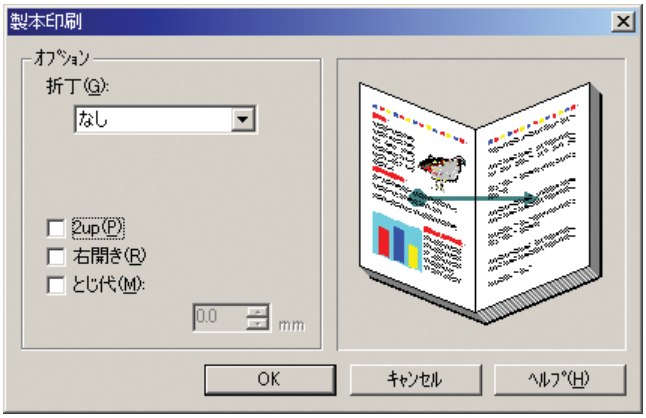
〔設定〕タブのレイアウトタイプで〔通常印刷〕を選択し、〔詳細設定〕を選択すると表示されます。



項　目		内　容
オプション	マルチページ	２ページ以上を設定すると、以下のとじ代以外の項目が表示されます。
	枠線	マルチページに印刷する枠、線について設定します。
	ページ配置　縦（2up時）	印刷するページの配置を設定します。
	ページ配置　縦（4up以上）	
	とじ代	とじ代の有無、つけ方を設定します。

〔製本印刷〕ダイアログボックス

〔設定〕タブのレイアウトタイプで〔製本印刷〕を選択し、〔詳細設定〕を選択すると表示されます。



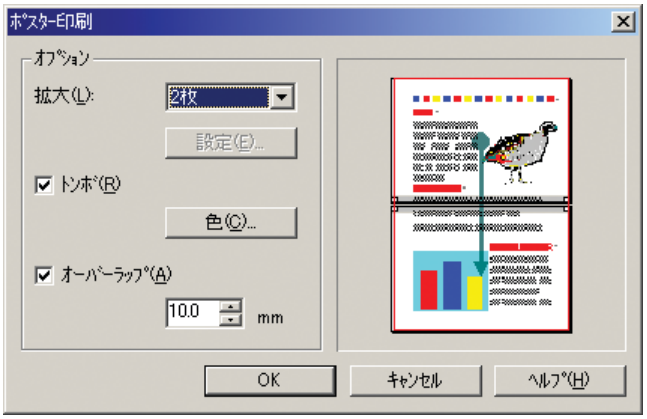
項　目	項　目	内　容
オプション	折丁	用紙の折り方を設定します。
	2up	チェックすると、2-up製本印刷を行います。
	右開き	チェックすると、本が右開きとなります。
	とじ代	チェックすると、とじ代をつけます。 とじ代の量を設定する項目が有効になります。

お願い

- **Windows 2000/XP/Windows Server 2003環境で共有プリンタとして利用する場合、製本印刷ができない場合があります。その場合は、LPRポート接続で印刷を行ってください。詳細は、『XL-C2000 オンラインマニュアル』の「第3章　IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定」を参照してください。**
- **Windows 2000/XP/Windows Server 2003環境で〔製本印刷〕が正しく行えない場合は、プロパティの〔詳細設定〕でプリントプロセッサの設定を「XL2OPP3」に設定してください。Windows NT4.0の場合は、「XL2OPP2」を設定してください。**

〔ポスター印刷〕ダイアログボックス

〔設定〕タブのレイアウトタイプで〔ポスター印刷〕を選択し、〔詳細設定〕を選択すると表示されます。



項　目	内　容
拡大	1ページを何枚に拡大して印刷するかを設定します。
トンボ	チェックすると、トンボを付けて印刷します。 トンボの色も指定できます。
オーバーラップ	チェックすると、重なり部分を付けて印刷します。

お願い

ポスター印刷ができない場合は、次のように設定してください。

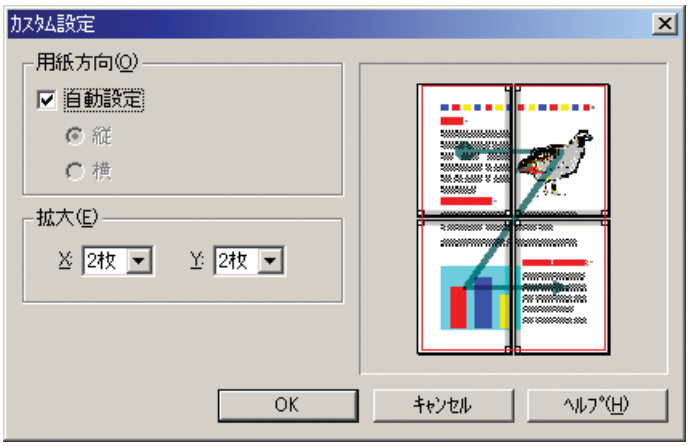
- **Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合**
  - **①〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順にクリックする（Windows XP/Windows Server 2003の場合、〔スタート〕－〔プリンタとFAX〕の順にクリックする）**
  - **②〔FUJITSU XL-C2000〕アイコンを右クリックし、〔プロパティ〕－〔詳細設定〕－〔プリントプロセッサ〕－〔XL2OPP3〕の順に選択する**
- **Windows NT4.0の場合**
  - **①〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順にクリックする**
  - **②〔FUJITSU XL-C2000〕アイコンを右クリックし、〔プロパティ〕－〔全般〕－〔プリントプロセッサ〕－〔XL2OPP2〕の順に選択する**

ガイド

Windows　95/98/Me用プリンタドライバとWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003用プリンタドライバでは、ポスター印刷時のトンボの形状が異なります。

〔カスタム設定〕ダイアログボックス

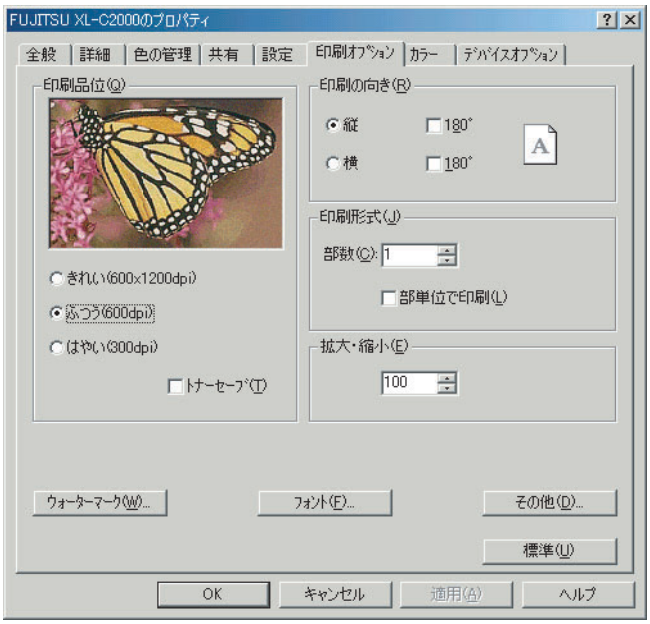
〔ポスター印刷オプション〕ダイアログの〔拡大〕コンボボックスで、〔カスタム〕を選択した場合、〔設定〕ボックスが有効となります。このボタンを押すと、表示されます。



項　目		内　容
用紙方向	自動設定	チェックすると、拡大率が最大になるような用紙方向が自動で設定されます。縦／横の指定はできません。
拡大	X	横に並べる枚数を設定します。
	Y	縦に並べる枚数を設定します。

〔印刷オプション〕タブ

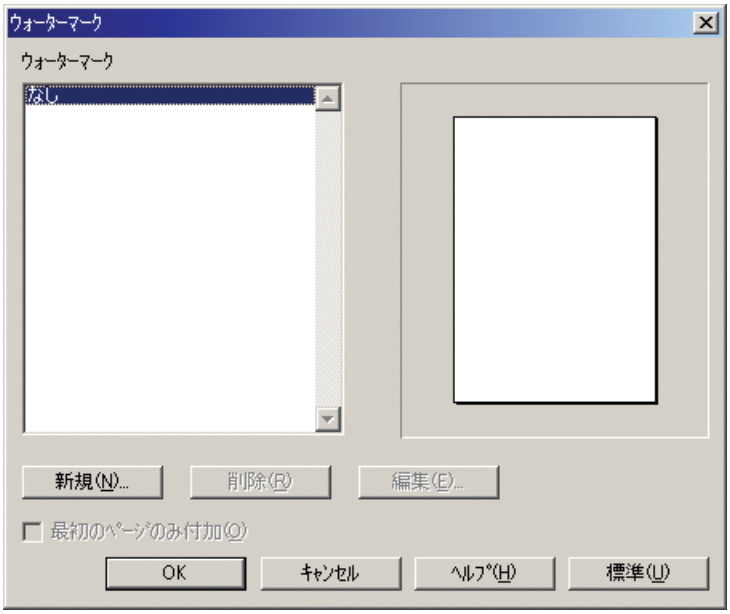
印刷品質に関する設定を行います。



項　目		内　容
印刷品位		印刷の品位（印刷データの解像度）を3種類から指定します。 トナーセーブをチェックした場合、中間調の濃度に対してトナー量を50%セーブして印刷を行います。 イエロー/マゼンタ/シアン/黒の100%濃度に対しては、トナーセーブを行いません。
印刷の向き		印刷する方向を設定します。
印刷形式	部数	印刷する部数を指定します。
	部単位で印刷	複数部数印刷時、プリンタ側で部単位、丁合印刷を行います。
拡大・縮小		拡縮率を設定します。
ウォーターマーク		ウォーターマークを印刷します。
フォント		フォントを設定します。
その他		その他のオプションを設定します。

〔ウォーターマーク〕ダイアログボックス

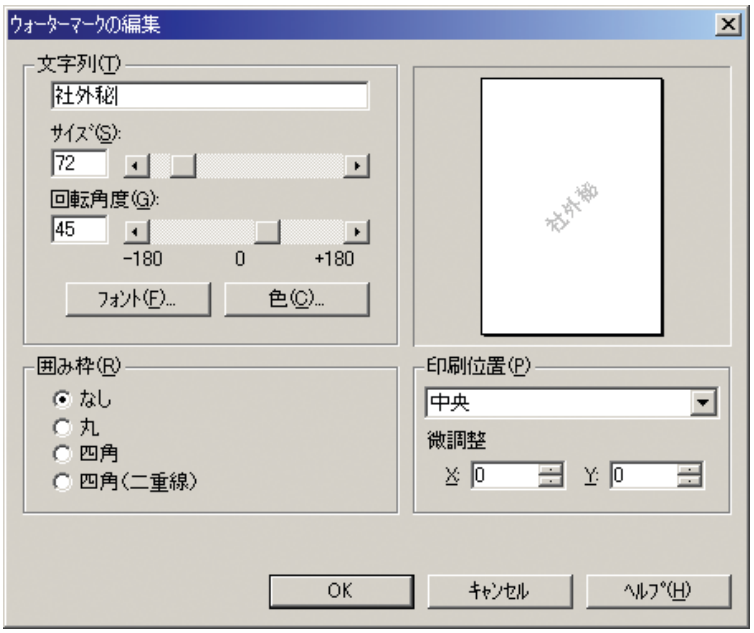
印刷結果にイメージ（ウォーターマーク）を重ね合せる場合に設定します。〔新規〕を選択すると、〔ウォーターマーク〕ダイアログボックスが表示されます。



項　目	内　容
新規	文字列、フォント、スタイルなどを入力し、新規にウォーターマークを作成します。最大で16のウォーターマークを登録することができます。
削除	登録したウォーターマークを削除します。
編集	登録したウォーターマークを編集します。
最初のページのみ付加	チェックすると、印刷する先頭ページのみウォーターマークを付加します。

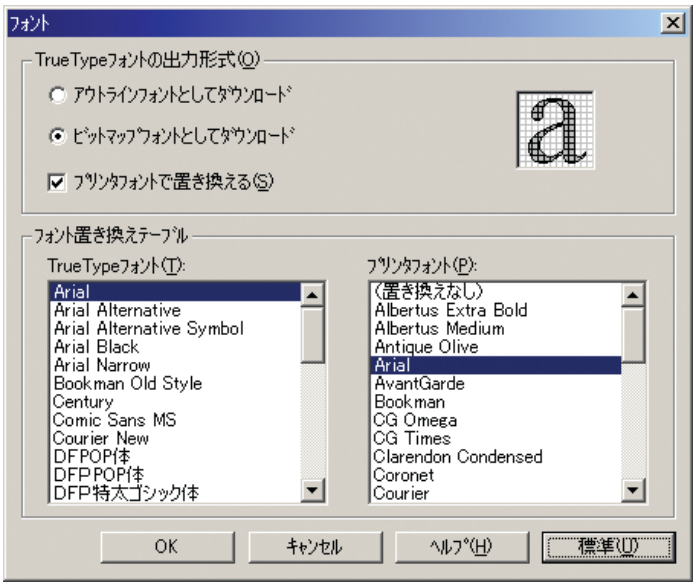
〔ウォーターマークの編集〕ダイアログボックス

ウォーターマークダイアログの〔新規／編集〕をクリックすると表示されます。



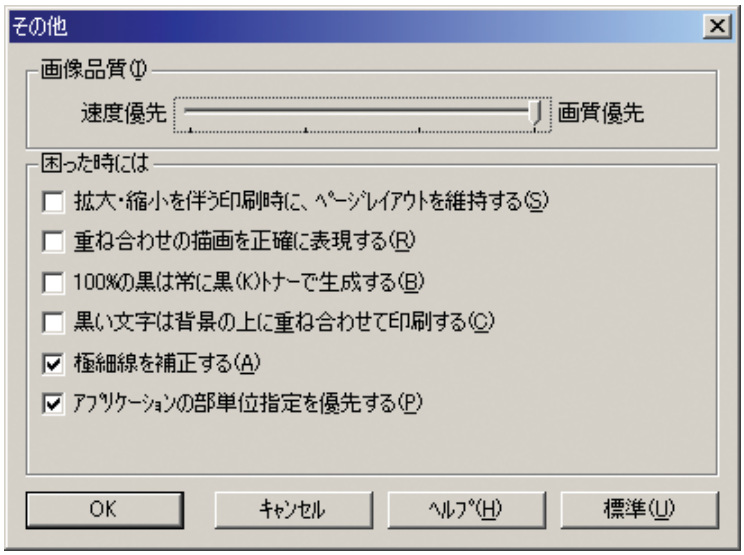
項　目	内　容
文字列	重ね合わせる文字列やそのフォント、スタイル、サイズ、傾き、色を設定します。 「文字列」 重ね合わせる文字列を指定します。 ここで指定した文字列が登録名となります。最高で半角63文字まで指定できます。 「サイズ」 文字列の文字サイズを1～600の範囲で指定します。 「回転角度」 文字列の傾きを0 °～359 °の範囲で指定します。0 °で水平になります。 「フォント」 文字列のフォントを指定します。 「色」 文字列の色を指定します。
囲み枠	ウォーターマークの文字列の囲みについて設定します。
印刷位置	ウォーターマークの印刷位置を指定します。

〔フォント〕ダイアログボックス



項　目		内　容
TrueTypeフォントの出力形式	アウトラインフォントとしてダウンロード	TrueTypeフォントをアウトラインフォントとしてプリンタにダウンロードし、プリンタ内部で展開してフォントイメージを作成します。このため、一般的にはWindowsの負荷が小さくなり、プリンタの負荷が大きくなります。ただし、一部のTrueTypeフォントは、この設定にかかわらずビットマップフォントとしてダウンロードされる場合があります。
	ビットマップフォントとしてダウンロード	TrueTypeフォントをビットマップフォントとしてプリンタにダウンロードします。この場合、Windowsでフォントイメージを作成してプリンタへ送信するため、一般的にはWindowsの負荷が大きくなり、プリンタの負荷が小さくなります。
	プリンタフォントで置き換える	チェックすると、フォント置き換えテーブルが有効になります。
フォント置き換えテーブル	TrueTypeフォント/プリンタフォント	rueTypeフォントに対して置き換えを行うプリンタフォントを設定します。〔TrueTypeフォント〕一覧から選択したフォントを置き換えるプリンタフォントを〔プリンタフォント〕一覧で選択します。プリンタフォントで置き換えるがチェックされている場合のみ有効になります。

〔その他〕ダイアログボックス

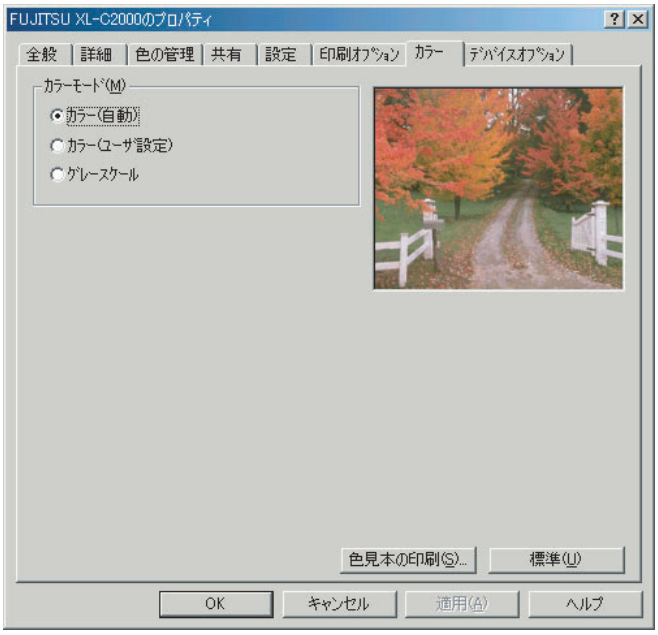


	項　目	内　容
画像品質	速度優先/画質優先	画像の印刷品位を設定します。〔画質優先〕を設定すると、印刷品位はよくなりますが、印刷スピードが遅くなります。
困ったときには	拡大・縮小を伴う印刷時に、ページレイアウトを維持する	〔マルチページ〕、〔用紙サイズ変換〕、〔とじ代〕、〔製本印刷機能〕を使用すると一行に収まる文字数や、ページ内に収まる行数が変化し、ページレイアウトが変わることがあります。本設定をチェックすると、ページレイアウトは変わりません。ただし、図形の塗りパターンが拡大、縮小されることで、印刷結果が変わる場合はあります。
	重ね合わせの描画を正確に表現する	図形などの重ね合わせを描画するデータで、重なり部分が正確に表現されない場合に、本設定をチェックすることで正確に表現できる場合があります。ただし、印刷速度が多少遅くなることがあります。
	100%の黒は常に黒(K)トナーで生成する	〔印刷品質〕タブの〔黒の生成〕で〔自動〕または、〔CMYKトナーで生成〕が指定されている場合、本設定をチェックすると、100%の黒（RGB(0,0,0)）を、黒(K)トナーのみを使用して表現します。

〔カラー〕タブ

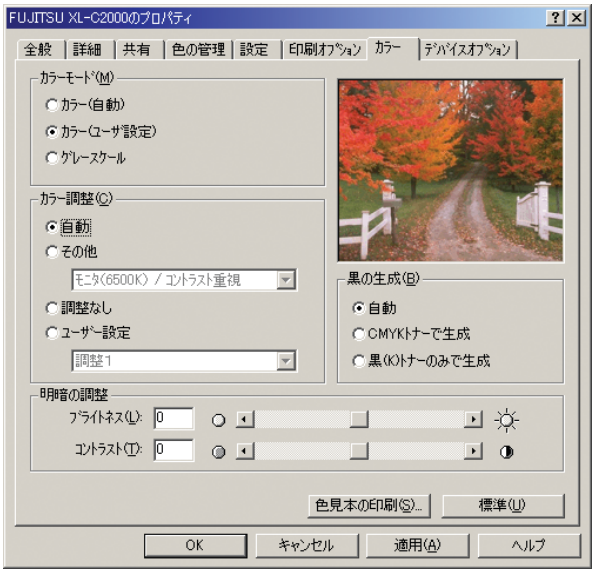
３種類のカラーモードを設定します。

「〔カラー〕タブ（ユーザ設定）」（180ページ）、「〔カラー〕タブ（グレースケール）」（181ページ）を選択すると、明暗（ブライトネス、コントラスト）を調整できるようになります。



〔カラー〕タブ（ユーザ設定）

カラーモードで、〔カラー（ユーザ設定）〕を選択すると表示されます。



項　目		内　容
カラー調整	自動	最適な色で印刷します。
	その他	〔コントラスト重視〕を選択すると、画面で見えている色に近づけます。他に鮮やかさを重視した色、明るめのモニターに最適な色、デジタルカメラに最適な色、SRGBマッチングに最適な色を選択できます。
	調整なし	カラー調整を行いません。ドキュメントで指定されたとおりにプリンタに出力します。表示画面上の色と印刷結果の色が合わない場合があります。
	ユーザー設定*	カラー調整ユーティリティ（カラー調整、ガンマ/色相補正）で登録された項目が選択可能になります。
黒の生成	自動	文書に最適な黒の生成を行います。
	CMYKトナーで生成	黒、グレーをCMYKトナーを使って印刷します。
	黒(K)トナーのみで生成	黒、グレーをKトナーのみを使って印刷します。
明暗の調整		ブライトネス（明暗）、コントラスト（濃淡）の微調整を行います。
色見本の印刷		基本的色見本、または詳細な色見本を印刷します。

*：『XL-C2000オンラインマニュアル』「第6章 カラーデータ印刷時の設定」「カラー調整ユーティリティについて」を参照

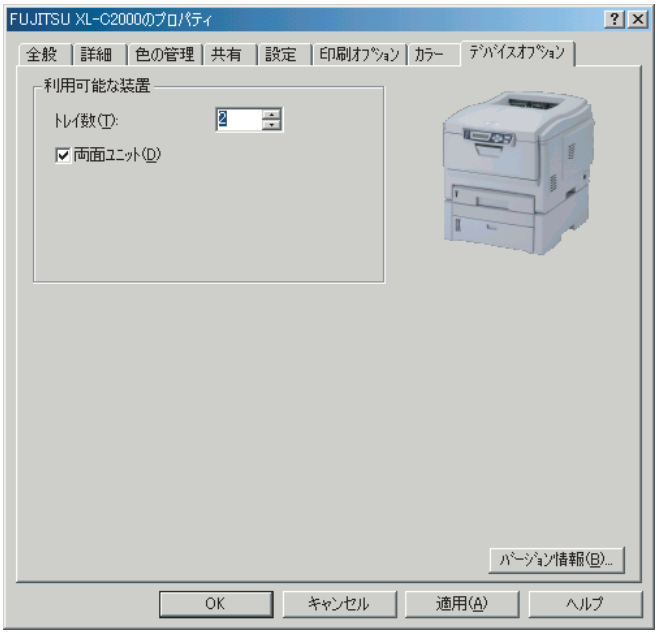
〔カラー〕タブ（グレースケール）

カラーモードで、〔グレースケール〕を選択すると表示されます。
ブライトネス（明暗）、コントラスト（濃淡）の微調整が可能です。

〔デバイスオプション〕タブ

デバイスオプションの設定は、プリンタフォルダから設定するプリンタのプロパティで表示されます。
アプリケーションの印刷設定のプロパティでは表示されません。

ガイド　プリンタフォルダ の〔XL-C2000〕-〔プロパティ〕―〔デバイスオプション〕ー〔バージョン情報〕の順にクリックして表示します。



項　目		内　容
印刷可能な装置	トレイ数	装着されているトレイ数を設定します。
	両面ユニット	チェックすると、両面印刷機能が有効になります。
バージョン情報		〔バージョン情報〕ダイアログボックスが表示され、プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。

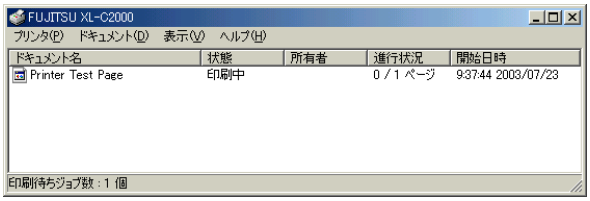
印刷を中止する

印刷を中止するには、まずパソコン側で印刷の指示を取り消します。印刷を取り消すことができなかった場合は、プリンタ側で印刷を取り消します。次の手順にしたがって、ホスト側で印刷の指示を取り消してください。

パソコンから取り消す

印刷指示をパソコンから取り消す方法について説明します。

1. 〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックする（Windows XP/Windows Server 2003の場合は〔スタート〕、〔プリンタとFAX〕の順にクリックする）
2. 該当するプリンタアイコンをダブルクリックする
3. 表示されたウィンドウから、任意のドキュメント名をクリックし、削除（〔Delete〕キーを押す）する



Color Printia LASER Internet Serviceを使って取り消す

Color Printia LASER Internet Serviceを使用して、プリンタに指示した印刷データを取り消すことができます。

詳細は、『XL-C2000オンラインマニュアル』「第5章　Webサーバ機能（Color Printia LASER Internet Service）」を参照してください。

FUJITSU LPRユーティリティを使って取り消す

LPRユーティリティを使用して、プリンタに指示した印刷データを取り消すことができます。

詳細は、『XL-C2000オンラインマニュアル』「第3章　ネットワークソフトウェアの使用」を参照してください。

参照　プリンタ側で印刷を中止するには、「プリンタ側で印刷を中止する」（149ページ）を参照してください。

印刷指示したジョブの状態を確認する

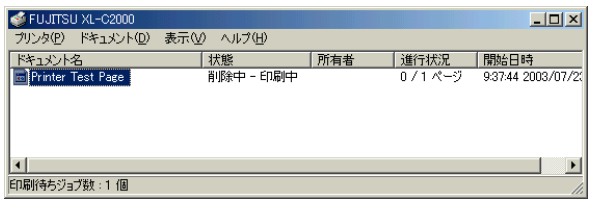
印刷を指示したジョブの処理状況は、パソコンで確認できます。

パソコンで確認する

印刷指示したジョブをパソコンで確認する方法について説明します。

1 **〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックする（Windows XP/Windows Server 2003の場合は〔スタート〕、〔プリンタとFAX〕の順にクリックする）**

2 **該当するプリンタアイコンをダブルクリック（または右クリックしてメニューを表示し、〔開く〕を選択）して状態を確認する**



Color Printia LASER Internet Serviceを使って確認する

Color Printia LASER Internet Serviceを使用して、プリンタに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。

詳細は、『XL-C2000オンラインマニュアル』「第5章　Webサーバ機能（Color Printia LASER Internet Service）」を参照してください。

FUJITSU LPRユーティリティを使って確認する

LPRユーティリティを使用して、プリンタに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。

詳細は、『XL-C2000オンラインマニュアル』「第3章　ネットワークソフトウェアの使用」を参照してください。

特殊な用紙に印刷する

特殊な用紙に印刷する方法を説明します。以下の用紙に印刷できます。

- はがき/往復はがき(121～200g/㎡)
- ごく厚い紙(121～200g/㎡)
- OHPフィルム
- ラベル紙(0.1～0.2mm厚)
- 長尺紙（106～200g/㎡)
- 薬袋
- ユーザ定義の用紙種類

特殊な用紙に印刷する場合は、マルチパーパストレイを使用します。ここでは、Windows Meのワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

印刷面を上に向けて排出する（フェイスアップスタッカ）

印刷面を上にして印刷するために、フェイスアップスタッカを引き出し、用紙サポータを開きます。

参照　「用紙の排出面を切り替える」（108ページ）を参照

ガイド

- プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- マルチパーパストレイの使いかたについては、「マルチパーパス（手差し）トレイに用紙をセットする」（104ページ）を参照してください。

1 **マルチパーパストレイに特殊な用紙をセットする**

2 **ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕をクリックする**

3 **〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする**

4 **〔設定〕タブをクリックする**

5 〔サイズ〕から使用する用紙を選択する

6 〔給紙方法〕から〔マルチパーパストレイ〕を指定する

7 〔用紙種類〕から用紙の種類を選択する

8 〔OK〕をクリックし、印刷を実行する

はがきに印刷する

マルチパーパストレイに官製はがきをセットします。
特殊な用紙に印刷する手順に従ってプロパティを開き、〔設定〕タブをクリックします。
〔サイズ〕で〔はがき〕、〔給紙方法〕で〔マルチパーパストレイ〕、〔用紙種類〕で〔ごく厚い紙〕を選択し印刷を行います。

OHPフィルムに印刷する

マルチパーパストレイにOHPフィルムをセットします。
特殊な用紙に印刷する手順に従ってプロパティを開き、〔設定〕タブをクリックします。
〔サイズ〕で〔A4〕、〔給紙方法〕で〔マルチパーパストレイ〕、〔用紙種類〕で〔OHPフィルム〕を選択し印刷を行います。

お願い

- **排出されたOHPフィルムが排出トレイに多数重なると、静電気が発生し、紙づまりになることがあります。排出されるたびに、取り除いてください。**
- **紙づまりの原因となりますので、一度排出されたOHPフィルムは再使用しないでください。**

不定形（ユーザ定義）用紙に印刷する

不定形サイズの用紙に印刷する方法について説明します。不定形用紙に印刷するには、まずプリンタドライバに不定形サイズの設定/登録をします。
〔設定〕タブで不定形サイズをユーザ定義サイズとして設定/登録すると、用紙サイズ、不定形サイズの選択ができるようになります。
用紙サイズの単位設定がミリの場合は、幅64～215.9mm、長さ148～1200mmの範囲で0.1mm刻みに、インチの場合は、幅2.52～8.5インチ、長さ5.83～47.24インチの範囲で0.01インチ刻みにサイズを指定できます。

標準のユーザ定義サイズを設定する

ユーザ定義サイズを設定する場合は、〔ユーザ定義サイズの設定〕ダイアログボックス内で行います。

1 〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕を選択する（Windows XP/Windows Server 2003では〔スタート〕、〔プリンタとFAX〕の順にクリックする）

2 プロパティを開く

Windows 95/98/Meの場合
　プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、〔プロパティ〕を選択します。
Windows NT4.0の場合
　プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、〔ドキュメントの既定値〕を選択します。
Windows 2000/XP/Widows Server 2003の場合
　プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、〔印刷設定〕を選択します。

3 〔設定〕タブの〔サイズ〕で〔ユーザ定義サイズ〕を選択する

4 〔幅〕、〔長さ〕、〔単位〕を入力し、〔OK〕をクリックする

不定形用紙を追加登録する

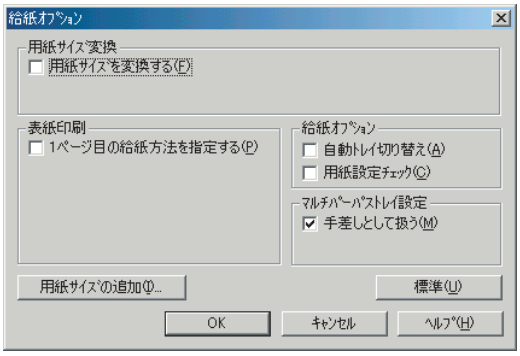
ユーザ定義サイズの用紙を追加登録する場合は、〔ユーザ定義の用紙〕ダイアログボックス内で行います。最大32種類まで登録できます。

1 **〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕を選択する（Windows XP/Windows Server 2003では〔スタート〕、〔プリンタとFAX〕の順にクリックする）**

2 **〔設定〕タブをクリックする**

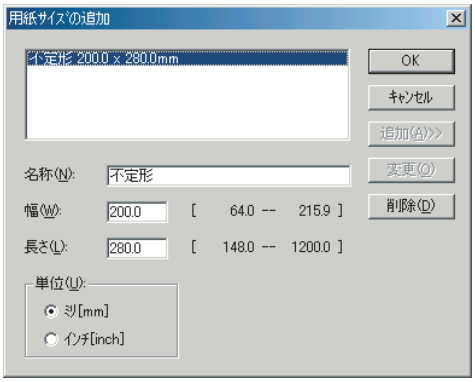
3 **〔オプション〕ボタンをクリックする**

〔給紙オプション〕ダイアログボックスが表示されます。



4 **〔用紙サイズの追加〕ボタンをクリックする**

〔用紙サイズの追加〕ダイアログボックスが表示されます。



5 新規に用紙サイズを追加登録する

6 幅と長さを指定する

幅は64.0mm～215.9mm、長さは148.0mm～1200.0mmの範囲で任意に設定できます。

7 用紙名を〔名称〕に入力する

用紙名の最大文字数は半角で12文字、全半角6文字まで入力できます。

8 〔追加〕ボタンをクリックする

9 必要に応じて手順 6 ～ 8 を繰り返して、用紙サイズを定義し、〔OK〕をクリックする

10 〔設定〕タブで、〔OK〕をクリックする

ここで追加設定された用紙は、用紙サイズリストの最後尾に追加されます。

項目を設定し、印刷を行う

不定形サイズの用紙に印刷する方法を説明します。
ここでは、Windows Meのワードパッドを例に説明します。その他のOSでも手順は同様です。

ガイド　プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 **不定形サイズの用紙をマルチパーパストレイにセットする**

2 **アプリケーションの〔ファイル〕メニューの〔印刷〕をクリックする**

3 **〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする**

4 **〔設定〕タブの〔サイズ〕で使用する不定形サイズの用紙を選択する**

5 **必要な項目を選択し、〔OK〕をクリックする**

第11章
こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。

メッセージが表示されるとき 194
動作状態に関するメッセージ 194
ワーニングに関するメッセージ 196
エラーに関するメッセージ 198
サービスコールエラーに関するメッセージ 203
紙づまりになったとき 204
紙づまり（ジャム）発生場所とエラーコード 204
フロントカバー部（コード：372、380、390、391*、400）でつまった用紙を取り除く 205
用紙排出部（コード：382）でつまった用紙を取り除く 206
定着器ユニット部（コード：381、382、383）でつまった用紙を取り除く 207
両面ユニット部（オプション）（コード：370、371、373）でつまった用紙を取り除く 212
拡張給紙ユニット部（オプション）（コード：391*、392）でつまった用紙を取り除く 213
印刷品質が低下したとき 214
用紙に異常がでたとき 218
故障かなと思ったとき 221
印刷ができないとき 223
カラーレス印刷を行う 227
HEX（ヘキサ）ダンプ印刷を設定する 229
TCP/IP(lpr)の注意と制限 231
設定について 231
印刷するとき 231
給紙トレイの自動選択および自動切り替えを行う 232
給紙トレイの自動選択を行う 233
給紙トレイの自動切り替えを行う 233

メッセージが表示されるとき

異常が発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。ここで説明する処置をしても良くならない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、「ハードウェア修理相談センター」（252ページ）へご連絡ください。

ttttt　：トレイ1　：給紙カセット
　　トレイ2　：拡張給紙カセット（オプション）
　　MPトレイ：マルチパーパストレイ
mmmm　：用紙サイズ
yyyy　：オンライン：オンライン状態
　　オフライン：オフライン状態

動作状態に関するメッセージ

（□は上段に別表示があることを意味する）

オペレータパネル表示	〔オンライン〕ランプ	〔エラー〕ランプ	内容
ｲﾆｼｬﾙﾁｭｳ	消灯	消灯	プリンタの初期化中です。フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源を切らないでください。
ｻｲｷﾄﾞｳﾁｭｳ　d	消灯	消灯	再起動中です。dは1ケタの数値で、再起動の要因を示します。 d=0　下記以外の原因による再起動 =1　制御コマンドによる再起動 =2　メニュー変更に伴う再起動 =3,4　Internet Serviceの操作による再起動
RAM ﾁｪｯｸﾁｭｳ **********	消灯	消灯	RAMチェック中です。
ｵﾝﾗｲﾝ ttttt	点灯	不定	オンラインです。
ｵﾌﾗｲﾝ ttttt	消灯	不定	オフラインです。
ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ ttttt	不定	不定	データ受信中です。
ｼｮﾘﾁｭｳ	点滅	不定	データを受信中または受信したデータを処理しています。
ﾃﾞｰﾀ ｱﾘ ttttt	不定	不定	受信したデータが残っています。次に送られてくるデータを待っています。

オペレータパネル表示	〔オンライン〕ランプ	〔エラー〕ランプ	内容
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ ttttt	不定	不定	印刷しています。
ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	設定内容の一覧を印刷中です。
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ	点滅	不定	印刷中にキャンセルボタンが押され、残りのジョブデータを受信後、削除します。
ﾌｫﾝﾄ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	フォントを印刷中です。
ﾃｽﾄ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	テストパターンを印刷中です。
ｴﾗｰﾛｸﾞ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	エラーログ情報を印刷中です。電源を入れた後に発生したエラーログを最大３２個まで保存し、印刷します。
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ	点滅	不定	データ受信中に〔リセット〕スイッチが押されました。ジョブをキャンセルするために受信データをクリアします。
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ (ｶﾐﾂﾞﾏﾘ)	点滅	不定	「システムコウセイメニュー」でジャムリカバリをオフに設定しているときに紙づまりが発生した場合、ジョブをキャンセルするためにデータを受信し、削除します。
□ ﾁｮｳｱｲ　iii/jjj	不定	不定	丁合印刷中です。iiiは印刷中の部設定を、jjjは印刷する総部数を示します。１部の時は通常の印刷表示となります。
□ ｺﾋﾟｰ　kkk/lll	不定	不定	コピー印刷中です。kkkは印刷中の枚数、lllは総印刷枚数を示します。コピー枚数が１枚の場合は通常の印刷表示となります。
□ ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ	不定	不定	ウォーミングアップ動作中です。
□ ｵﾝﾄﾞ ﾁｮｳｾｲﾁｭｳ	不定	不定	ドラムが高温になっているため、しばらく印刷を停止しています。
□ ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	不定	不定	省電力モード中です。
□ ｶﾗｰ ﾁｮｳｾｲﾁｭｳ	不定	不定	自動色ずれ調整中です。
□ ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲﾁｭｳ	不定	不定	自動濃度補正または自動階調補正中です。
ﾈｯﾄﾜｰｸ ｼｮｷｶﾁｭｳ ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	不定	不定	ネットワークの設定を初期化中です。
ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ ｶｷｺﾐﾁｭｳ	点灯	点滅	ネットワークの設定項目が更新されたときに、その内容を保存しています。
ｶﾗｰﾍﾟｰｼﾞﾖ ｼﾞｭｼﾝｼﾏｼﾀ ﾘｾｯﾄﾖ ｵｼﾃ ｼﾞｮﾌﾞﾖ ｷｬﾝｾﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	カラーレスモードを有効にした状態でカラー印刷データを受信した場合、それ以降のジョブをキャンセルするために表示します。

オペレータパネル表示	〔オンライン〕ランプ	〔エラー〕ランプ	内容
ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙﾜ ｼﾏｽｶ ? Y=ｾｯﾃｲ/N=ﾘｾｯﾄ	不定	点滅	ジョブをキャンセルする場合は、〔設定〕スイッチを押してください。また、印刷を継続、またはカラーデータを強制的にモノクロで印刷する場合は、〔リセット〕スイッチを押してください。
ﾓｰﾄﾞ ﾍﾝｺｳ ｶﾝﾘｮｳ ﾃﾞﾝｹﾞﾝ ｵﾌｵﾝ	消灯	消灯	カラーレスモードの設定変更を行い、〔オンライン〕スイッチを押すと本メッセージが表示されます。
ﾓｰﾄﾞ ﾍﾝｺｳ	消灯	消灯	カラーレスモードの変更を行っています。

ワーニングに関するメッセージ

印刷可能なメッセージです。メッセージによってはそのまま使用すると故障の原因になる場合がありますので、内容に従って対処してください。

オペレータパネル表示	〔オンライン〕ランプ	〔エラー〕ランプ	内容
□ ｿｳﾁ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	不定	本製品の寿命です。新しい製品と交換してください。
****[*1] ﾄﾅｰ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	****部に表示された色のトナー残量が少なくなっています。新しいトナーカートリッジを準備してください。このメッセージは、廃棄トナーがいっぱいになりかけているときにも表示されます。 〔トナー ナシ〕と表示された場合はプリンタが停止します。早急に新しいトナーに交換してください。
**[*2] ﾄﾅｰｺｳｶﾝ	不定	点灯	**部に表示された色（M/C）のカートリッジの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーカートリッジを交換してください。このまま使い続けると感光ドラムの故障の原因になります。
****[*1] ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	ドラムカートリッジの寿命が近づいています。****部に表示された色のドラムカートリッジを準備してください。
****[*1] ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	****部に表示された色のトナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとドラムカートリッジの故障の原因になります。 トナーが完全になくなったため、プリンタが停止します。黒トナーが残っている場合は、カラーレスモードによりモノクロ印刷が可能です。（227ページ参照）

オペレータパネル表示	〔オンライン〕ランプ	〔エラー〕ランプ	内容
****[*1] ﾄﾞﾗﾑ ｺｳｶﾝ	不定	点灯	**** 部に表示された色のドラムカートリッジの寿命です。新しいドラムカートリッジを入れてください。 トップカバーを開閉すると一時的にメッセージが解除されます。
□ ﾒﾓﾘ ﾌｿｸ (ﾌﾞﾀﾝｲ)	不定	消灯	丁合印刷のためのメモリが不足しています。指定された部数ではなく、1部のみ印刷されます。〔オンライン〕スイッチ以外は無効です。〔オンライン〕スイッチを押して表示を消してください。
mmmmﾖ MPﾄﾚｲﾆ ｾｯﾄｼﾃ ｵﾝﾗｲﾝﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	点灯	消灯	手差し印刷を行います。mmmmに表示されているサイズの用紙をマルチパーパストレイに入れて、〔オンライン〕スイッチを押してください。
ｵﾝﾗｲﾝ ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ﾑｺｳ ﾃﾞｰﾀ ｼﾞｭｼﾝ	不定	不定	無効データ受信時にオンラインスイッチを押して、ワーニング表示の解除を促します。
ttttt ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	不定	点灯	トレイ1/2またはMPトレイの用紙がなくなった、またはトレイが抜かれています。用紙を入れてください。
□ ﾃｲﾁｬｸｷ ｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	定着器ユニット（定期交換部品）の寿命が近づいています。保守担当窓口またはハードウェア修理相談センター（252ページ）に連絡してください。
□ ﾍﾞﾙﾄ ｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	ベルトユニット（定期交換部品）の寿命が近づいています。保守担当窓口またはハードウェア修理相談センター（252ページ）に連絡してください。
□ ﾃｲﾁｬｸｷ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	定着器の寿命です。印刷品質が保証できません。新しい定着器に交換してください。 トップカバーを開閉すると一時的にメッセージが解除されます。
□ ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	ベルトの寿命です。印刷品質が保証できません。新しいベルトに交換してください。 トップカバーを開閉すると一時的にメッセージが解除されます。

*1：*は左づめでK/Y/M/C/色の順番に一括表示されます。
*2：*は左づめでY/M/C/色の順番に一括表示されます。

エラーに関するメッセージ

プリンタが停止するメッセージです。内容に従って対処してください。

コード nnn	オペレータパネル表示	〔オンライン〕 ランプ	〔エラー〕 ランプ	内容
126	126：ｹﾂﾛ ｴﾗｰ ﾃﾞﾝｹﾞﾝヲ ｷﾘ ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	結露エラーが発生しています。しばらく待って電源を入れてください。
181	181：ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄ ﾂｳｼﾝｴﾗｰ ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄヲ ｶｸﾆﾝｺﾞ ﾃﾞﾝｹﾞﾝｵﾌｵﾝ	消灯	点滅	オプションの両面ユニットを取り付け直してください。*1
182	182：ｶｸﾁｮｳｷｭｳｼﾕﾆｯﾄ ﾂｳｼﾝｴﾗｰ ｶｸﾁｮｳｷｭｳｼﾕﾆｯﾄヲ ｶｸﾆﾝｺﾞ ﾃﾞﾝｹﾞﾝｵﾌｵﾝ	消灯	点滅	オプションの拡張給紙ユニットを取り付け直してください。
310	310：ﾄｯﾌﾟ/ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ｶﾊﾞｰヲ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	トップカバーまたはフロントカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
316	316：ﾘｮｳﾒﾝ ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ｶﾊﾞｰヲ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	両面ユニットカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
320	320：ﾃｲﾁｬｸｷ ﾐｿｳﾁｬｸ ﾃｲﾁｬｸｷヲ ﾀﾀﾞｼｸｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	定着器ユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
330	330：ﾍﾞﾙﾄ ﾐｿｳﾁｬｸ ﾍﾞﾙﾄヲ ﾀﾀﾞｼｸｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	ベルトユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
340 341 342	nnn*2:***3 ﾄﾞﾗﾑ ﾐｿｳﾁｬｸ ﾄﾞﾗﾑヲ ﾀﾀﾞｼｸｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	Y/M/C色のドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。エラー対象となったドラムカートリッジを取り付け直してください。
343	343：Kﾄﾞﾗﾑ ﾐｿｳﾁｬｸ ﾍﾞﾙﾄ ﾛｯｸ/ﾄﾞﾗﾑ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	ベルトのロックが外れているか、ブラックドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。ベルトのロックを確認し、ブラックドラムカートリッジを取り付け直してください。
350 351 352 353	nnn*4:****5 ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ ﾄﾞﾗﾑヲ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	ドラムカートリッジの寿命です。新しいドラムカートリッジを入れてください。

コード nnn	オペレータパネル表示	〔オンライン〕 ランプ	〔エラー〕 ランプ	内容
354	354：ﾃｲﾁｬｸｷ ｼﾞｭﾐｮｳ ﾃｲﾁｬｸｷﾉ ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	消灯	点滅	定着器ユニットの交換時期です。ご購入元へご連絡ください。
355	355：ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ ﾍﾞﾙﾄﾉ ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	消灯	点滅	ベルトユニットの交換時期です。ご購入元へご連絡ください。
356	356：ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ ﾍﾞﾙﾄﾉ ｺｳｶﾝｶﾞ ﾋﾂﾖｳﾃﾞｽ	消灯	点滅	廃棄トナーがいっぱいとなり、ベルト寿命となりました。ご購入元へご連絡ください。
360	360：ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄ ﾐｿｳﾁｬｸ ﾘｮｳﾒﾝ ﾕﾆｯﾄﾖｳ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	両面ユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
370	370：ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾘｮｳﾒﾝ ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄﾉ ﾖｳｼﾖ ｼﾞｮｷｮｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	両面ユニット付近で紙づまりが発生しました。両面ユニットカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。奥の方に用紙があります
371	371：ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾘｮｳﾒﾝ ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄﾉ ﾖｳｼﾖ ｼﾞｮｷｮｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	両面ユニット付近で紙づまりが発生しました。両面ユニットカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。中央付近に用紙があります。
372	372：ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾘｮｳﾒﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰﾖ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	両面ユニット付近で紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。手前の方に用紙があります。
373	373：ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾘｮｳﾒﾝ ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄﾉ ﾖｳｼﾖ ｼﾞｮｷｮｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	両面ユニット付近で紙づまりが発生しました。両面ユニットカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。奥の方に用紙があります。
380	380：ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰﾖ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
381	381：ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾅｲﾌﾞ ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰﾖ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。ドラムの下に用紙があります。

コード nnn	オペレータパネル表示	〔オンライン〕 ランプ	〔エラー〕 ランプ	内容
382	382：ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾊｲｼﾌﾞ ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰﾖ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着器付近に用紙があります。
383	383：ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾅｲﾌﾞ ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰﾖ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着器から両面ユニット入口付近に用紙があります。
389	389：ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾅｲﾌﾞ ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰﾖ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	場所を特定できない紙づまりが発生しました。トップカバーまたはフロントカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
390	390：ｶﾐﾂﾞﾏﾘ MPﾄﾚｲ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰﾖ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	マルチパーパストレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。
391	391：ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾄﾚｲ1 ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰﾖ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	トレイ1からの給紙中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。
392	392：ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾄﾚｲ2 ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰﾖ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	トレイ2からの給紙中に紙づまりが発生しました。給紙カセットを抜き、つまった用紙を取り除いてください。用紙除去後、フロントカバーを開閉してください。
400	400：ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｴﾗｰ ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼﾖｶｸﾆﾝｺﾞ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰﾖ ｶｲﾍｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	用紙サイズが違っています。フロントカバーを開けて用紙を取り除き、正しいサイズの用紙を入れてください。
410 411 412 413	nnn[*6]：****[*5] ﾄﾅｰ ﾅｼ ﾄﾅｰﾖ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	対象トナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けると、ドラムカートリッジの故障の原因になります。

コード nnn	オペレータパネル表示	〔オンライン〕 ランプ	〔エラー〕 ランプ	内容
415 416	nnn*7：**8 ﾊｲﾄﾅｰ ﾌﾙ ﾄﾅｰﾖ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	廃棄トナーがいっぱいになりました。対象色のトナーカートリッジを交換してください。
	*9 ﾄﾅｰﾖ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ？ Y=ｾｯﾃｲ/N=ﾘｾｯﾄ	消灯	点滅	廃棄トナーがいっぱいになった状態で、トップカバーを開閉すると表示されます。対象色のトナーカートリッジを交換した場合は〔設定〕スイッチを、交換していなければ〔リセット〕スイッチを押してください。
420	420：ﾒﾓﾘ ｵｰﾊﾞﾌﾛｰ ﾒﾓﾘﾖ ﾂｲｶｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	メモリ不足です。〔オンライン〕スイッチを押してください。必要に応じて増設メモリをお買い求めください。
430	430：ﾄﾚｲ1 ﾐｿｳﾁｬｸ ﾄﾚｲ1ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	トレイ1のカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
440	440：ﾄﾚｲ1 ﾐｿｳﾁｬｸ ﾄﾚｲ1ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	トレイ2から印刷しようとしたが、走行路にあたるトレイ1のカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
461	461:ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ ﾌｲｯﾁ ﾘｾｯﾄﾖ ｵｼﾃ ｼﾞｮﾌﾞﾖ ｷｬﾝｾﾙｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	トレイ1の用紙のサイズが違います。リセットスイッチを長押ししてジョブをキャンセルするか、印刷指定の用紙をセットして〔オンライン〕スイッチを押してください。
462	462:ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ ﾌｲｯﾁ ﾘｾｯﾄﾖ ｵｼﾃ ｼﾞｮﾌﾞﾖ ｷｬﾝｾﾙｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	トレイ2の用紙のサイズが違います。リセットスイッチを長押ししてジョブをキャンセルするか、印刷指定の用紙をセットして〔オンライン〕スイッチを押してください。
490	490：MPﾄﾚｲ ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ sss*10ﾖ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	マルチパーパストレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙をセットして〔オンライン〕スイッチを押してください。
491	491：ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ sss*10ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	トレイ1に用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。

コード nnn	オペレータパネル表示	〔オンライン〕 ランプ	〔エラー〕 ランプ	内容
492	492：ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼ ｶﾞｱﾘﾏｾﾝ sss*10ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	トレイ2に用紙がありません。またはトレイ2から印刷しようとしましたが、トレイ2のカセットが抜かれていて給紙できません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
540 541 542 543	nnn*11：****5 ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ ﾅｼ ｶｰﾄﾘｯｼﾞ/ﾚﾊﾞｰ ｶｸﾆﾝ	消灯	点滅	トナーセンサに異常が発生しています。対象のトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。トップカバーの開閉でメッセージが消える場合はそのまま使用してください。

*1： 紙づまり発生時以外は、電源が入っている状態で両面ユニットを抜かないでください。
*2： nnnは340(Y)/341(M)/342(C)で周期的に切り替え表示されます。
*3： *は左づめでY/M/Cの順番で同時に表示されます。
*4： nnn は 350(Y)/351(M)/352(C)/353(K) で周期的に切り替え表示されます。
*5： *は左づめでK/Y/M/Cの順番で同時に表示されます。
*6： nnnは410(Y)/411(M)/412(C)/413(K)で周期的に切り替え表示されます。
*7： nnnは414(Y)/415(M)/416(C)で周期的に切り替え表示されます。
*8： *は左づめでM/Cの順番で同時に表示されます。
*9： *はY/M/Cが個別に表示されます。
*10：sssは用紙サイズが表示されます。
*11：nnnは540(Y)/541(M)/542(C)/543(K)で周期的に切り替え表示されます。

サービスコールエラーに関するメッセージ

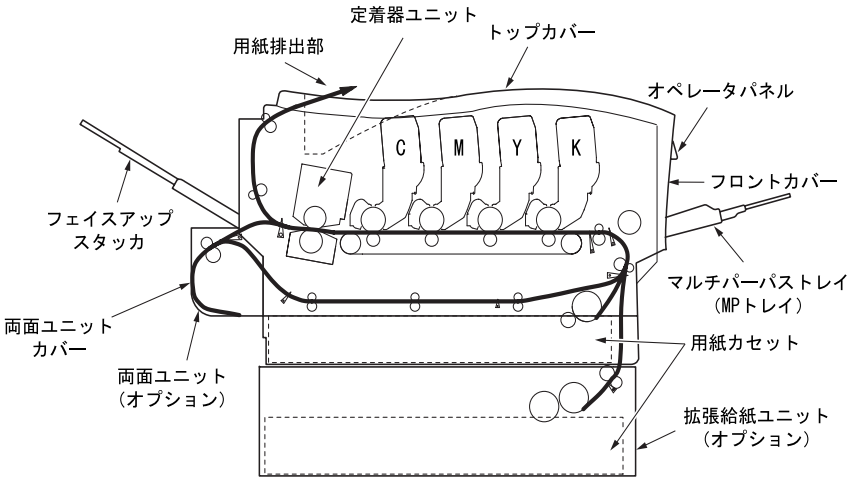
プリンタの異常を示すメッセージです。ハードウェア修理相談センター（252ページ）へご連絡ください。

コード nnn	オペレータパネル表示	〔オンライン〕 ランプ	〔エラー〕 ランプ	内容
***	nnn: ｴﾗｰ ﾌﾟﾘﾝﾀﾉ ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦ ｵﾌｵﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	消灯	点滅	プリンタに異常が発生しています。電源をオフ/オンしてください。復旧しない場合は、ハードウェア修理相談センターへご連絡ください。エラーコードが031/035の場合は、下記の処置も行ってください。
	nnn: ｴﾗｰ ｻｰﾋﾞｽ ｺｰﾙ* aaaaaa bbbbbb cccccc	消灯	点灯	
031 035	nnn：ｴﾗｰ ｻｰﾋﾞｽ ｺｰﾙ* aaaaaa bbbbbb cccccc	消灯	点灯	拡張メモリチェックエラーです。拡張メモリを取り付け直してください。オプションの拡張メモリは純正品を使用してください。

*：エラーランプが点灯します。

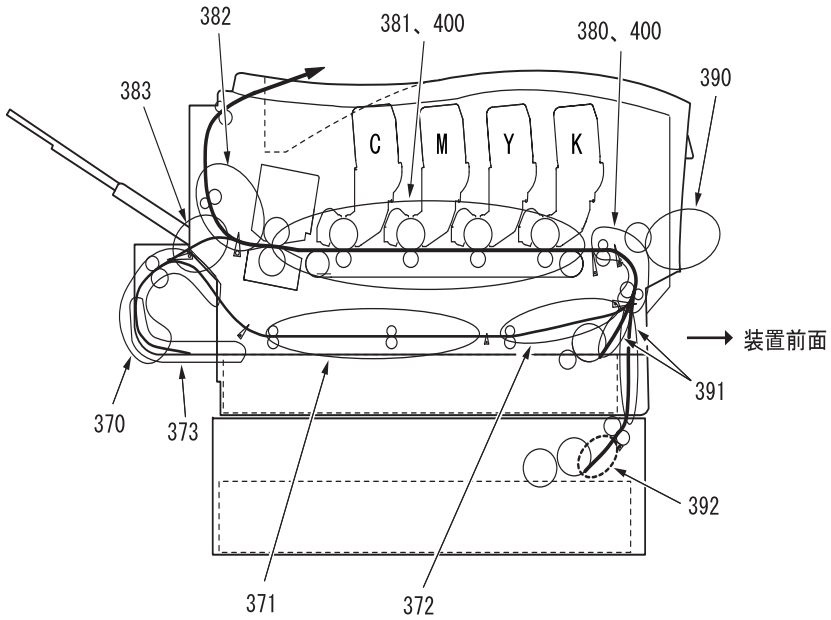
紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとオペレータパネルに〔ヨウシ　ジャム〕メッセージが表示されます。次の手順でつまった用紙を取り除いてください。



紙づまり（ジャム）発生場所とエラーコード

紙づまりの場所がエラーコードで表示されるので、場所を確認します。

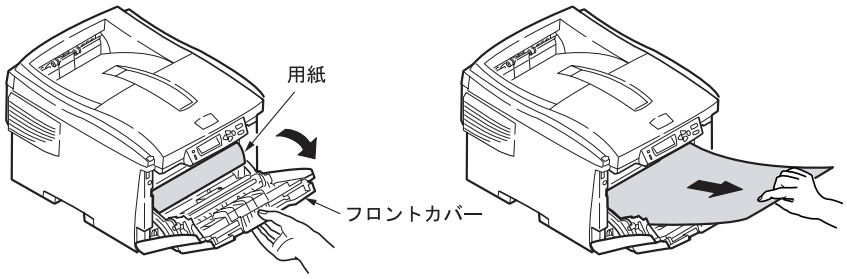


フロントカバー部（コード：372、380、390、391*、400）でつまった用紙を取り除く

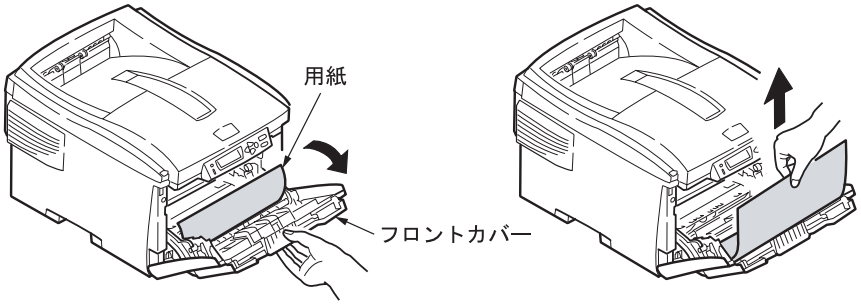
フロントカバーを開け、用紙の先端および後端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。

：「拡張給紙ユニット部（オプション）（コード：391、392）でつまった用紙を取り除く」（213ページ）も参照してください。

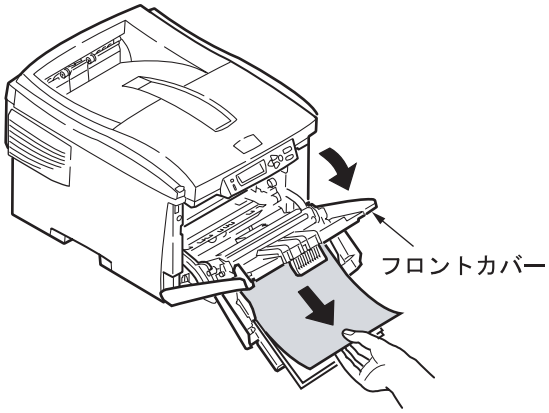
【後端が見える場合】



【先端が見える場合】



【先端が見えない場合】



用紙排出部（コード：382）でつまった用紙を取り除く

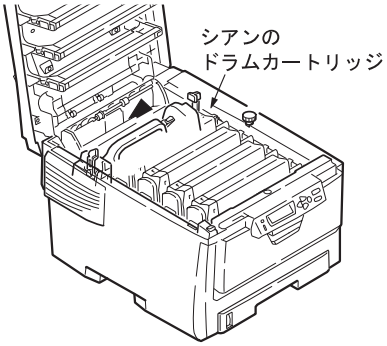
排出口から用紙をゆっくり引き出します。

お願い

用紙排出部でつまった場合でも、トップカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。無理に後ろに引き出すと定着器ユニットを傷めるおそれがあります。

【トップカバーの内部に用紙が見える場合】

シアンのドラムカートリッジを取り出し、定着器ユニットの付近に用紙がある場合は、「定着器ユニット部」の手順に従って用紙を引き出します。

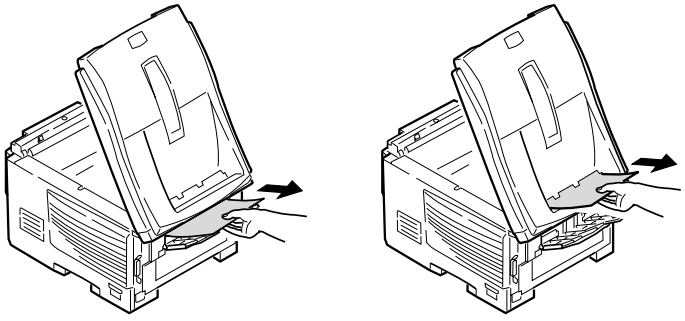


【トップカバーの内部に用紙が見えない場合】

排出口から用紙をゆっくり引き出します。

お願い

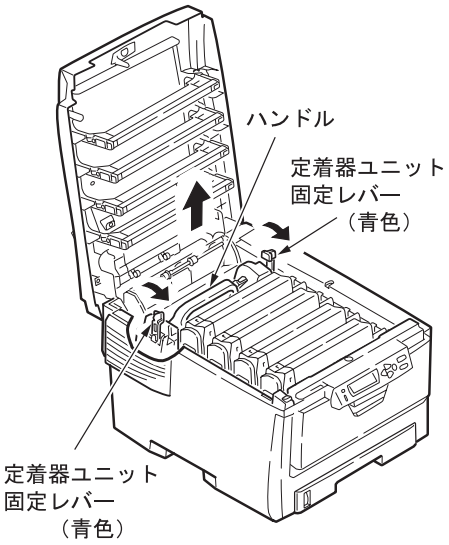
無理に用紙を引き出すと、定着器ユニット部に紙片が残る場合があります。「定着器ユニット部」の手順に従って用紙を引き出せないか確認してください。



定着器ユニット部（コード：381、382、383）でつまった用紙を取り除く

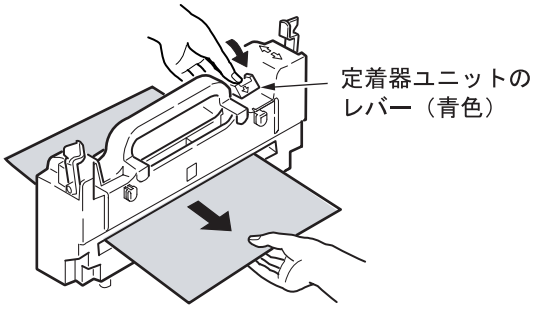
⚠ 注意	やけど　やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないように十分注意してください。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

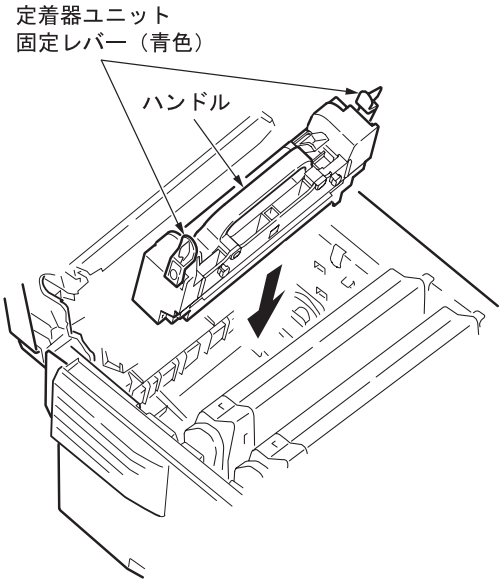


1 **定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ起こす**

2 **ハンドルを持ち定着器ユニットを取り出し、平らなテーブルの上に置く**



3 **定着器ユニットのレバー（青色）を矢印の方向に押しながら、つまった用紙を必ず矢印方向（手前方向）へゆっくり引き出す**

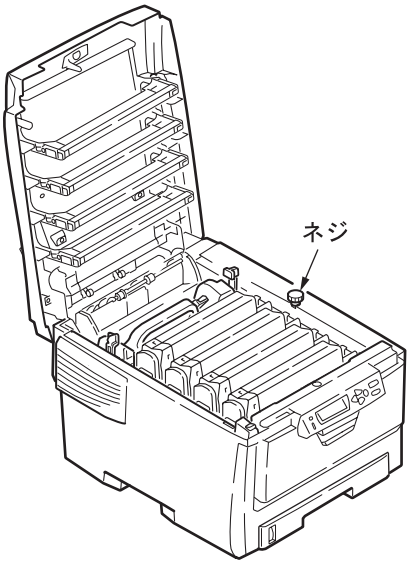


4 **ハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに戻す**

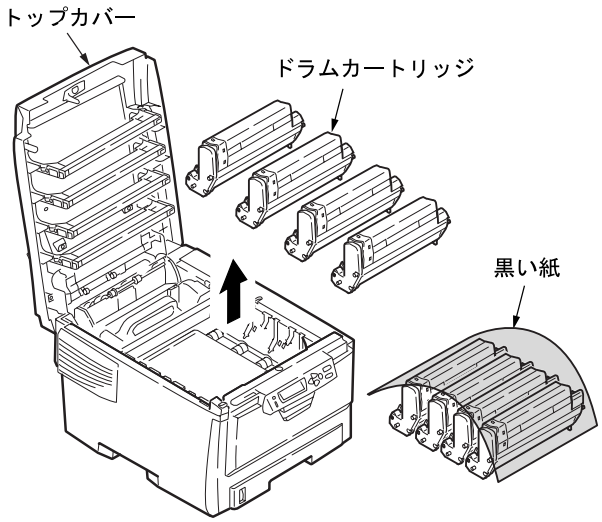
5 **定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を奥側に倒し、固定する**

ガイド　定着器ユニット部のつまった用紙を取り除いた後は、定着器ユニット内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、設定内容一覧、白紙等を数回印刷してください。

つまった用紙を取り除いても紙づまりエラーが解除されない場合は、以下の手順で他のつまった用紙を取り除きます。



1 **ネジに手を触れて静電気を逃がす**



2 **ドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置く**

3 **取り出したドラムカートリッジに黒い紙をかぶせる**

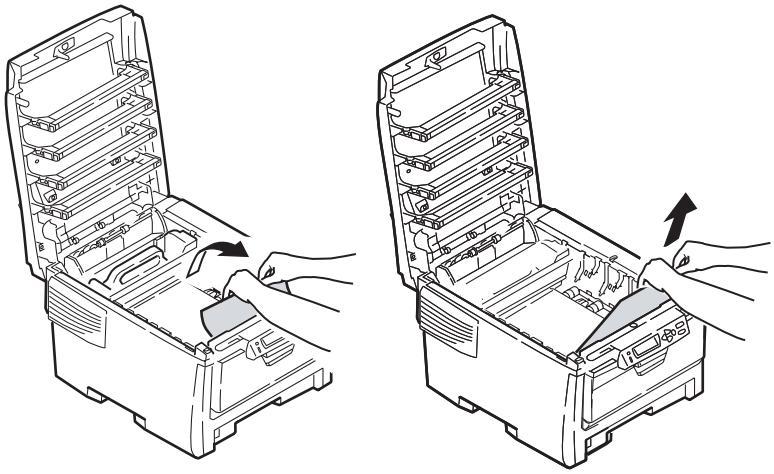
お願い

- **感光ドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。**
- **ドラムカートリッジは直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5分間以上は放置しないでください。**

4 **つまっている用紙をゆっくり引き出す**

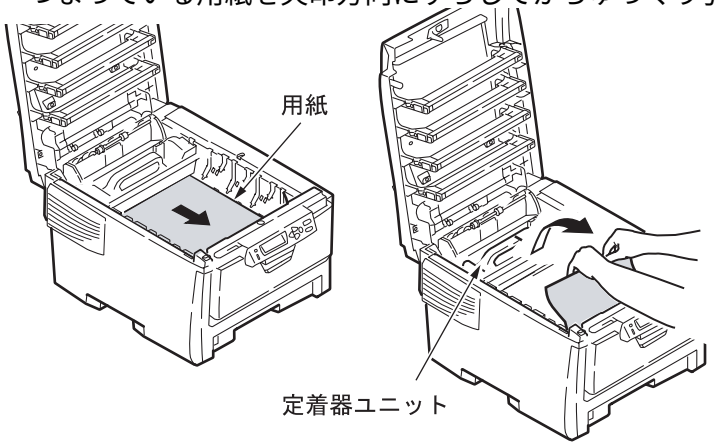
【用紙先端が見えている場合】

プリンタ内部へゆっくり引き出します。



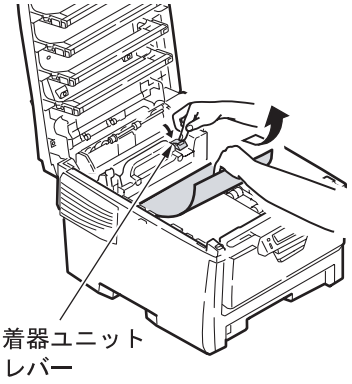
【用紙の先端も後端も見えない場合】

つまっている用紙を矢印方向にずらしてからゆっくり引き出します。

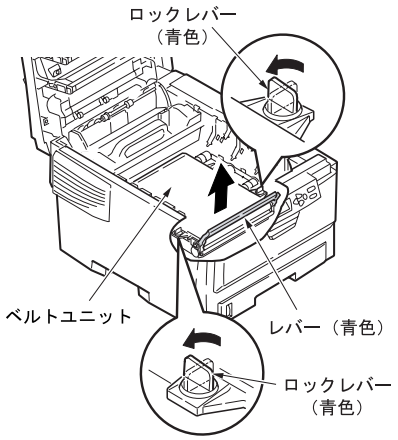


【用紙の後端が見えている場合】

定着器ユニットのレバーを矢印方向に押しながらつまっている用紙をゆっくり引き出します。

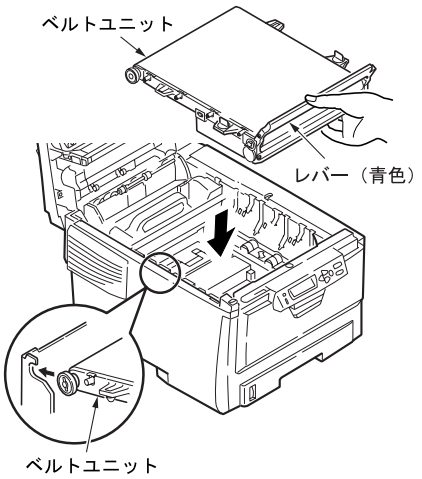


【用紙が見えない場合】

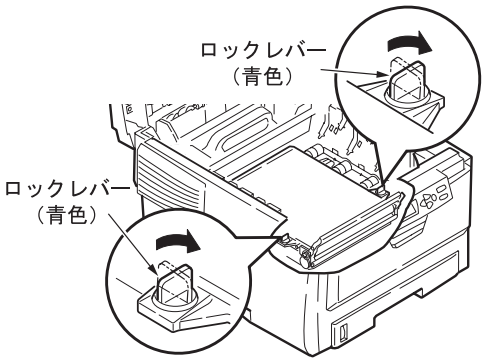


① ベルトユニットのロックレバー（青色2ヶ所）を矢印 の方向に回転し、レバー（青色）を持ち、ベルトユニットを取り外す

② ベルトユニットの裏面に紙が巻きついている場合は取り除く



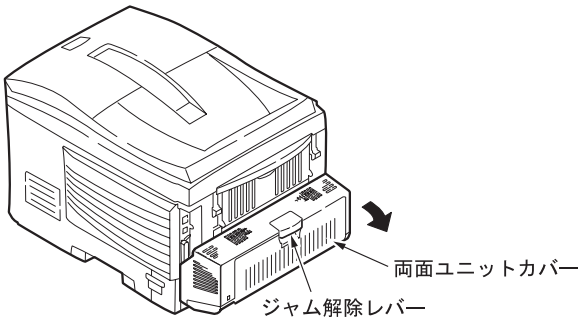
③　ベルトユニットを元の位置に戻し、ロックレバー（青色2ヶ所）を矢印 の方向に回転し、ベルトユニットを固定する



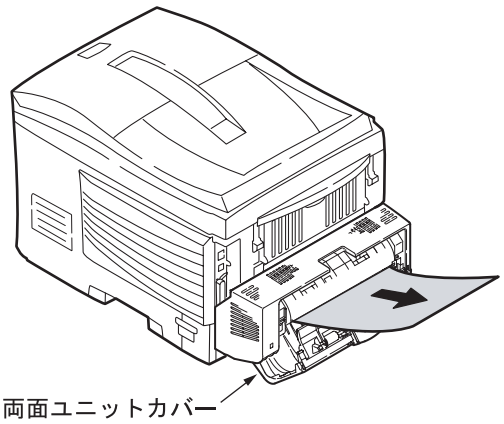
お願い　ベルトユニット部にある用紙を引き出す場合は、できるだけベルトユニット表面に触らないようにしてください。つめなどが強くベルト表面に当たると、その後の印刷結果に周期的な色点が発生することがあります。

5 ドラムカートリッジを戻す

両面ユニット部（オプション）（コード：370、371、373）でつまった用紙を取り除く

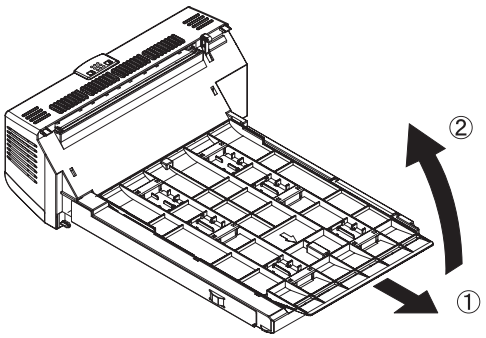


1 両面ユニット部のジャム解除レバーを押して、両面ユニットカバーを開く



2 つまっている用紙を取り出す

用紙が見えない場合は、一旦両面ユニットカバーを閉めてください。用紙が自動的に排出されます。



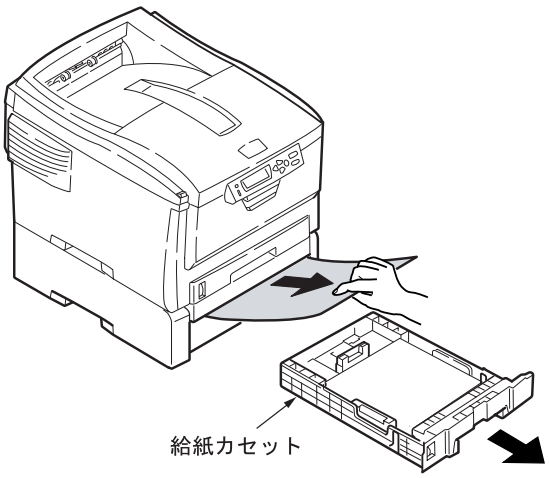
3 両面ユニットを装置から引き抜き、両面ユニットのアッパーカバーを矢印の方向（①）に引っ張り、上に開く（②）。つまっている用紙を取り除く

お願い

- 紙づまりが発生した場合以外は、電源を入れた状態で両面ユニットを抜かないでください。
  通常は、電源を入れた状態で両面ユニットを抜くとエラーとなり、電源を入れ直す必要があります。
- 紙づまりを取り除き、両面ユニットをプリンタに取り付ける場合は、奥までしっかりと差し込んでください。

拡張給紙ユニット部（オプション）（コード：391*、392）でつまった用紙を取り除く

：「フロントカバー部（コード：372、380、390、391、400）でつまった用紙を取り除く」（205ページ）も参照してください。

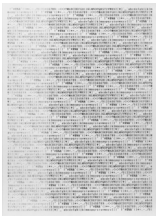


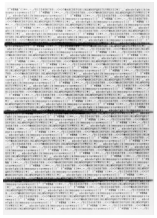
1 拡張給紙ユニット部の給紙カセットを抜いて用紙を取り除く

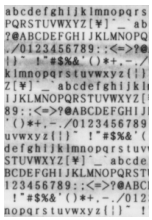
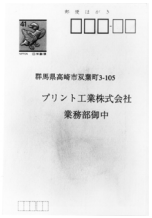
2 用紙を除去後、フロントカバーを開閉する

印刷品質が低下したとき

印刷が不鮮明な原因は、プリンタのハード的問題と考えられますが、ソフトウェアが原因の場合もあります。プリンタの状態を把握するため、メニュー印刷をして印刷の状態を確かめてください。また、次の項目を確認し、処置をしても直らない場合は、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口へご連絡ください。

現　象	原　因	処　置	参照ページ
給紙方向に縦の白いスジが入る。 給紙方向に縦にかすれる。	LEDヘッドが汚れています。	LEDレンズクリーナ、または水を含ませてかたく絞った布で拭いてください。	121
	トナーが少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	116
	異物がつまっています。	カートリッジを交換してください。	122
	ドラムカートリッジの遮光フィルムが汚れています	LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。	121
 部分的にかすれる。 黒ベタを印刷すると、白点が現れる。	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。	92
	〔セッティング〕の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で〔フツウシ　クロ　セッティング〕または〔フツウシ　カラー　セッティング〕の値を変更してみてください。 OHPに印刷している場合は、〔OHP　ブラック　セッティング〕または〔OHP　カラー　セッティング〕の値を変更してみてください。	157

現　象	原　因	処　置	参照ページ
印刷が非常に薄い。	トナーカートリッジがきちんとセットされていません。	トナーカートリッジをきちんとセットしてください。	116
	ドラムカートリッジがきちんとセットされていません。	ドラムカートリッジをきちんとセットしてください。	122
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。	92
	プリンタに適さない用紙で印刷されました。	推奨用紙をお使いください。	92
	トナーが少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	116
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタドライバで最適な用紙の厚さを設定してください。	166
	再生紙を使用しています。	プリンタドライバで最適な用紙の厚さを設定してください。	166
 周期的に横の黒いスジや点が入る。	約94mm周期の場合は、感光ドラムに傷または汚れがついています。	傷の場合はドラムカートリッジを交換してください。 汚れの場合は、柔らかいティッシュペーパーで感光ドラム（緑の筒の部分）を軽く拭き取ってください。	122
	約42mm周期の場合は、ドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。	7
	約87mm周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	定着器ユニットを交換してください。	—
	感光ドラムが光にさらされました。	ドラムカートリッジを外し、数時間暗いところに保管してください。 それでも直らない場合は、ドラムカートリッジを交換してください。	122

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
 白地の部分が薄く汚れる。	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度に保管した用紙をお使いください。	100
	厚すぎる用紙で印刷されました。	プリンタにあった用紙をお使いください。	93
	ドラムカートリッジが劣化しています。	ドラムカートリッジを交換してください。	116
文字の周辺がにじむ。	LEDヘッドが汚れています。	LEDレンズクリーナ、または水を含ませてかたく絞った布で拭いてください。	121
 はがき、または封筒を印刷すると、全面が薄く汚れる。擦ると文字の周囲が汚れる。	本プリンタは、ハガキや封筒を印刷すると全面に薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	プリンタの実力ですので、ご了承ください。	—
擦るとトナーがとれる。	用紙の厚さや種類の設定が不適切です	プリンタドライバで最適な用紙の厚さを設定してください。	166
	再生紙を使用しています。	プリンタドライバで最適な用紙の厚さを設定してください。	166
光沢にムラが出る。	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタドライバで最適な用紙の厚さを設定してください。	166
印刷品質が悪い。	普通紙の両面印刷を片面ずつ印刷した。	普通紙の両面印刷は、両面ユニットを使用して自動で行ってください。片面ずつ印刷した場合は、印刷品質を保証できません。	42 166

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
思った色合いで印刷されない。	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	116
	〔黒の生成〕の設定がアプリケーションに合っていません	プリンタドライバの〔黒の生成〕で〔CMYK トナーで生成〕または、〔黒トナーのみで生成〕を選択してみてください。詳しくは「第10章 プリンタドライバの設定/印刷」の〔主な印刷機能一覧〕を参照してください。	165
	カラー調整を変更しています。	プリンタドライバのカラーマッチングにしてください。詳しくは、『XL-C2000 オンラインマニュアル』「第6章 こまったときは」の〔カラー調整ユーテリィティについて〕または〔色見本印刷ユーティリティについて〕を参照してください。	—
	カラーバランスがとれていません。	プリンタのオペレータパネルで濃度補正を実行してください。	153
	色ずれが起こっています。	トップカバーを開閉してください。または、プリンタのオペレータパネルで色ずれ補正調整をしてください。詳しくは、『XL-C2000オンラインマニュアル』「第6章 こまったときは」の〔カラー調整ユーテリィティについて〕または〔色見本印刷ユーティリティについて〕を参照してください。	—
	推奨品以外のトナーカートリッジおよびドラムカートリッジが使用されています。	本製品の持つ品質や性能を発揮できない場合があります。サプライ品のトナーカートリッジおよびドラムカートリッジを使用してください。	113

用紙に異常がでたとき

用紙送りは、プリンタが設置してある環境、用紙の保管状態によって、大きく違ってきます。用紙は適切な温度、湿度でお使いください。
以下に用紙に関する異常が発生した場合の原因とその処置方法を示します。

現　象	原　因	処　置	参照ページ
紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。	プリンタが傾いています。	安定した水平な場所に設置してください。	9
	用紙が薄すぎるか厚すぎます。	プリンタに適した用紙を使用してください。	92
	用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びていたりします。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。	100
	用紙に折り目やシワや反りがあります。	プリンタに適した用紙を使用してください。反りがある場合は修正してください。	92
	裏面が印刷された用紙を使用しています。	普通紙は両面ユニットを使用して自動で両面印刷を行ってください。普通紙を片面ずつ印刷すると、紙づまりが頻発する可能性がありますので行わないでください。	104
	用紙がそろっていません。	用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。	—
	プリンタドライバの〔給紙オプション〕ダイアログで〔用紙設定チェック〕にチェックをつけた場合に、オペレータパネルで設定した用紙サイズ設定と合っていない。	正しいサイズの用紙をセットしてください。	—
	給紙カセット、マルチパーパストレイに用紙が入ったまま追加しています。	先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。	—
	用紙がまっすぐにセットされていません。	給紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。マルチパーパストレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。	101

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。	はがきや封筒のセット方向が間違っています。	正しくセットしてください。	187
	坪量176～200g/m²の用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPフィルムを給紙カセットにセットできません。	坪量176～200g/m²の用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPフィルムは給紙カセットから印刷できません。マルチパーパストレイにセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。	101
用紙が送られない。	プリンタドライバの〔給紙方法〕の選択が間違っています。	用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。	166
	プリンタドライバで手差しの指定をしています。	マルチパーパストレイに用紙をセットし、トレイ右側のセットボタン（青色）を押してから、〔オンライン〕スイッチを押してください。または〔マルチパーパストレイ設定〕の〔手差しとして扱う〕のチェックを外してください。	104
	マルチパーパストレイに用紙をセットしています。	マルチパーパストレイを使用する場合は、用紙をセットした後でかならずトレイ横にあるセットボタンを押してください。	104
つまった用紙を取り除いても復旧しない。	用紙を取り除くだけでは復旧しません。	トップカバーを開閉してください。	7 204
用紙がまるまってしまう。シワが出る。	用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びていたりします。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。	100
	薄い用紙を使用しています。	プリンタドライバで最適な用紙の厚さを設定してください。	166
定着器ユニットのローラへ用紙が巻きつく。	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタドライバで最適な用紙の厚さを設定してください。	166
	薄い紙を使用しています。	より厚手の用紙を使用してください。	99

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
定着器ユニットのローラへ用紙が巻きつく。	推奨紙以外のOHPフィルムを使用しています。	推奨紙を使用してください。推奨紙以外を使用すると種類によっては定着器ユニットのローラに巻きつく可能性があります。	99
	用紙先端部にベタに近い塗りつぶしがあります。	用紙先端部に余白を入れてみてください。両面印刷の場合、後端部にも余白を入れてみてください。	—
指定トレイに正しい用紙がセットされているが、用紙サイズ不一致のエラーとなる。	プリンタドライバの〔給紙オプション〕ダイアログで〔用紙設定チェック〕にチェックをつけた場合に、オペレータパネルで設定した用紙サイズと合っていない。	オペレータパネルのメディアメニューで対象トレイの用紙サイズを実際にセットされている用紙サイズに設定してください。	153

故障かなと思ったとき

故障かなと思ったときは、次の該当するところをご覧になり、確認してください。それでも直らないときは、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（252ページ）にご連絡ください。

現　象	原　因	処　置	参照ページ
電源を入れても「オンライン」にならない。	電源コードが抜けています。	電源を切ってから、電源コードをしっかり差し込んでください。	30
	停電しています。	コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。	—
印刷処理を開始しない。	エラーが表示されています。	プリンタのオペレータパネルにエラーが表示されている場合は「メッセージが表示されるとき」をご覧ください。	194
	プリンタケーブルが外れています。	プリンタケーブルを差し込んでください。	24
	プリンタケーブルに問題があります。	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。	—
	プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。	24
	プリンタの印刷機能に問題がある可能性があります。	プリンタの設定内容一覧の印刷ができるか確認してください。	126
	プリンタドライバが選択されていません。	プリンタドライバを〔通常使うプリンタ〕に設定してください。	—
	プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。	—
印刷処理が中断する。	プリンタケーブルが断線しています。	プリンタケーブルを取り替えてください。	—
	パソコンのタイムアウトにかかっています。	タイムアウトを長く設定してください。	154

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
異常音がする。	プリンタが傾いています。	安定した水平な場所に設置してください。	9
	プリンタ内部に用紙くずや異物があります。	プリンタ内部を点検し、取り除いてください。	—
	トップカバーが開いています。	トップカバーの左右を押して閉じてください。	7
すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。	省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。	プリンタのメニュー設定で、〔パワーセーブ〕を〔ムコウ〕にすると、ウォーミングアップ時間を短くできる場合があります。	157
	ドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。	印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。	—
	定着器の温度を調整しています。	しばらくお待ちください。	—
	他のインタフェースからのデータを処理しています。	印刷処理が中断するまでお待ちください。	—
ラジオに雑音が入る。 テレビなどのモニタ画面が周期的にゆれる。	電波障害や磁界障害が発生しています。	ラジオやテレビから離れたところに設置してください。	11

印刷ができないとき

印刷ができない場合は、次の内容をご確認ください。
お使いのアプリケーションに関する問題は、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

現　象	原　因	処　置	参照ページ
USB接続でセットアップできない。	Windows 95/NT4.0でセットアップできません。	USB接続できるのはWindows Me/98/2000/XP/Windows Server 2003です。Windows 95/NT4.0は接続できません。	62
	Windows 95/3.1からアップグレードしたWindows Me/98を使用しています。	動作保証できません。Windows Me/98をクリーンインストールしたパソコンを使用してください。	—
	パソコンがUSBインタフェースに対応していません。	デバイスマネージャでUSBコントローラが表示されるか確認してください。	—
	USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。	—
	セットアップ手順が間違っています。	「第5章 プリンタドライバのインストール」を参照してください。	59
	USBケーブルが外れています。	USBケーブルを差し込んでください。	—
	USBケーブルに問題があります。	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。	—
	USBハブを使用しています。	プリンタとパソコンを直接接続してみてください。	—

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
USB接続でセットアップできない。	セットアップの途中で画面に〔検索場所の指定〕、〔場所の指定〕が表示されます。	プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例： 「F:\XLC2000\WIN9XME」（CD-ROMドライブがF：の場合）	62
	セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。	62
	Windows Server 2003/Windows XP/Me/98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されません。	「第5章 プリンタドライバのインストール」を参照してください。	62
パラレル接続でセットアップできない。	Windows NT4.0でプラグアンドプレイによるセットアップはできません。	プラグアンドプレイでセットアップできるのはWindowsMe/98/ 95/2000/XP/Windows Server 2003です。WindowsNT4.0はセットアッププログラムからセットアップしてください。	62
	パソコンが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	双方向パラレルインタフェースをサポートしているパソコンタを使用してください。	—
	パラレルケーブルが規格に合っていない可能性があります。	IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを使用してください。	—
	インタフェースが無効になっています。	プリンタのオペレータパネルで〔セントロ メニュー〕の〔ソウホウコウ セントロ〕を〔ユウコウ〕にしてください。	155
	セットアップ手順が間違っています。	「第5章 プリンタドライバのインストール」を参照してください。	62
	パラレルケーブルが外れています。	パラレルケーブルを差し込んでください。	—

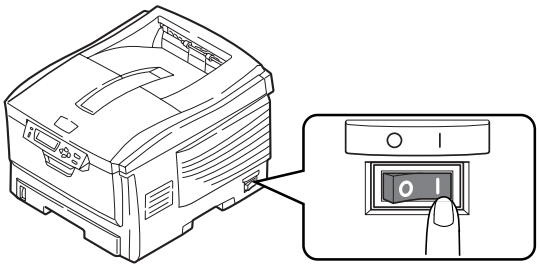
現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
パラレル接続でセットアップできない。	パラレルケーブルに問題があります。	予備のパラレルケーブルがあれば取り替えてみてください。	—
	切替器、バッファ、延長ケーブルなどを使用しています。	プリンタとパソコンを直接接続してみてください。	—
	セットアップの途中で画面に〔検索場所の指定〕、〔場所の指定〕が表示されます。	「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例： 「F:\XLC2000\WIN9XME」（CD-ROMドライブがF：の場合）	62
	セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。	62
印刷できない。	プリンタの電源が切れています。	プリンタの電源を入れてください。	30
	〔オフライン〕になっています。	〔オンライン〕スイッチを押して〔オンライン〕にしてください。	144
	プリンタケーブルが外れています。	プリンタケーブルを差し込んでください。	—
	プリンタケーブルに問題があります。	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。	—
	切替器、バッファ、延長ケーブル、USBハブを使用しています。	プリンタとパソコンを直接接続してみてください。	—
	プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。	—
	他のインタフェースからの印刷を処理しています。	処理が完了するまでお待ちください。	—
	一部の用紙で両面印刷ができない。	はがき、封筒、OHPフィルム、薬袋等の特殊用紙は、両面ユニットを使用して自動で両面に印刷することはできません。両面に印刷する場合は、はがきのように文書面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください。	185

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
印刷できない。	プリンタドライバが通常使うプリンタになっていません。	通常使うプリンタにしてください。	—
	双方向パラレルまたはUSBで動作する他のプリンタドライバがインストールされています。	他のプリンタドライバを削除してみてください。	—
	USB接続でプリンタアイコンが〔オフライン〕になっています。	プリンタアイコンを右クリックして〔プリンタをオフラインにする〕のチェックを外してください。	—
メモリ不足になる。	複数のアプリケーションを同時に起動しています。	使用していないアプリケーションを終了してください。	—
印刷が遅い。	印刷処理をパソコン側でも行っています。	処理速度の速いパソコンを使用してください。	—
	〔印刷オプション〕タブの〔きれい(600×1200dpi)〕を選択しています。	〔印刷オプション〕タブの印刷品位で〔ふつう(600dpi)〕または〔はやい(300dpi)〕を指定してください。	174
	印刷データが複雑です。	印刷データを簡単にしてください。	—
	パラレルインタフェースで接続しています。	パソコンのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードに変更してみてください。	—
ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。	セットアップ、印刷方法などに問題があります。	『XL-C2000オンラインマニュアル』「第6章 こんなときには」を参照してください。	—
特定のアプリケーションから印刷できない。	アプリケーションやプリンタドライバのバージョンにより印刷できない場合があります。	最新版のプリンタドライバをご利用ください。また、メモ帳などによりCD-ROM内の「README.TXT」をお読みください。制限事項の説明や回避手段などが記載されています。	—
Microsoft Accessで、印刷品位を〔はやい(300dpi)〕に設定すると特定のイメージデータを印刷できない。	Microsoft Accessとの相性によりイメージデータがプリンタドライバ側に通知されません。	〔印刷オプション〕タブの印刷品位で〔ふつう(600dpi)〕または〔きれい(600×1200dpi)〕を指定してください。	174

カラーレス印刷を行う

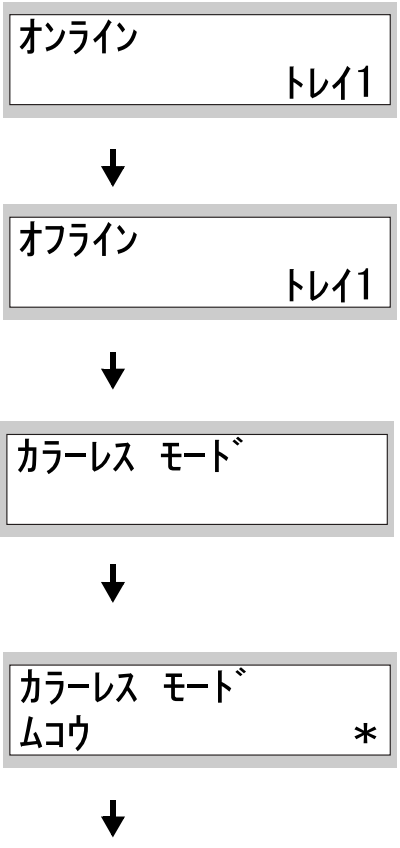
イエロー / マゼンタ / シアンのトナーがなくなり、オペレータパネルに〔トナー ナシ〕メッセージが表示されると、通常は新品のトナーカートリッジに交換するまでプリンタが使用できなくなります。
ただし、オペレータパネルでカラーレスモードの設定変更を行うことによりグレースケール印刷のみを継続して行うことができます。

次の手順にしたがって、カラーレス印刷を設定します。



1 プリンタ本体右側にある電源スイッチの〔｜〕側を押す

電源が入ります。

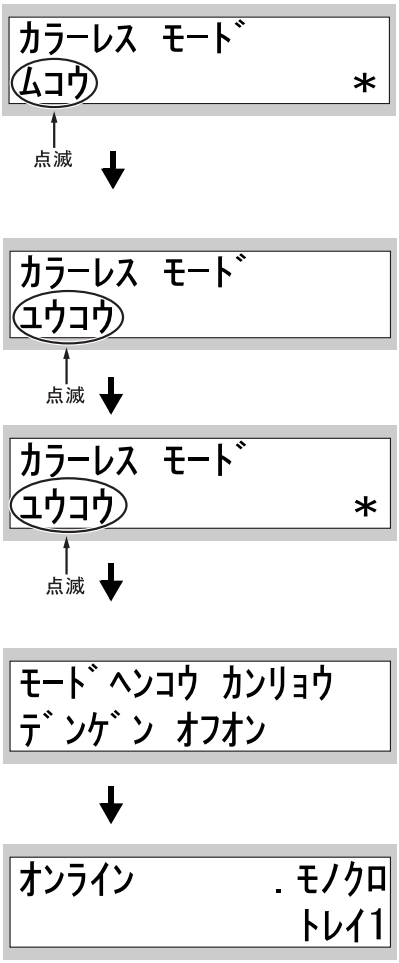


2 オンライン状態で〔オンライン〕スイッチを押し、オフライン状態とする

3 〔メニュー－〕スイッチを2回押し、〔カラーレス　モード〕を表示する

4 〔設定〕スイッチを１回押し、カラーレスモードの状態を表示する（初期値：〔ムコウ〕）

5 〔設定〕スイッチをもう１回押し、カラーレスモードの状態を点滅表示にする



6 〔メニュー＋〕スイッチを１回押し、カラーレスモードの状態を〔ユウコウ〕に変更する

7 〔設定〕スイッチをもう１回押し、〔ユウコウ ＊〕状態を確定する

8 〔オンライン〕スイッチを押す

〔オフライン〕と表示されるまで待ってください。

9 電源を入れ直す

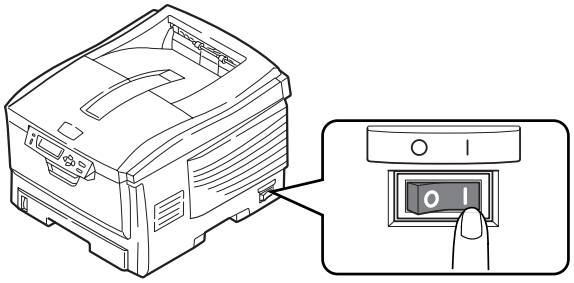
プリンタの電源スイッチを〔｜〕側に倒します。オペレータパネルの１行目の右端に〔. モノクロ〕と表示され、カラーレス印刷（黒トナーのみでの印刷）が可能となります。

ガイド

- カラーレスモードが有効な状態でカラー印刷を行った場合、〔カラーページヲ ジュシンシマシタ／ジョブヲ　キャンセル シテクダサイ〕と表示されます。
  本モードではカラーデータの印刷はできないため、〔リセット〕スイッチを３秒以上押し、データをキャンセルしてください。
- カラーレスモードを有効とした場合でも、黒トナーカートリッジがない場合は印刷できません。
- 新品のトナーカートリッジを入手後は、同一手順によりカラーレスモードを無効に戻し、対応するトナーカートリッジを交換してください。再びカラー印刷が可能となります。

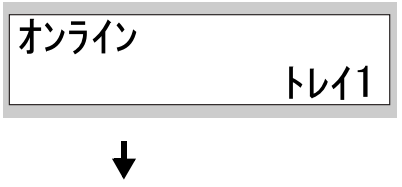
HEX（ヘキサ）ダンプ印刷を設定する

パソコンからのデータが、プリンタに正しく転送されているかどうかを確認する場合などにHEXダンプを設定します。
HEX（ヘキサ）ダンプとは、パソコンからプリンタに送られた印刷データを、アルファベットや漢字などの文字ではなく、16進数のデータで印刷する機能です。
以下の手順に従って、ＨＥＸダンプ印刷を設定します。

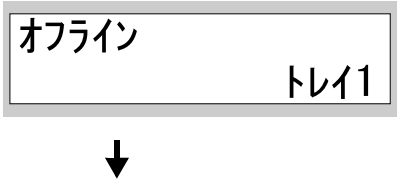


1 プリンタ本体右側にある電源スイッチの〔｜〕側を押す

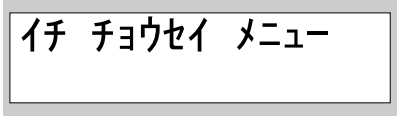
電源が入ります。



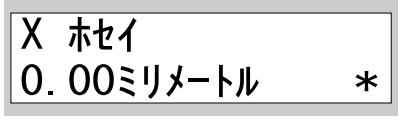
2 オンライン状態で〔オンライン〕スイッチを押し、オフライン状態とする



3 〔メニュー〕スイッチを数回押し、〔イチ　チョウセイ　メニュー〕を表示する

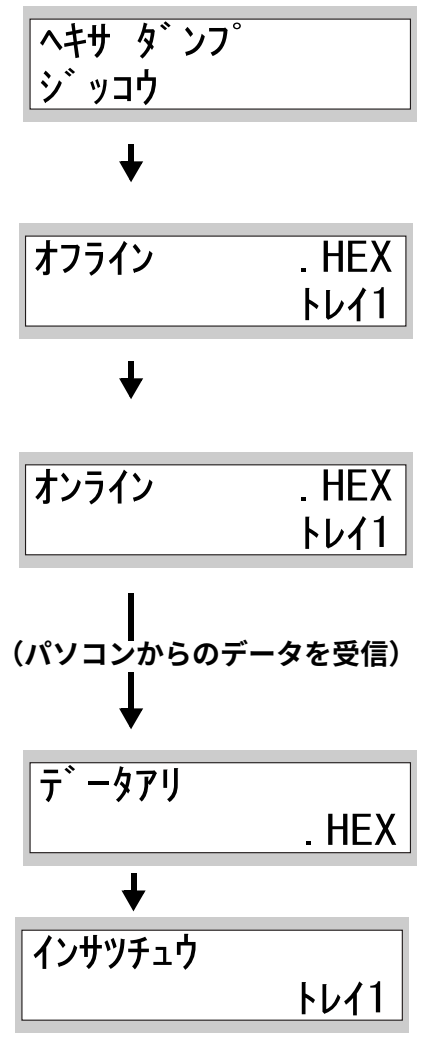


4 〔設定〕スイッチを押す



5 〔メニュー－〕スイッチを1回押し、〔ヘキサ　ダンプ　ジッコウ〕を表示する

液晶ディスプレイの２段目には、設定されている値が表示されます。



6 〔設定〕スイッチを押す

7 〔オンライン〕スイッチを押し、オンライン状態にする

お願い

- HEXダンプモードを解除するときは、プリンタの電源をOFFにしてください。
- HEXダンプモードとするときは、必ずA4の用紙を使用してください。

HEXダンプ印刷の例を示します。

```
          +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F
000000  00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0E 0F  ................
000010  10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1A 1B 1C 1D 1E 1F  ...........↑....
000020  20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F   !"#$%&'()*+,-./
000030  30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F  0123456789:;<=>?
000040  40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F  @ABCDEFGHIJKLMNO
000050  50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F  PQRSTUVWXYZ[\]^_
```

TCP/IP(lpr)の注意と制限

TCP/IP（lpr）での注意/制限事項は、次のとおりです。

設定について

本プリンタ側の設定について

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定をしてください。

ホスト側の設定について

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS（Network Information Service）の管理下で使用されているホストで、ネットワーク（IPアドレスなど）の設定を行う場合は、NISの管理者に相談してください。

印刷するとき

あるホストから印刷要求を受け付けていた場合、別のホストからの印刷要求を受け付けることができません。

ホストのIPアドレスやパソコン名を変更した場合

ホストのIPアドレスやパソコン名を変更した場合、本プリンタ側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本プリンタの受信バッファに印刷データがない状態で、電源を切/入してください。

ガイド　本プリンタの受信バッファにある印刷データの印刷中止/強制排出は、オペレータパネルから操作できます。操作方法は、「プリンタ側で印刷を中止する」（149ページ）、「印刷指示したジョブの状態を確認する」（184ページ）、および「残ったデータを強制印刷する」（148ページ）を参照してください。

給紙トレイの自動選択および自動切り替えを行う

複数トレイ（トレイ1/トレイ2）から印刷サイズの用紙がセットされているトレイを自動的に選択し、用紙切れの場合には別のトレイに自動的に切り替えて給紙を継続することができます。
オペレータパネルとプリンタドライバのプロパティ画面で、次の設定を行ってください。

1 トレイにセットされている用紙サイズに合わせて、〔メディアメニュー〕の各トレイの〔ヨウシサイズ〕を設定する

オペレータパネル側で設定を行います。

2 プリンタドライバのプロパティ画面を開く

プリンタドライバのプロパティ画面で設定を行います。

3 〔設定〕タブをクリックし、〔オプション〕ボタンをクリックする

4 〔給紙オプション〕で〔自動トレイ切り替え〕と〔用紙設定チェック〕にチェックをつける

5 〔OK〕をクリックする

給紙トレイの自動選択を行う

印刷する用紙サイズに合わせて給紙トレイを自動的に選択する場合は、〔設定〕タブの用紙種類で〔オプション〕ボタンをクリックし、〔給紙オプション〕ダイアログボックスを表示させます。給紙オプションで〔用紙設定チェック〕を選択します。印刷する用紙サイズを変更するたびに、給紙方法を変更する必要がなくなります。

給紙トレイの自動切り替えを行う

特定のトレイからの印刷途中に用紙切れが発生し、同一サイズの用紙がセットされた他のトレイに自動的に切り替えたい場合は、〔給紙オプション〕ダイアログボックスを開き、〔自動トレイ切り替え〕にチェックをつけます。

ガイド

- 給紙トレイの自動選択および自動切り替え機能を利用するには、あらかじめオペレータパネルで各トレイの用紙サイズを正しく設定しておく必要があります。
- 設定した用紙サイズが異なる場合にオペレータパネル上に「... ヨウシガ アリマセン」や「... ヨウシ サイズ フイッチ」とエラーが表示され、停止状態となることがあります。
  〔オンライン〕スイッチを押したり、トップカバーを開け閉めすることで強制的に印刷することができます。ただし、実際に給紙された用紙サイズが印刷サイズと異なる場合には、給紙途中の用紙長センサー部でエラー（「ヨウシサイズ　エラー」と表示）となることがありますので、ご注意ください。

給紙トレイの自動選択および自動切り替えの動作例

給紙トレイの自動選択および自動切り替えの動作例を、次の表に示します。

プリンタドライバの他の設定条件：給紙方法＝自動選択／用紙設定チェック＝あり

プリンタドライバでの設定		オペレーションパネルでの設定		連続印刷時の給紙トレイの切り替わり順序
用紙タブ		メディアメニューのヨウシサイズ設定		
印刷サイズ	自動トレイ切り替え	トレイ１	トレイ２	
Ａ４	有効	Ａ４	Ａ４	トレイ１給紙→トレイ２給紙
		Ａ４	Ａ４以外	トレイ１給紙
		Ａ４以外	Ａ４	トレイ２給紙
		Ａ４以外	Ａ４以外	「トレイ１ ヨウシ サイズ フイッチ」のエラー表示*
	無効	Ａ４	Ａ４	トレイ１給紙
		Ａ４	Ａ４以外	トレイ１給紙
		Ａ４以外	Ａ４	トレイ２給紙
		Ａ４以外	Ａ４以外	「トレイ１ ヨウシ サイズ フイッチ」のエラー表示*

ガイド

・〔自動トレイ切り替え〕が無効で用紙なしと表示された状態で停止している場合、トップカバーの開け閉めや〔オンライン〕スイッチを押すことで同じ用紙サイズが設定された別トレイから強制的に給紙できます。

・マルチパーパストレイは、給紙トレイの自動選択には対応しておりません。

付 録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの仕様 236
基本仕様 236
インタフェース仕様 237
オプション品の仕様 240
JIS-90 第一水準漢字一覧表 242
JIS-90 第二水準漢字一覧表 245
添付のアプリケーションソフトについて 248
HyperPrintの概要 249
RepoAgentの概要 250
アフターサービスについて 252

プリンタの仕様

基本仕様

以下に、本プリンタの仕様を示します。

ガイド　耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。

印刷方式	LEDを露光光源とする電子写真方式
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の4色
印刷速度 (連続コピー最大)	カラー：　12ページ/分（普通紙、A4コピーモード時)、6ページ/分（OHPフィルム)、8ページ/分（121g/m^2(104kg)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙)、10ページ/分（両面印刷時[*1]：普通紙、A4時） モノクロ：20ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、12ページ/分、(OHPフィルム)、8ページ/分（121g/m^2(104kg)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙)、16ページ/分（両面印刷時[*1]：普通紙、A4時）
ウォームアップタイム	電源投入後95秒以内
印刷幅	最大 215.9mm
メモリ	64MB（オプション64MB、または256MB1枚増設可能、最大320MB）
エンジン解像度	600 × 600 dpi、600 × 1200 dpi、
用紙サイズ	給紙カセット：A4、B5、A5、B6、A6[*2]、レター、リーガル マルチパーパストレイ：A4～A6、官製はがき、不定形、長尺紙、封筒（4種類）
給紙方式[*3]	給紙カセット　（トレイ1：最大350枚/トレイ2：最大650枚） マルチパーパストレイからの自動給紙（最大120枚）
排紙方式[*3]	フェースダウンスタッカ（スタック枚数 250枚） フェースアップスタッカ（スタック枚数 100枚）
使用環境条件[*4]	温度　10℃～32℃ 湿度　20%～80%RH（結露しないこと）
使用条件[*5]	月間平均印刷枚数4,000枚／月（平均電源入時間:8時間／日、160時間／月）
電源・電源周波数	AC100V±10V、50/60 Hz±1 Hz
消費電力	動作時　　最大850W、平均400W 待機時　　最大750W、平均80W 節電モード時　最大18W
突入電流	50A以下（25℃）
騒音（音圧レベル）	動作時　54dB(A) 以下、待機時　40dB(A) 以下
外形寸法（標準装備）	幅 425mm、奥行き 561mm、高さ 339mm (手差しトレイ、用紙折りたたみ時)
重量（標準装備）	約20.4kg（オプション、用紙重量含まず）
OS	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003日本語版
インタフェース	IEEE1284 パラレル／USB2.0／LAN（100Base-TX/10Base-T）
パソコン	PC/AT互換機
プリンタシーケンス[*6]	Windows専用（XL-C2000独自[*7]）
装置寿命[*5]	装置寿命　5年(8時間/日、パワーセーブ有効時)または42万ページ印刷(3ページ/ジョブ印刷時のA4サイズ換算値)
用紙	普通紙64g/m^2 ～120g/m^2 (55kg～103kg)、厚紙、官製はがき、往復はがき、封筒、薬袋、長尺紙、OHPフィルム（本装置指定品)、ラベル紙（レーザプリンタ用）

＊1：オプションの両面ユニット装着時
＊2：トレイ1のみ対応
＊3：収容枚数は64g/m^{2}にて換算
＊4：印刷品質保証範囲

湿度30%RH時	温度10～32℃
温度10℃時	湿度30～73%RH
温度32℃時	湿度30～54%RH

カラー印刷時

温度17℃～27℃	湿度50～70%RH

＊5：・1ジョブ当たり3枚印刷
・24時間運用やパワーセーブ・オフで運用を継続する場合、耐用期間が5年より短くなります。
・長尺紙等の長い用紙を印刷する場合は、耐用枚数が42万枚（A4、片面）より短くなります。
・月間最大印刷枚数は、5万枚/月です。
＊6：データ処理解像度

Windowsモード	600dpi×1200dpi 600dpi× 600dpi 300dpi× 300dpi

＊7：Printianaviは未対応

ガイド 以下の部品は、定期交換部品となっています。オペレータパネルに対象部品の交換メッセージが表示された場合は、「ハードウェア修理相談センター」（252 ページ）にご連絡ください。なお、対象部品の交換は有償となります。

部 品	交換目安
定着器	約4.5万枚（A4、片面印刷）
ベルトユニット	約5万枚（A4、片面、1度に3枚印刷） 約2.5万枚（A4、片面、1度に1枚印刷）

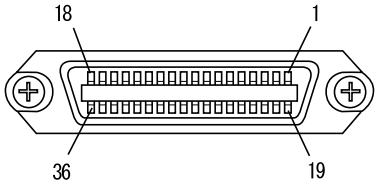
インタフェース仕様

パソコンとのインタフェースは、IEEE 1284の仕様に準拠した双方向パラレルインタフェースを採用しています。

インタフェース仕様とコネクタピン配列

- インタフェースコネクタ
  プリンタ側：36極コネクタ(メス)　アンフェノール　57RE-40360相当品
  ケーブル側：36極コネクタ(オス)　アンフェノール　57FE-30360相当品
- ケーブル：最長3m以下のケーブルを使用してください。
  （雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。）
- 信号レベル：LOW：0.0V～＋0.8V HIGH：＋2.4V～＋5.0V
- データ転送方式：8ビットパラレル

・ コネクタピン配列



インタフェースコネクタ(36ピン)

双方向OFF時のピン配列

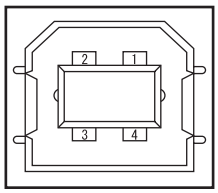
ピン№	信号名	方　向	機　能
1	nStrobe(HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。 後縁でデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	TO PRINTER	8ビットのパラレルデータです。ハイレベルが“1”, ローレベルが“0”です。
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError (AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインタフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd (HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	−	−	使用していません。
16	GND	−	信号グランド
17	FG	−	シャーシグランド
18	＋5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19～30	GND	−	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault (nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	−	信号グランド
34	−	−	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で3.3KΩで+5Vにプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

注）・（　）内はニブルモードの信号名です。
・ 米国電気電子技術者協会が規定するIEEE Std 1284-1994のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

USBインタフェース仕様とコネクタピン配列

基本仕様	USB仕様（Hi-Speedをサポート）
インタフェースコネクタ	プリンタ側：Bレセプタクル（メス） ケーブル側：Bプラグ（オス）
ケーブル	XL-CBLU2または、2m以下のUSB仕様Revision2.0以上に適合したケーブル(雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)
伝送モード	フルスピード（最大12Mbps ± 0.25%)、ハイスピード（最大480Mbps±0.05%）
電力制御	セルフパワーデバイス

・ USBピン配列



ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源 (+5v)
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
shell	shield	

オプション品の仕様

本プリンタのオプション品の仕様は、次のとおりです。

拡張給紙ユニット(650枚)

品　名	型　名	内　容
拡張給紙ユニット（650枚）	XL-EF65X1	2段目の給紙ユニットとして使用できます。 A4～A5、レターリーガルサイズの用紙を約650枚（用紙厚が坪量64g/m²の場合）セットできるカセットで構成されています。

両面ユニット

品　名	型　名	内　容
両面ユニット	XL-DUPX1	両面印刷用ユニットです。ユニットを取り付けると、A4～A5、レター、リーガルサイズの用紙の両面に印刷ができるようになります。

プリンタRAMモジュール

品　名	型　名	内　容
プリンタRAMモジュール-64MB	XL-EM64M7	RAMを64MB 搭載したメモリモジュールです。
プリンタRAMモジュール-256MB	XL-EM256M7	RAMを256MB 搭載したメモリモジュールです。

印刷可能領域と印刷方向

ここで説明する印刷可能領域は、プリンタが印刷できる最大領域です。実際の印刷領域は、アプリケーションにより異なることがあります。アプリケーションにより余白設定が可能な場合は、下記に示す余白サイズ以上に設定してご使用ください。

ガイド

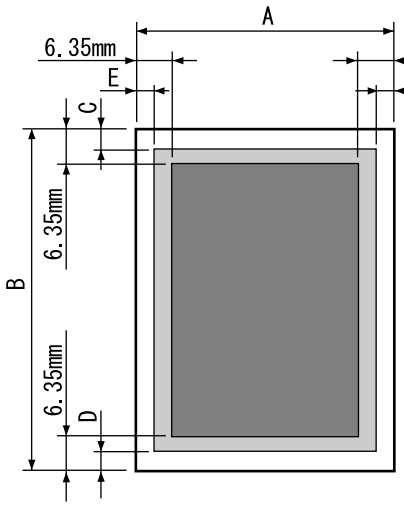
- 印刷精度（64g/m²（連量 55Kg）の場合）は、書き出し位置±2mm、用紙の斜行±1mm/100mm、画像伸縮±1mm/100mmです。
- 両面印刷時の表裏の印字位置精度は±2.5mmです。
- オペレータパネルの〔Xホセイ〕、〔Yホセイ〕の設定により、印刷位置が微調整（±2.0mm）できます。

● Windowsモード

このプリンタドライバで使用できる用紙サイズおよび印刷範囲は次のとおりです。

余白部分に指定されたデータの印刷結果は保証されません。

アプリケーションにより余白設定が可能な場合は、下記に示す余白サイズ以上の設定でご使用ください。



印刷保証範囲（余白:6.35mm）

印刷品質が保証される範囲です。できるだけこの範囲に印刷することをお勧めします。

印刷可能範囲（余白:4.23mm）

印刷可能な範囲です。印刷品質が低下することがあります。

（単位：mm）

用紙サイズ	幅	長さ
	A	B
A4	210	297
A5	148	210
A6	105	148
B5	182	257
レター	215.9	279.4
リーガル（14インチ）	215.9	355.6
カスタム	64~215.9	148~1200
はがき	100	148
往復はがき	148	200
封筒1（長形3号）	120	235
封筒2（長形4号）	90	245
封筒3（洋形4号）	105	205
封筒4	210	297

JIS^{-90}第一水準漢字一覧表

区$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
点$	点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																
21	1		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																																
2F	15																																
30	16		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	17		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	18		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	19		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	20		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	21		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	22		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	23		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	24		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	25		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	26		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	27		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	28		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	29		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	30		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	31		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	32		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	33		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	34		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	35		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	36		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	37		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	38		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	39		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	40		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	41		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	42		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	43		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	44		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	45		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	46		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	47		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

区＼点	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	63
20	0																																	
21	1	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃													∠	⊥	⌒	∂
23	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8	＋																																
29	9																																	
2A	10																																	
2B	11																																	
2C	12																																	
2D	13	ミリ	キロ	センチ	メートル	グラム	トン	アール	ヘクタール	リットル	ワット	カロリー	ドル	セント	パーセント	ミリバール	ベージ	mm	cm	km	mg	kg	cc	㎡									平成
2E	14																																	
2F	15																																	
30	16	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	17	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	曳	洩	瑛	盈	穎	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	笥	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	18	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	19	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	20	汗	漢	潤	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	21	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	22	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	23	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	24	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	肯	骨	狐	膏	航	荒	股	行	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	25	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	済	災	采	犀	市	師	衡	講	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閣	降
3A	26	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	姿	子	屍	市	師	志	斎	指	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	27	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	写	士	始	姉	煮	社	紗	俊	者	謝	車	遮	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	28	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	俊	峻	春	瞬	竣	邪	笹	匁	尺	杓	灼	爵
3D	29	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	紹	俊	莫	蔣	蕉	衝	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	30	樟	椎	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	訊	衝	迅	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	31	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訳	赤	跡	賃	靭	諏	須	酢	図	厨
40	32	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	奏	爽	跡	層	頓	切	拙	接	摂	折	設
41	33	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	態	替	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	34	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	蛸	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	35	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	鍛	痛	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	36	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	妬	通	塚	梅	摑	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	37	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	38	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	悼	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	39	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	40	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	41	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鯖	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	42	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	43	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	44	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	45	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	46	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	47	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

点$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
区$	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																														
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					○
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ							
26	6																														
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я												
28	8																														
29	9																														
2A	10																														
2B	11																														
2C	12																														
2D	13	�″	〃	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	Σ	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E	14																														
2F	15																														
30	16	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	17	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	18	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	19	槨	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	20	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	21	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	22	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	23	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	24	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	25	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	26	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	27	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	28	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	29	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	30	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	31	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	32	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	33	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	34	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	35	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	36	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	37	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到
46	38	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	39	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	40	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	41	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	42	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	43	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	44	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	45	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	萊	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	46	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F	47																															

運用編

JIS-90第二水準漢字一覧表

区$	点$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区	$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
50	48		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	49		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
52	50		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	51		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54	52		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55	53		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56	54		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57	55		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58	56		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59	57		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	58		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B	59		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C	60		梠	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D	61		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E	62		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F	63		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60	64		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61	65		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62	66		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63	67		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64	68		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
65	69		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66	70		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67	71		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68	72		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69	73		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A	74		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B	75		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C	76		譟	譬	譯	譫	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D	77		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E	78		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F	79		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70	80		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	81		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	82		髫	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	84		堯	槇	遙	瑤																											
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

付

区 $	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
点 $ →	点	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
50	48	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51	49	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52	50	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53	51	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54	52	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55	53	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56	54	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57	55	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58	56	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59	57	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A	58	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B	59	杰	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C	60	楡	楞	楝	楻	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D	61	歛	歔	歙	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E	62	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F	63	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60	64	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61	65	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62	66	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63	67	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64	68	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65	69	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66	70	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67	71	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68	72	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69	73	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A	74	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B	75	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C	76	貎	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D	77	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E	78	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F	79	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70	80	雯	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71	81	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72	82	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73	83	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74	84																																
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区 $	区	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
$	点	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
50	48	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51	49	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52	50	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	51	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54	52	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55	53	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56	54	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	55	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58	56	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59	57	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	58	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B	59	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C	60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D	61	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E	62	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	63	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	64	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	65	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62	66	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63	67	窶	窩	竈	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64	68	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65	69	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66	70	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67	71	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68	72	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69	73	蛟	蛛	蛯	蜓	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A	74	袱	袿	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B	75	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C	76	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D	77	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	78	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F	79	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	80	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	81	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	82	鰰	鰊	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74	84																															
75	85																															
76	86																															
77	87																															
78	88																															
79	89																															
7A	90																															
7B	91																															
7C	92																															
7D	93																															
7E	94																															

添付のアプリケーションソフトについて

本プリンタ添付のプリンタソフトウェアCD-ROMには、次のアプリケーションが納められています。

●FUJITSU LPRユーティリティ

LPR印刷を行うためのユーティリティです。詳細は、『XL-C2000オンラインマニュアル』「第3章　IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定」の「▼ FUJITSU LPRユーティリティを使用する場合」を参照してください。

●色見本印刷ユーティリティ

本ソフトウェアを利用すると、印刷した色見本を元にカラーデータのRGB値をアプリケーション側で修正して印刷するため、イメージに近い印刷結果を得ることができます。Windows 95には未対応です。詳細は、『XL-C2000オンラインマニュアル』「第6章　カラーデータ印刷時の色の設定」の「色見本印刷ユーティリティについて」を参照してください。

●カラー調整ユーティリティ

ディスプレイ上に表示される色とプリンタで出力される色が近づくように色を調整するためのソフトウェアです。詳細は、『XL-C2000オンラインマニュアル』「第6章　カラーデータ印刷時の色の設定」の「カラー調整ユーティリティについて」を参照してください。

●RepoAgent

ビジネス帳票を作成、印刷するためのソフトウェアです。

参照　「RepoAgentの概要」（250ページ）を参照

●HyperPrint

「HyperPrint」の印刷機能を利用することで、印刷コストの削減と効率的な印刷を実現できます。

参照　「HyperPrintの概要」（249ページ）を参照

●Adobe Acrobat Reader

本プリンタ添付の『XL-C2000オンラインマニュアル』(OnlineManual.pdf)を表示させるのに必要なソフトウェアです。ご使用のパソコンにAcrobat Reader 5.1J以降がインストールされていない場合は、プリンタソフトウェアCD-ROMからインストールしてください。

参照　「Acrobat Reader をインストールする」(xviページ)を参照

HyperPrintの概要

「HyperPrint」を使用すると、印刷機能を持つアプリケーションであれば、種類を問わず、印刷データを利用したさまざまな機能を利用できるようになります。
「HyperPrint」による印刷機能を利用することにより、印刷コストの削減と、効率的な印刷を実現できます。

特　長

●印刷コストの削減

- プレビュー上で詳細確認と不要なページのカット
- 両面印刷、縮小印刷による印刷用紙の削減
- 印刷データのファイル保存

●アプリケーション導入コストの削減

- データを確認するためのアプリケーションが不要
- アプリケーションのバージョン / レベルなどの整合性への意識不要

●業務の効率化

- 送付先のパソコン環境を意識することが不要
- 帳票作成時と同様の鮮明度

動作環境

とくに制限はありません。

「HyperPrintお試し版」の機能制限

- プレビュー左下に「お試し版を利用して作成した」旨のメッセージを表示します。
- プレビュー表示30回で製品購入を促すメッセージを表示します。

RepoAgentの概要

「RepoAgent」は、ビジネス帳票を作成、印刷するためのソフトウェアです。
さまざまなビジネス帳票をワープロを使用する感覚でビジュアルに作成できます。また、帳票の印刷はアプリケーションから制御できます。

特　長

●帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上

ワープロを使用する感覚で手軽に帳票設計ができ、帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上します。また、運用中に会社のロゴを変更するといった作業も、帳票印刷プログラムを変更することなく対応できます。

●多彩な帳票設計

以下の多彩な表現手段の提供により、複雑な帳票もかんたんに設計できます。

罫線、網かけ、文字装飾、バーコード(11種)、画像、
データ内容に応じた小計/見出し/改ページの自動挿入　など

●容易なアプリケーション連携

アプリケーション側では、帳票に埋め込むデータをCSVテキスト形式で出力し、RepeAgentを呼び出すだけで帳票印刷を実現できます。
CSVテキストはUnicodeにも対応しています。
また、アプリケーションからの呼び出しインタフェースには、コマンド、API、ActiveXコントロール、Javaクラスの4種類を用意しています。お使いの開発環境や運用形態に応じて選択できます。

動作環境

対応OS	Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP
対応パソコン	FMVシリーズおよびAT互換機
メモリ	64MB以上
ディスプレイ解像度	800×600以上(1024×768以上を推奨)
ハードディスク	空き容量23MB以上 (インストール時は、さらに作業域として10MB必要)
プリンタ	Windowsから印刷できるプリンタ (バーコード印刷時は印刷解像度300dpi以上を推奨)

「RepoAgentお試し版」の機能制限

お試し版で作成したレポート定義ファイルは、RepoAgentでは使用できません。

MetaFrame対応について

XL-C2000用プリンタドライバはMetaFrameに対応しています。使用上の留意事項などは下記URL上でご確認ください。

URL: http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/printer/metaframe/PrinterMetaFrame.html

ガイド 本URLは今後変更される可能性があります。

アフターサービスについて

- お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保存してください。
- 保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より 6 か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- 保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後 6 年です。ご了承ください。
- 分解、改造などをしないでください。無償保証期間内でも、無償修理を受けられないことがあります。
- プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作、および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 操作、機能について不明な点、修理のご相談は、お買い求めの販売店、または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

：0120-950-222(フリーダイヤル)

- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ダイヤル後、音声ガイドに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- 営業時間　9:00～17:00(土・日・祝日およびシステムメンテナンス日を除く)

- ハードウェア修理相談センターの連絡先は、下記のとおりです。

「ハードウェア修理相談センター」

：0120-422-297(フリーダイヤル)

- 受付時間：平日9:00～17:00（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

お願い

- **修理のためにプリンタの返却が必要と判断された場合は、「設定内容の一覧を印刷する」（126ページ）を参照して設定内容の一覧を印刷し、プリンタと一緒に送付してください。**
- **プリンタを移送する場合は、「第 7 章　日常のメンテナンス」「プリンタを移送する」（140ページ）を参照し、正しく取り扱ってください。**

事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについてのお願い

本製品の所有権が事業主の場合、使用済み後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなります。廃棄は、マニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。
また、本製品の所有者が当社に廃棄を依頼される場合、当社と提携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引き取りを行います。このときは、株式会社富士通ロジスティックスのエコーセンターへお問い合わせください。

- 電話　045-470-5305
- URL http://eco.fujitsu.com/recycle/frs_address.html

当社では、富士通リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターにて使用済み製品の解体、分別処理を行い、部品の再使用や材料へのリサイクルを行っています。

索　引

A

Acrobat Reader
　- をインストールする xvi

H

HyperPrint 249

L

LAN
　- に接続するときの注意事項 57
　パソコンと LAN の両方に接続するときの注意事項 58
LAN インタフェース 28
LAN ケーブルコネクタ 7
LED ヘッド 8

N

NETWORK MENU 155

O

OHP フィルム 96

R

RepoAgent 250

S

STATUS ランプ 7

T

TCP/IP
　制限 231
　注意 231
TEST スイッチ 7

U

USB メニュー 155
USB インタフェースコネクタ 7

あ

厚紙 97
アフターサービス 252

い

印刷
　OHP フィルムに印刷する 187
　- ができないとき 223
　指示したジョブの状態を確認する 184
　特殊な用紙に印刷する 185
　残ったデータを強制印刷する 148
　はがきに印刷する 187
　不定形（ユーザ定義）用紙に印刷する 188
　プリンタ側で印刷を中止する 149
　- を中止する 183
〔印刷オプション〕タブ 174
印刷機能 163
印刷品質 214
インサツメニュー 152
インタフェース部 7
インフォメーションメニュー 152

え

エラーメッセージ 194
〔エラー〕ランプ 144

お

オープンボタン 7
オプション品 34
オペレータパネル 7, 144
　各部の名称と機能 144
〔オンライン〕スイッチ 146
オンラインヘルプ
　- の見かた xv
オンラインマニュアル
　- の見かた xvi
オンラインランプ 144

か

カートリッジ
　使用済みカートリッジ（トナー、プロセス）回収サービス 115
　- を取り付ける 18
拡張給紙ユニット .....34，240
　- を取り付ける 47
　- を取り外す 49
各部の名称 7
紙づまり 204
カラー メニュー .....153，154
カラー紙 97
〔カラー〕タブ 179
漢字一覧表 .....242，245

き

〔キャンセル〕スイッチ 146
給紙カセット 7
　- に用紙をセットする 101
共通メニュー画面 145
　- の設定一覧 151

け

ケーブル
　- を接続する 24

こ

故障 221

さ

サプライ品 113

し

システム　コウセイ　メニュー 154
自動切り替え 232
自動選択 232
ジュミョウ　メニュー 158
仕様
　インタフェース仕様 237
　オプション品の仕様 240
　基本仕様 236
　プリンタの仕様 236
初期化 159

す

寸法 12

せ

製品
　- を確認する 4
接続
　ネットワーク経由で接続する 56
　ローカルに接続する 55
設置
　ネットワークプリンタとして使用する 28
　ローカルプリンタとして使用する 24
設置上のお願い 10
設置スペース 12
設定
　- の概要 52
〔設定〕スイッチ 147
〔せってい〕タブ 166
設定内容
　- の一覧を印刷する 126
　- を確認する 32
セントロ メニュー 155

ち

長尺紙 98

つ

通気口 7

て

定着器ユニット 8
ディンプルマーク 7
手差しガイド 7
手差しで印刷する 106
手差しトレイ 7
　- 用紙をセットする 104
〔デバイスオプション〕タブ 182
電源
　- を入れる .....30，131
　- を切る 133
電源コネクタ 7
電源スイッチ 7

と

トップカバー 7
トナーカートリッジ ..... 8，115
　取り扱い上の注意 117
　保管上の注意 118
　‐を交換する 116
ドラムカートリッジ ..... 8，115
　取り扱い上の注意 122
　保管上の注意 123
　‐を交換する 122

ね

ネットワーク
　‐で使用する 86
　プリンタとして使用する 28

は

ハードウェア修理相談センター 252
排出ローラ 8
はがき 95
パラレルインタフェースコネクタ 7

ふ

封筒 96
フェイスアップスタッカ 7
普通紙 94
不定形用紙
　‐を追加登録する 190
プリンタ
　長期間プリンタを使用しない 139
　‐を移送する 140
　‐を清掃する 134
プリンタ RAM モジュール ..... 34，240
　-を取り付ける 38
　-を取り外す 41
プリンタ USB ケーブル ..... 26，36
プリンタケーブル ..... 24，36
プリンタドライバ
　‐を入手する 81
　‐をインストールする 62
　‐を削除する 81
プリント画面 145
プレプリント紙 97
プロパティ画面 163
フロントカバー 7

ほ

ホジョ メニュー 157

ま

マルチパーパストレイ 7

め

メッセージ
　エラーに関するメッセージ 198
　サービスコールエラーに関する
　　メッセージ 203
　動作状態に関するメッセージ 194
　ワーニングに関するメッセージ 196
メディア　メニュー 153
〔メニュー＋〕スイッチ 147
〔メニュー－〕スイッチ 147

も

〔戻る〕スイッチ 147

よ

用紙
　給紙カセットに用紙をセットする
　　..... 101
　使用できない用紙 99
　使用できる用紙 92
　使用できる用紙サイズ 93
　使用できる用紙種類 94
　‐に異常がでたとき 218
　排出面を切り替える 108
　保管上のご注意 100
　マルチパーパストレイに用紙を
　　セットする 104
　‐をセットする ..... 22，101
　‐を補給する 112
用紙サポータ 7
用紙残量インジケータ 8

ら

ラベル紙 97

り

リサイクル 253

両面ユニット ..... 34，240
- を取り付ける 43
- を取り外す 45

ページプリンタ　XL-C2000

取扱説明書

B5WY-0581-01-02

発行日　2003年8月

発行責任　富士通株式会社

Printed in Thailand

●本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願いいたします。

●本書は、改善のため予告なしに変更することがあります。

●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。

●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

●このマニュアルはリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収･リサイクルに出してください。

FUJITSU

このマニュアルは再生紙を使用しています。